

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

1c682 U.S. PTO
09/576221
05/22/00

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
る事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
in this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application:

1999年 6月10日

願 番 号
Application Number:

平成11年特許願第163988号

願 人
Applicant(s):

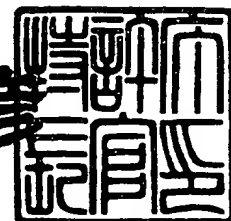
株式会社ニコン技術工房
株式会社ニコン

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2000年 5月12日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

近 藤 隆 彦



出証番号 出証特2000-3034301

【書類名】 特許願

【整理番号】 99-00677

【提出日】 平成11年 6月10日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04N 5/775

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都品川区二葉1丁目3番25号 株式会社ニコン技術工房内

 【氏名】 大村 晃

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都品川区二葉1丁目3番25号 株式会社ニコン技術工房内

 【氏名】 野本 徹志

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都品川区二葉1丁目3番25号 株式会社ニコン技術工房内

 【氏名】 石野 行宜

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都品川区二葉1丁目3番25号 株式会社ニコン技術工房内

 【氏名】 田中 雅英

【特許出願人】

 【識別番号】 596075462

 【氏名又は名称】 株式会社ニコン技術工房

【特許出願人】

 【識別番号】 000004112

 【氏名又は名称】 株式会社ニコン

【代理人】

 【識別番号】 100078189

【弁理士】

【氏名又は名称】 渡辺 隆男

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 050902

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9901926

【包括委任状番号】 9705788

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 デジタルカメラ及び画像処理装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数の画像データを記憶可能な内蔵型の大容量メモリと、
前記大容量メモリに記憶された画像データを再生する再生手段と、
デジタルカメラと信号の授受を行うため、該デジタルカメラと電氣的に接続可能な接続端子と、

前記接続端子に前記デジタルカメラが電氣的に接続されていることを検出する検出手段と、

前記検出手段による前記デジタルカメラとの接続検出に応答して、前記デジタルカメラ内のデータを受信し前記大容量メモリに記憶するよう制御する制御手段とを備えたことを特徴とする画像蓄積装置。

【請求項 2】 前記検出手段は、前記接続端子を介してデジタルカメラとの接続を検出することを特徴とする請求項 1 に記載の画像蓄積装置。

【請求項 3】 前記デジタルカメラ内のデータの内、前記再生手段により再生不可能な情報は受信しないことを特徴とする請求項 1 に記載の画像蓄積装置。

【請求項 4】 前記検出手段による前記デジタルカメラとの接続検出に応答して、データの受信、前記大容量メモリへの記憶に必要な画像蓄積装置の電源をオンすることを特徴とする請求項 1 に記載の画像蓄積装置。

【請求項 5】 前記検出手段による前記デジタルカメラとの接続検出に応答して、データの前記大容量メモリへの記憶に必要な制御プログラムを起動することを特徴とする請求項 1 に記載の画像蓄積装置。

【請求項 6】 前記検出手段による前記デジタルカメラとの接続検出に応答して、該デジタルカメラの主電源をオンすることを特徴とする請求項 1 に記載の画像蓄積装置。

【請求項 7】 前記検出手段による前記デジタルカメラとの接続検出に応答して、データの受信に必要な制御プログラムを起動することを特徴とする請求項 1 に記載の画像蓄積装置。

【請求項 8】 前記制御手段は、前記デジタルカメラから受信途中に途切れて

しまった未完全データを前記大容量メモリから消去するよう制御することを特徴とする請求項 1 に記載の画像蓄積装置。

【請求項 9】 前記制御手段は、前記デジタルカメラ内に記憶されたデータの階層構造の少なくとも一部を継承して前記大容量メモリに記憶することを特徴とする請求項 1 に記載の画像蓄積装置。

【請求項 10】 前記制御手段は、受信し前記大容量メモリに記憶が完了した前記デジタルカメラ内のデータを消去するよう制御することを特徴とする請求項 1 に記載の画像蓄積装置。

【請求項 11】 前記制御手段は、前記デジタルカメラ内のデータを消去することにより、前記デジタルカメラ内のメモリが所定容量の空きが存在するか否かを検出するよう制御することを特徴とする請求項 10 に記載の画像蓄積装置。

【請求項 12】 前記制御手段は、前記デジタルカメラにより消去不能に設定されたデータも消去するよう制御することを特徴とする請求項 10 に記載の画像蓄積装置。

【請求項 13】 前記制御手段は、前記デジタルカメラにより消去不能に設定されたデータは消去しないよう制御することを特徴とする請求項 10 に記載の画像蓄積装置。

【請求項 14】 前記制御手段は、前記デジタルカメラにより消去不能に設定されたデータについて、使用者に消去するか否かを問い合わせるよう制御することを特徴とする請求項 10 に記載の画像蓄積装置。

【請求項 15】 前記制御手段は、前記デジタルカメラのデータの受信を終了すると前記デジタルカメラの充電電池を充電するよう制御することを特徴とする請求項 1 に記載の画像蓄積装置。

【請求項 16】 前記制御手段は、前記デジタルカメラのデータの受信を終了すると前記デジタルカメラの電源をオフするよう制御することを特徴とする請求項 1 に記載の画像蓄積装置。

【請求項 17】 前記制御手段は、前記デジタルカメラの充電電池の充電完了に応じて電源をオフするよう制御することを特徴とする請求項 1 に記載の画像蓄積装置。

【請求項 18】 複数の画像データを記憶可能な大容量メモリと、前記大容量メモリに記憶された画像データを再生する再生手段とを備えた画像蓄積装置と信号の授受を行うため、該画像蓄積装置と電氣的に接続可能な接続端子と、

データを記憶するメモリと、

前記メモリからデータを読み出す読み出し手段と、

前記読み出し手段により読み出されたデータを前記接続端子を介して外部に送信する送信手段と、

前記画像蓄積装置との接続を検出したことに応じて、前記メモリ内のデータを読み出し、送信するよう制御する制御手段とを備えたことを特徴とするデジタルカメラ。

【請求項 19】 前記制御手段は、前記メモリ内のデータの内、前記再生手段により再生不可能な情報は送信しないことを特徴とする請求項 18 に記載のデジタルカメラ。

【請求項 20】 前記制御手段は、前記デジタルカメラ内に記憶されたデータの階層構造の一部を継承して前記画像蓄積装置に記憶できるようにデータ送信を行うよう制御することを特徴とする請求項 18 に記載のデジタルカメラ。

【請求項 21】 前記制御手段は、前記画像蓄積装置に送信が完了したデータを前記メモリから消去するよう制御することを特徴とする請求項 18 に記載のデジタルカメラ。

【請求項 22】 前記制御手段は、前記デジタルカメラにより消去不能に設定されたデータを消去するよう制御することを特徴とする請求項 21 に記載のデジタルカメラ。

【請求項 23】 前記制御手段は、前記デジタルカメラにより消去不能に設定されたデータは消去しないよう制御することを特徴とする請求項 21 に記載のデジタルカメラ。

【請求項 24】 前記制御手段は、前記デジタルカメラにより消去不能に設定されたデータについて、使用者に消去するか否かを問い合わせるよう制御することを特徴とする請求項 21 に記載のデジタルカメラ。

【請求項 25】 前記制御手段は、前記デジタルカメラのデータの受信を終了

すると前記デジタルカメラの充電池を充電するよう制御することを特徴とする請求項 18 に記載のデジタルカメラ。

【請求項 26】 画像データを記憶するメモリと、
デジタルカメラ内の回路に電力を供給するために設けられる充電池と、
大容量メモリを内蔵する画像蓄積装置と接続し、前記メモリに記憶された画像データを前記画像蓄積装置に転送するため転送端子と、
前記充電池を充電するために充電装置と電氣的に接続可能に設けられた充電端子と、
前記転送端子と前記充電端子が、それぞれ前記外部装置、前記充電装置に同時に接続された状態で、前記外部装置への画像データ転送が終了した後に自動的に充電を開始するよう制御する制御手段とを備えることを特徴とするデジタルカメラ。

【請求項 27】 前記転送端子と前記充電端子とは、単一操作で同時に接続可能であることを特徴とする請求項 26 に記載のデジタルカメラ。

【請求項 28】 前記単一操作により接続されることにより画像データの転送を開始することを特徴とする請求項 27 に記載のデジタルカメラ。

【請求項 29】 前記制御手段は、前記デジタルカメラに転送すべき画像データが存在しない場合には、充電を開始するよう制御することを特徴とする請求項 26 に記載のデジタルカメラ。

【請求項 30】 画像データを記憶するメモリと、
大容量メモリを内蔵する画像蓄積装置と電氣的に接続し、前記メモリに記憶された画像データを前記蓄積装置に転送するための転送端子と、
前記画像蓄積装置と電氣的に接続されたことに応答して主電源をオンする電源制御手段とを備えたことを特徴とするデジタルカメラ。

【請求項 31】 画像データを記憶するメモリと、
大容量メモリを内蔵する画像蓄積装置と電氣的に接続し、前記メモリに記憶された画像データを前記蓄積装置に転送するための転送端子と、
前記画像蓄積装置と電氣的接続が解除されたことに応答して主電源をオフする電源制御手段とを備えたことを特徴とするデジタルカメラ。

【請求項 3 2】 画像データを記憶するメモリと、

大容量メモリを内蔵する画像蓄積装置と電氣的に接続し、前記メモリに記憶された画像データを前記蓄積装置に転送するための転送端子と、

前記転送端子を介して、複数の画像データを一括して転送する転送手段と、

前記転送手段により転送された画像データの削除を行う削除手段とを有し、

前記削除手段は、前記転送手段により一括して転送する画像データ全ての転送が完了したことを検出して画像データの削除を行うことを特徴するデジタルカメラ。

【請求項 3 3】 充電式のバッテリーと、前記バッテリーから給電される回路系と、前記バッテリーに外部から充電電流を供給するための充電端子と、前記回路系と外部との間の信号授受を行う信号端子と、

前記充電端子と前記信号端子とを一つの接続ターミナル内にまとめられているコネクタとを有し、

前記信号端子は外部から前記回路系を制御するための制御端子と、前記回路系から外部に画像信号を出力する出力端子とを備え、前記回路系は前記制御端子への制御信号に応じて前記出力端子から画像信号を出力することを特徴とするデジタルカメラ。

【請求項 3 4】 充電式のバッテリーと前記バッテリーから給電される回路系とを有するデジタルカメラに接続可能であり、前記バッテリーを充電するための充電路と前記回路系との間で信号授受を行う信号伝達路が一本のケーブルとしてまとめられていることを特徴とするデジタルカメラ用充電ケーブル。

【請求項 3 5】 前記信号端子は外部から前記回路系を制御するための制御端子と、前記回路系から外部に画像信号を出力する出力端子とを有することを特徴とする請求項 3 4 に記載のデジタルカメラ用充電ケーブル。

【請求項 3 6】 充電式のバッテリーと前記バッテリーから給電される回路系とを有するデジタルカメラに接続可能であり、前記バッテリーを充電するための充電端子とこの充電端子に充電電流を供給するための電源回路と、前記回路系との間で信号授受を行う信号端子と、この信号端子から入力される画像信号を記憶するため内蔵された大容量記憶回路とを有し、前記充電端子と前記信号端子が一

つの接続ターミナル内にまとめられていることを特徴とするデジタルカメラ用画像蓄積装置。

【請求項 3 7】 前記信号端子は前記回路系を制御するための制御端子と、前記回路系から出力される画像信号を入力する入力端子とを有することを特徴とする請求項 3 6 に記載のデジタルカメラ用画像蓄積装置。

【請求項 3 8】 充電式のバッテリーと前記バッテリーから給電される回路系とを有するデジタルカメラに接続可能であり、前記バッテリーを充電するための充電端子と、前記充電端子に充電電流を供給するための電源回路と、前記電源回路の出力電圧を切換える切換回路と、前記回路系との間で信号授受を行う信号端子と、この信号端子から入力される画像信号を記憶するための大容量記憶回路とを有することを特徴とするデジタルカメラ用画像蓄積装置。

【請求項 3 9】 接続されるデジタルカメラの種類を検出する検出回路を有し、前記切換え回路は前記検出回路に応答して自動的に出力電圧を切換えることを特徴とする請求項 3 8 に記載のデジタルカメラ用画像蓄積装置。

【請求項 4 0】 充電式のバッテリーと前記バッテリーから給電される回路系とを有するデジタルカメラに接続可能であり、前記バッテリーを充電するための充電端子と、前記充電端子に充電電流を供給するための電源回路と、前記回路系との間で信号授受を行う第一信号端子と、この信号端子から入力される画像信号を記憶するための大容量記憶回路とを有する一方、テレビ受像機にも接続可能であり、このテレビ受像機との間で信号授受を行う第二信号端子とを有することを特徴とするデジタルカメラ用画像蓄積装置。

【請求項 4 1】 前記第二信号端子は前記テレビ受像機からの制御信号を受ける制御端子と、前記テレビ受像機に画像信号を出力する出力端子とを有することを特徴とする請求項 4 0 に記載のデジタルカメラ用画像蓄積装置。

【請求項 4 2】 充電式のバッテリーと前記バッテリーから給電される回路系とを有するデジタルカメラに接続可能であり、前記バッテリーを充電するための充電端子と、この充電端子に充電電流を供給するための電源回路と、前記回路系との間で信号授受を行う信号端子と、この信号端子から入力される画像信号を記憶するための大容量記憶回路と、この大容量記憶回路に入力済みの画像信号を消

去する信号を前記信号端子を介してデジタルカメラに伝達する制御回路と、充電完了を表示する表示部と、デジタルカメラの画像信号が全て消去されていることを表示する表示部とを有することを特徴とするデジタルカメラ用画像蓄積装置。

【請求項 4 3】 充電式のバッテリーと前記バッテリーから給電される回路系とを有するデジタルカメラに接続可能であり、前記バッテリーを充電するための充電端子と、この充電端子に充電電流を供給するための電源回路と、前記回路系との間で信号授受を行う信号端子と、この信号端子から入力される画像信号を記憶するための大容量記憶回路と、この大容量記憶回路に入力済みの画像信号を消去する消去信号を前記信号端子を介してデジタルカメラに伝達する制御回路とを有し、前記制御回路はひとつの画像が前記大容量記憶回路に入力される都度、その画像に対する消去信号をデジタルカメラに伝達することを特徴とするデジタルカメラ用画像蓄積装置。

【請求項 4 4】 充電式のバッテリーと前記バッテリーから給電される回路系とを有するデジタルカメラに接続可能であり、前記バッテリーを充電するための充電端子と、この充電端子に充電電流を供給するための電源回路と、前記回路系との間で信号授受を行う信号端子と、この信号端子から入力される画像信号を記憶するための大容量記憶回路と、この大容量記憶回路に入力済みの画像信号を消去する消去信号を前記信号端子を介してデジタルカメラに伝達する制御回路とを有し、この制御回路からの信号はデジタルカメラにおける画像保護指示に優先してデジタルカメラの画像を消去する事を特徴とするデジタルカメラ用画像蓄積装置。

【請求項 4 5】 充電式のバッテリーと、前記バッテリーから給電される回路系と、前記バッテリーに外部から充電電流を供給するための充電端子と、前記回路系と外部との間の信号授受を行う信号端子とを有し、前記信号端子は汎用規格に準拠していると共に端子形状は汎用規格外の専用構成となっていることを特徴とするデジタルカメラ。

【請求項 4 6】 充電式のバッテリーと前記バッテリーから給電される回路系とを有するデジタルカメラに接続可能であり、汎用規格に準拠していると共にデジタルカメラと接続される端子形状は汎用規格外の専用構成となっていることを

特徴とするデジタルカメラ用充電ケーブル。

【請求項 47】 充電式のバッテリーと前記バッテリーから給電される回路系とを有するデジタルカメラに接続可能であり、前記バッテリーを充電するための充電端子とこの充電端子に充電電流を供給するための電源回路と、前記回路系との間で信号授受を行う信号端子と、この信号端子から入力される画像信号を記憶するための大容量記憶回路とを有し、前記信号端子は汎用規格に準拠していると共にデジタルカメラと接続される端子形状は汎用規格外の専用構成となっていることを特徴とするデジタルカメラ用画像蓄積装置。

【請求項 48】 充電式のバッテリーと前記バッテリーから給電される回路系とを有するデジタルカメラに接続可能であり、前記バッテリーを充電するための充電端子とこの充電端子に充電電流を供給するための電源回路と、前記回路系との間で信号授受を行う信号端子と、この信号端子から入力される画像信号を記憶するための大容量記憶回路と、信号端子からの信号に応じてデジタルカメラの画像が大容量記憶回路に記憶するに適したものではないことを警告する警告手段とを有することを特徴とするデジタルカメラ用画像蓄積装置。

【請求項 49】 充電式のバッテリーと前記バッテリーから給電される回路系と着脱式画像記憶部を有するデジタルカメラに接続可能であり、前記バッテリーを充電するための充電端子とこの充電端子に充電電流を供給するための電源回路と、前記回路系との間で信号授受を行う信号端子と、この信号端子から入力される画像信号を記憶するための大容量記憶回路と、信号端子からの信号に応じてデジタルカメラに着脱式画像記憶部が装着されていないことを警告する警告手段とを有することを特徴とするデジタルカメラ用画像蓄積装置。

【請求項 50】 充電式のバッテリーと前記バッテリーから給電される回路系とを有するデジタルカメラに接続可能であり、前記バッテリーを充電するための充電端子とこの充電端子に充電電流を供給するための電源回路と、前記回路系との間で信号授受を行う信号端子と、この信号端子から入力される画像信号を記憶するための大容量記憶回路と、デジタルカメラがオンになっていないときはこれをオンとする信号を前記信号端子を介してデジタルカメラに伝達するとともに所定動作後は当初デジタルカメラがオンであったかどうかにかかわらずこれをオフ

とする信号を前記信号端子を介してデジタルカメラに伝達する制御回路とを有することを特徴とするデジタルカメラ用画像蓄積装置。

【請求項 5 1】 複数の画像データを記憶可能な大容量メモリと、
前記大容量メモリに記憶された画像データを再生する再生手段と、
デジタルカメラと信号の授受を行うため、該デジタルカメラと電氣的に接続可能な接続端子と、

前記接続端子を介して前記デジタルカメラ内のデータを受信する受信手段と、
前記デジタルカメラ内のデータのうち、前記再生手段により再生不可能な情報は受信しないように制御する制御手段とを有することを特徴とする画像蓄積装置。

【請求項 5 2】 複数の画像データを記憶可能な大容量メモリと、
前記大容量メモリに記憶された画像データを再生する再生手段と、
デジタルカメラと信号の授受を行うため、該デジタルカメラと電氣的に接続可能な接続端子と、

前記接続端子を介して前記デジタルカメラ内のデータを受信する受信手段と、
前記デジタルカメラからのデータが受信途中で途切れてしまった未完全データを前記大容量メモリから消去するよう制御する制御手段とを有することを特徴とする画像蓄積装置。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は画像データを蓄積する蓄積装置、及び蓄積装置に接続可能なデジタルカメラに関するものである。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

デジタルカメラにより撮影した静止画像データを蓄積することを目的とした、いわゆる画像ファイリング装置や電子アルバム装置が提案されている。例えば、特開昭 6 3 - 1 4 2 9 6 3 号公報、特開平 7 - 8 7 4 3 2 号公報、特開平 7 - 2 8 2 0 7 7 号公報、特開平 7 - 1 8 2 3 6 6 号公報、特開平 1 1 - 3 2 2 8 5 号

公報、キャメディアVS100MO（オリンパス光学工業株式会社の商品名）、デジタルフォトステーション（キヤノン株式会社の商品名）PHOTO STATION PA-200（商品名）などが知られている。静止画像の鑑賞は、一般家庭で用いられているテレビ受像機で行われる場合もある。

【0003】

また、特開平8-69684号公報には、ディスプレイ装置を備えたデッキ部に電子カメラを載置すると電子カメラの充電を行うと共に、画像データをデッキに搭載された交換可能な記憶装置に自動バックアップして電子カメラのメモリを消去することが提案されている。

また、近年、電子手帳にカメラ機能を付けたり、携帯電話にカメラ機能を付けるといった複合機能のデジタルカメラが提案されている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、上記画像ファイリング装置や電子アルバム装置は、デジタルカメラの中の静止画像データを蓄積するために複数の操作を必要とするため、使用者に負担をかけることが多かった。

また、特開平8-69684号公報に記載の装置では、交換可能な記憶装置にバックアップするものであり、特定の画像データが記憶された記憶装置を探すのが大変である。

【0005】

また、複合機能を持つデジタルカメラでは、デジタルカメラ内の1つのメモリ内に画像データの他に文書データ、スケジュールデータ等、複数種類のデータが混在して記録されている場合がある。このようにメモリ内に混在した複数種類のデータを電子アルバム装置に転送しても、文書データ、スケジュールデータ等再生する機能を持たない電子アルバム装置では単にメモリの無駄になってしまう。

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するため、請求項1に記載の発明では、画像蓄積装置において、複数の画像データを記憶可能な内蔵型の大容量メモリと、前記大容量メモリに

記憶された画像データを再生する再生手段と、デジタルカメラと信号の授受を行うため、該デジタルカメラと電氣的に接続可能な接続端子と、前記接続端子に前記デジタルカメラが電氣的に接続されていることを検出する検出手段と、前記検出手段による前記デジタルカメラとの接続検出に応答して、前記デジタルカメラ内のデータを受信し前記大容量メモリに記憶するよう制御する制御手段とを備えた構成にした。これにより、複雑な操作を必要とせずにデジタルカメラ内の画像データを画像蓄積装置に内蔵された大容量メモリに記憶できるので、簡単で、しかも記憶後に記憶した記憶媒体を探すようなこともない。

【0007】

請求項2に記載の発明では、請求項1の画像蓄積装置において、前記検出手段は、前記接続端子を介してデジタルカメラとの接続を検出する構成とした。

請求項3に記載の発明では、請求項1の画像蓄積装置において、前記デジタルカメラ内のデータの内、前記再生手段により再生不可能な情報は受信しない構成とした。

【0008】

請求項4に記載の発明では、請求項1の画像蓄積装置において、前記検出手段による前記デジタルカメラとの接続検出に応答して、データの受信、前記大容量メモリへの記憶に必要な画像蓄積装置の電源をオンする構成とした。

請求項5に記載の発明では、請求項1の画像蓄積装置において、前記検出手段による前記デジタルカメラとの接続検出に応答して、データの前記大容量メモリへの記憶に必要な制御プログラムを起動する構成とした。

【0009】

請求項6に記載の発明では、請求項1の画像蓄積装置において、前記検出手段による前記デジタルカメラとの接続検出に応答して、該デジタルカメラの主電源をオンする構成とした。

請求項7に記載の発明では、請求項1の画像蓄積装置において、前記検出手段による前記デジタルカメラとの接続検出に応答して、データの受信に必要な制御プログラムを起動する構成とした。

【0010】

請求項 8 に記載の発明では、請求項 1 の画像蓄積装置において、前記制御手段は、前記デジタルカメラから受信途中に途切れてしまった未完全データを前記大容量メモリから消去するよう制御する構成とした。

請求項 9 に記載の発明では、請求項 1 の画像蓄積装置において、前記制御手段は、前記デジタルカメラ内に記憶されたデータの階層構造の少なくとも一部を継承して前記大容量メモリに記憶する構成とした。

【0011】

請求項 10 に記載の発明では、請求項 1 の画像蓄積装置において、前記制御手段は、受信し前記大容量メモリに記憶が完了した前記デジタルカメラ内のデータを消去するよう制御する構成とした。

請求項 11 に記載の発明では、請求項 10 の画像蓄積装置において、前記制御手段は、前記デジタルカメラ内のデータを消去することにより、前記デジタルカメラ内のメモリが所定容量の空きが存在するか否かを検出するよう制御する構成とした。

【0012】

請求項 12 に記載の発明では、請求項 10 の画像蓄積装置において、前記制御手段は、前記デジタルカメラにより消去不能に設定されたデータも消去するよう制御する構成とした。

請求項 13 に記載の発明では、請求項 10 の画像蓄積装置において、前記制御手段は、前記デジタルカメラにより消去不能に設定されたデータは消去しないよう制御する構成とした。

【0013】

請求項 14 に記載の発明では、請求項 10 の画像蓄積装置において、前記制御手段は、前記デジタルカメラにより消去不能に設定されたデータについて、使用者に消去するか否かを問い合わせるよう制御する構成とした。。

請求項 15 に記載の発明では、請求項 1 の画像蓄積装置において、前記制御手段は、前記デジタルカメラのデータの受信を終了すると前記デジタルカメラの充電電池を充電するよう制御する構成とした。

【0014】

請求項 1 6 に記載の発明では、請求項 1 の画像蓄積装置において、前記制御手段は、前記デジタルカメラのデータの受信を終了すると前記デジタルカメラの電源をオフするよう制御する構成とした。

請求項 1 7 に記載の発明では、請求項 1 の画像蓄積装置において、前記制御手段は、前記デジタルカメラの充電電池の充電完了に応じて電源をオフするよう制御する構成とした。

【 0 0 1 5 】

請求項 1 8 に記載の発明では、デジタルカメラにおいて、複数の画像データを記憶可能な大容量メモリと、前記大容量メモリに記憶された画像データを再生する再生手段とを備えた画像蓄積装置と信号の授受を行うため、該画像蓄積装置と電氣的に接続可能な接続端子と、データを記憶するメモリと、前記メモリからデータを読み出す読み出し手段と、前記読み出し手段により読み出されたデータを前記接続端子を介して外部に送信する送信手段と、前記画像蓄積装置との接続を検出したことに応じて、前記メモリ内のデータを読み出し、送信するよう制御する制御手段とを備えた構成とした。これにより、複雑な操作を必要とせずにデジタルカメラ内の画像データを画像蓄積装置に内蔵された大容量メモリに転送できるデジタルカメラを提供できる。

【 0 0 1 6 】

請求項 1 9 に記載の発明では、請求項 1 8 のデジタルカメラにおいて、前記制御手段は、前記メモリ内のデータの内、前記再生手段により再生不可能な情報は送信しない構成とした。

請求項 2 0 に記載の発明では、請求項 1 8 のデジタルカメラにおいて、前記制御手段は、前記デジタルカメラ内に記憶されたデータの階層構造の一部を継承して前記画像蓄積装置に記憶できるようにデータ送信を行うよう制御する構成とした。

【 0 0 1 7 】

請求項 2 1 に記載の発明では、請求項 1 8 のデジタルカメラにおいて、前記制御手段は、前記画像蓄積装置に送信が完了したデータを前記メモリから消去するよう制御する構成とした。

請求項 2 2 に記載の発明では、請求項 2 1 のデジタルカメラにおいて、前記制御手段は、前記デジタルカメラにより消去不能に設定されたデータを消去するよう制御する構成とした。

【0 0 1 8】

請求項 2 3 に記載の発明では、請求項 2 1 のデジタルカメラにおいて、前記制御手段は、前記デジタルカメラにより消去不能に設定されたデータは消去しないよう制御する構成とした。

請求項 2 4 に記載の発明では、請求項 2 1 のデジタルカメラにおいて、前記制御手段は、前記デジタルカメラにより消去不能に設定されたデータについて、使用者に消去するか否かを問い合わせるよう制御する構成とした。

【0 0 1 9】

請求項 2 5 に記載の発明では、請求項 1 8 のデジタルカメラにおいて、前記制御手段は、前記デジタルカメラのデータの受信を終了すると前記デジタルカメラの充電池を充電するよう制御する構成とした。

請求項 2 6 に記載の発明では、デジタルカメラにおいて、画像データを記憶するメモリと、デジタルカメラ内の回路に電力を供給するために設けられる充電池と、大容量メモリを内蔵する画像蓄積装置と接続し、前記メモリに記憶された画像データを前記画像蓄積装置に転送するため転送端子と、前記充電池を充電するために充電装置と電気的に接続可能に設けられた充電端子と、前記転送端子と前記充電端子が、それぞれ前記外部装置、前記充電装置に同時に接続された状態で、前記外部装置への画像データ転送が終了した後に自動的に充電を開始するよう制御する制御手段とを備える構成とした。これにより、画像データの転送中に充電の開始、終了が行われることがないのでノイズがのることがなく、充電も安定して行われる。

【0 0 2 0】

請求項 2 7 に記載の発明では、請求項 2 6 のデジタルカメラにおいて、前記転送端子と前記充電端子とは、単一操作で同時に接続可能である構成とした。

請求項 2 8 に記載の発明では、請求項 2 7 のデジタルカメラにおいて、前記単一操作により接続されることにより画像データの転送を開始する構成とした。。

請求項 2 9 に記載の発明では、請求項 2 6 のデジタルカメラにおいて、前記制御手段は、前記デジタルカメラに転送すべき画像データが存在しない場合には、充電を開始するよう制御する構成とした。

【 0 0 2 1 】

請求項 3 0 に記載の発明では、デジタルカメラにおいて、画像データを記憶するメモリと、大容量メモリを内蔵する画像蓄積装置と電氣的に接続し、前記メモリに記憶された画像データを前記蓄積装置に転送するための転送端子と、前記画像蓄積装置と電氣的に接続されたことに応答して主電源をオンする電源制御手段とを備えた構成とした。これにより、接続に応答して主電源をオンするので、使用者は、いちいち主電源をオンする操作をする必要がない。

【 0 0 2 2 】

請求項 3 1 に記載の発明では、デジタルカメラにおいて、画像データを記憶するメモリと、大容量メモリを内蔵する画像蓄積装置と電氣的に接続し、前記メモリに記憶された画像データを前記蓄積装置に転送するための転送端子と、前記画像蓄積装置と電氣的接続が解除されたことに応答して主電源をオフする電源制御手段とを備えた構成とした。これにより、接続解除に応答して主電源をオフするので、使用者は、いちいち主電源をオフする操作をする必要がない。

【 0 0 2 3 】

請求項 3 2 に記載の発明では、デジタルカメラにおいて、画像データを記憶するメモリと、大容量メモリを内蔵する画像蓄積装置と電氣的に接続し、前記メモリに記憶された画像データを前記蓄積装置に転送するための転送端子と、前記転送端子を介して、複数の画像データを一括して転送する転送手段と、前記転送手段により転送された画像データの削除を行う削除手段とを有し、前記削除手段は、前記転送手段により一括して転送する画像データ全ての転送が完了したことを検出して画像データの削除を行う構成とした。これにより、所定のまとまりを持った複数の画像データは、所定のまとまりを保つことができる。

【 0 0 2 4 】

請求項 3 3 に記載の発明では、デジタルカメラにおいて、充電式のバッテリーと、前記バッテリーから給電される回路系と、前記バッテリーに外部から充電電

流を供給するための充電端子と、前記回路系と外部との間の信号授受を行う信号端子と、前記充電端子と前記信号端子とを一つの接続ターミナル内にまとめられているコネクタとを有し、前記信号端子は外部から前記回路系を制御するための制御端子と、前記回路系から外部に画像信号を出力する出力端子とを備え、前記回路系は前記制御端子への制御信号に応じて前記出力端子から画像信号を出力する構成とした。これにより、複数本のケーブルを要することなく、接続が複雑になることがない。

【 0 0 2 5 】

請求項 3 4 に記載の発明では、デジタルカメラ用充電ケーブルにおいて、充電式のバッテリーと前記バッテリーから給電される回路系とを有するデジタルカメラに接続可能であり、前記バッテリーを充電するための充電路と前記回路系との間で信号授受を行う信号伝達路が一本のケーブルとしてまとめられている構成とした。これにより、複数本のケーブルを要することなく、接続が複雑になることがない。

【 0 0 2 6 】

請求項 3 5 に記載の発明では、請求項 3 4 のデジタルカメラ用充電ケーブルにおいて、前記信号端子は外部から前記回路系を制御するための制御端子と、前記回路系から外部に画像信号を出力する出力端子とを有する構成とした。

請求項 3 6 に記載の発明では、デジタルカメラ用画像蓄積装置において、充電式のバッテリーと前記バッテリーから給電される回路系とを有するデジタルカメラに接続可能であり、前記バッテリーを充電するための充電端子とこの充電端子に充電電流を供給するための電源回路と、前記回路系との間で信号授受を行う信号端子と、この信号端子から入力される画像信号を記憶するため内蔵された大容量記憶回路とを有し、前記充電端子と前記信号端子が一つの接続ターミナル内にまとめられている構成とした。これにより、複数本のケーブルを要することなく、接続が複雑になることがない。

【 0 0 2 7 】

請求項 3 7 に記載の発明では、請求項 3 6 のデジタルカメラ用画像蓄積装置において、前記信号端子は前記回路系を制御するための制御端子と、前記回路系か

ら出力される画像信号を入力する入力端子とを有する構成とした。

請求項 38 に記載の発明では、デジタルカメラ用画像蓄積装置において、充電式のバッテリーと前記バッテリーから給電される回路系とを有するデジタルカメラに接続可能であり、前記バッテリーを充電するための充電端子と、前記充電端子に充電電流を供給するための電源回路と、前記電源回路の出力電圧を切換える切換回路と、前記回路系との間で信号授受を行う信号端子と、この信号端子から入力される画像信号を記憶するための大容量記憶回路とを有する構成とした。これにより、異なる複数種類の充電電池を備える様々なデジタルカメラの充電に対応できる。

【0028】

請求項 39 に記載の発明では、請求項 38 のデジタルカメラ用画像蓄積装置において、接続されるデジタルカメラの種類を検出する検出回路を有し、前記切換え回路は前記検出回路に応答して自動的に出力電圧を切換える構成とした。。

請求項 40 に記載の発明では、デジタルカメラ用画像蓄積装置において、充電式のバッテリーと前記バッテリーから給電される回路系とを有するデジタルカメラに接続可能であり、前記バッテリーを充電するための充電端子と、前記充電端子に充電電流を供給するための電源回路と、前記回路系との間で信号授受を行う第一信号端子と、この信号端子から入力される画像信号を記憶するための大容量記憶回路とを有する一方、テレビ受像機にも接続可能であり、このテレビ受像機との間で信号授受を行う第二信号端子とを有する構成とした。これにより、デジタルカメラと信号の授受ができるとともに、テレビ受像機とも信号の授受を行うことができる。

【0029】

請求項 41 に記載の発明では、請求項 40 のデジタルカメラ用画像蓄積装置において、前記第二信号端子は前記テレビ受像機からの制御信号を受ける制御端子と、前記テレビ受像機に画像信号を出力する出力端子とを有する構成とした。

請求項 42 に記載の発明では、デジタルカメラ用画像蓄積装置において、充電式のバッテリーと前記バッテリーから給電される回路系とを有するデジタルカメラに接続可能であり、前記バッテリーを充電するための充電端子と、この充電端

子に充電電流を供給するための電源回路と、前記回路系との間で信号授受を行う信号端子と、この信号端子から入力される画像信号を記憶するための大容量記憶回路と、この大容量記憶回路に入力済みの画像信号を消去する信号を前記信号端子を介してデジタルカメラに伝達する制御回路と、充電完了を表示する表示部と、デジタルカメラの画像信号が全て消去されていることを表示する表示部とを有する構成とした。これにより、使用者はデジタルカメラ内の画像信号が消去されたことと確認できる。

【0030】

請求項43に記載のデジタルカメラ用画像蓄積装置において、充電式のバッテリーと前記バッテリーから給電される回路系とを有するデジタルカメラに接続可能であり、前記バッテリーを充電するための充電端子と、この充電端子に充電電流を供給するための電源回路と、前記回路系との間で信号授受を行う信号端子と、この信号端子から入力される画像信号を記憶するための大容量記憶回路と、この大容量記憶回路に入力済みの画像信号を消去する消去信号を前記信号端子を介してデジタルカメラに伝達する制御回路とを有し、前記制御回路はひとつの画像が前記大容量記憶回路に入力される都度、その画像に対する消去信号をデジタルカメラに伝達する構成とした。これにより、何らかの原因で複数の画像信号の転送途中にデジタルカメラとの接続が解除された場合でも、転送が完了した画像信号は消去することができる。

【0031】

請求項44に記載のデジタルカメラ用画像蓄積装置において、充電式のバッテリーと前記バッテリーから給電される回路系とを有するデジタルカメラに接続可能であり、前記バッテリーを充電するための充電端子と、この充電端子に充電電流を供給するための電源回路と、前記回路系との間で信号授受を行う信号端子と、この信号端子から入力される画像信号を記憶するための大容量記憶回路と、この大容量記憶回路に入力済みの画像信号を消去する消去信号を前記信号端子を介してデジタルカメラに伝達する制御回路とを有し、この制御回路からの信号はデジタルカメラにおける画像保護指示に優先してデジタルカメラの画像を消去する構成とした。これにより、画像蓄積装置に記憶された画像信号は確実に消去され

るので、デジタルカメラ内のメモリ容量を増やすことができる。

【 0 0 3 2 】

請求項 4 5 に記載の発明では、デジタルカメラにおいて、充電式のバッテリーと、前記バッテリーから給電される回路系と、前記バッテリーに外部から充電電流を供給するための充電端子と、前記回路系と外部との間の信号授受を行う信号端子とを有し、前記信号端子は汎用規格に準拠していると共に端子形状は汎用規格外の専用構成とした。これにより、汎用規格の回路を流用できるとともに、デジタルカメラに最適な形状、大きさの端子を設けることができる。

【 0 0 3 3 】

請求項 4 6 に記載の発明では、デジタルカメラ用充電ケーブルにおいて、充電式のバッテリーと前記バッテリーから給電される回路系とを有するデジタルカメラに接続可能であり、汎用規格に準拠していると共にデジタルカメラと接続される端子形状は汎用規格外の専用構成とした。これにより、接続される装置は、汎用規格の回路を流用できるとともに、接続される装置に最適な形状、大きさの端子を設けることができる。

【 0 0 3 4 】

請求項 4 7 に記載の発明では、デジタルカメラ用画像蓄積装置において、充電式のバッテリーと前記バッテリーから給電される回路系とを有するデジタルカメラに接続可能であり、前記バッテリーを充電するための充電端子とこの充電端子に充電電流を供給するための電源回路と、前記回路系との間で信号授受を行う信号端子と、この信号端子から入力される画像信号を記憶するための大容量記憶回路とを有し、前記信号端子は汎用規格に準拠していると共にデジタルカメラと接続される端子形状は汎用規格外の専用構成とした。これにより、汎用規格の回路を流用できるとともに、装置に最適な形状、大きさの端子を設けることができる。

【 0 0 3 5 】

請求項 4 8 に記載の発明では、デジタルカメラ用画像蓄積装置において、充電式のバッテリーと前記バッテリーから給電される回路系とを有するデジタルカメラに接続可能であり、前記バッテリーを充電するための充電端子とこの充電端子

に充電電流を供給するための電源回路と、前記回路系との間で信号授受を行う信号端子と、この信号端子から入力される画像信号を記憶するための大容量記憶回路と、信号端子からの信号に応じてデジタルカメラの画像が大容量記憶回路に記憶するに適したものではないことを警告する警告手段とを有する構成とした。これにより、使用者は、画像蓄積装置に適していない画像が、デジタルカメラ内に存在することを認識できる。

【0036】

請求項49に記載の発明では、デジタルカメラ用画像蓄積装置において、充電式のバッテリーと前記バッテリーから給電される回路系と着脱式画像記憶部を有するデジタルカメラに接続可能であり、前記バッテリーを充電するための充電端子とこの充電端子に充電電流を供給するための電源回路と、前記回路系との間で信号授受を行う信号端子と、この信号端子から入力される画像信号を記憶するための大容量記憶回路と、信号端子からの信号に応じてデジタルカメラに着脱式画像記憶部が装着されていないことを警告する警告手段とを有する構成とした。これにより、使用者は、デジタルカメラに着脱式画像記憶部が装着されていないことを確認できる。

【0037】

請求項50に記載の発明では、デジタルカメラ用画像蓄積装置において、充電式のバッテリーと前記バッテリーから給電される回路系とを有するデジタルカメラに接続可能であり、前記バッテリーを充電するための充電端子とこの充電端子に充電電流を供給するための電源回路と、前記回路系との間で信号授受を行う信号端子と、この信号端子から入力される画像信号を記憶するための大容量記憶回路と、デジタルカメラがオンになっていないときはこれをオンとする信号を前記信号端子を介してデジタルカメラに伝達するとともに所定動作後は当初デジタルカメラがオンであったかどうかにかかわらずこれをオフとする信号を前記信号端子を介してデジタルカメラに伝達する制御回路とを有する構成とした。これにより、所定動作後に確実に電源をオフにするので、オフされたか確認する必要がない。

【0038】

請求項 5 1 に記載の発明では、画像蓄積装置において、複数の画像データを記憶可能な大容量メモリと、前記大容量メモリに記憶された画像データを再生する再生手段と、デジタルカメラと信号の授受を行うため、該デジタルカメラと電氣的に接続可能な接続端子と、前記接続端子を介して前記デジタルカメラ内のデータを受信する受信手段と、前記デジタルカメラ内のデータのうち、前記再生手段により再生不可能な情報は受信しないように制御する制御手段とを有する構成とした。これにより、画像蓄積装置で取り扱えないデータを大容量メモリ内に記憶することがないので、大容量メモリを効率よく使用でき、受信に要する時間も短縮できる。

【 0 0 3 9 】

請求項 5 2 に記載の発明では、画像蓄積装置において、複数の画像データを記憶可能な大容量メモリと、前記大容量メモリに記憶された画像データを再生する再生手段と、デジタルカメラと信号の授受を行うため、該デジタルカメラと電氣的に接続可能な接続端子と、前記接続端子を介して前記デジタルカメラ内のデータを受信する受信手段と、前記デジタルカメラからのデータが受信途中で途切れてしまった未完全データを前記大容量メモリから消去するよう制御する制御手段とを有する構成とした。これにより、未完全データが大容量メモリ内に残ることが無く、大容量メモリを効率よく使用できる。

【 0 0 4 0 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態 1 ～ 5 について説明する。

(実施の形態 1)

(1) システム構成

図 1 及び図 2 は実施の形態 1 のシステム外観斜視図及びシステム構成図である。

【 0 0 4 1 】

実施の形態 1 におけるテレビ受像機は、チューナーなどからなるテレビ受像機本体 1 とプラズマディスプレイなどからなるテレビ表示部 2 は別体で、ケーブル 1 a を介して接続されており、テレビ受像機本体 1 からテレビ表示部 2 に画像及

び音声信号が送られる。テレビ受像機本体 1 の操作はテレビリモコン 3 によって行なわれる。テレビ受像機本体 1 とテレビ表示部 2 には、それぞれケーブル 1 b、2 a を介して商用電源が供給される。

【0042】

画像蓄積装置 4 はテレビ受像機本体 1 に二本のケーブルで接続されており、ケーブル 4 a を介してテレビ受像機本体 1 から画像蓄積装置 4 に制御信号が送られると共に、ケーブル 4 b を介して画像蓄積装置 4 からテレビ受像機本体 1 の A V 入力に画像信号および音声信号が送られる。画像蓄積装置 4 はハードディスクなどの大容量メモリを持ち、大量のデジタル画像を管理データと共に記憶する。なお、画像蓄積装置 4 には、ケーブル 4 c を介して商用電源が供給され、プリンタ 9 がケーブルで接続されている。

【0043】

テレビリモコン 3 は、テレビモードではテレビ受像機本体の通常テレビ機能を制御する。テレビリモコン 3 において後述のアルバムモードボタンが操作されると、アルバムモードとなり、テレビリモコン 3 の操作に応答してテレビ受像機本体 1 は画像蓄積装置 4 を制御し、テレビリモコン 3 の操作に応じた画像信号がテレビ受像機本体 1 に送られてテレビ表示部 2 に表示される。

【0044】

ステーション 5 はデジタルスチルカメラ（以下デジタルカメラ）6 のための収納部を持ち、収納部には給電端子 5 f と信号端子 5 d が設けられていて、これらの端子はデジタルカメラ 6 をステーションの収納部に収納することにより、対応するデジタルカメラの端子と接続される。ステーション 5 は、ケーブル 5 a を介して商用電源から電力が供給される A C アダプタ 5 e を持ち、その出力が給電端子 5 f につながっている。ステーション 5 の IEEE1394 コネクタ 5 c はケーブル 5 b を介してそのまま画像蓄積装置 4 に直結している。このようにステーション 5 は、デジタルカメラ収納部、信号端子 5 d、IEEE1394 コネクタ 5 c および給電端子 5 f と A C アダプタ 5 e を持つ簡単な構成であり、デジタルカメラ 6 に合った専用のものが用意されている。これに対して、画像蓄積装置 4 は汎用であり、ケーブル 5 b 接続用のコネクタ形状を規格化することにより、個々のデジタルカメ

ラに合ったステーションにつなぎ換えて使用できる。

【0045】

デジタルカメラ6がステーション5に収納されると、まずデータ転送が自動的に起動され、ケーブル5bを介して画像蓄積装置4にデジタルカメラ内の全てのデジタル画像信号が自動転送される。自動転送がエラーなしに完了したことが確認されると、デジタルカメラ内のメモリ内容は全て自動消去される。このときメモリのエンプティを示すLED5kが点灯する。データ転送が完了すると充電が自動的に起動され、完了と共に自動停止する。このとき充電完了を示すLED5mが点灯する。従って、デジタルカメラ6をステーション5に収納したまま放置すれば、データ転送及び充電が完了し、デジタルカメラ6をステーション5から取り外したとき即座に使用可能となる。デジタルカメラ6の取り外しの際にはLED5kとLED5mを確認する。なお、デジタルカメラの放置により自然放電があった時は、自動的に充電動作が繰り返される。

【0046】

図2は本発明の実施の形態1のシステム構成図あり、ケーブル1aはテレビ受像機本体1のAVコネクタ1cおよびテレビ表示部2のAVコネクタ2b間を接続する。通常のテレビモードにおいて、テレビ受像機本体1はチューナーを含むTV回路1dからの信号をAV出力制御部1eを介してAVコネクタ1cに送っている。受信部1fはテレビリモコン3の送信部3aからの赤外信号を受け、受信内容はデコーダ1gを介してCPU1hに伝達される。テレビモードにおいてはテレビリモコン3の操作に応じてTV回路1dが制御され、チャンネルや音量の変更などが行われる。

【0047】

テレビリモコン3によりモード変更の操作が行われ、デコーダ1gからの信号に基づいてCPU1hがテレビモードからアルバムモードへの変更を検出すると、AV出力制御部1eはTV回路1dからの信号に換えて、AVコネクタ1iからの信号をAVコネクタ1cに送るようになる。さらに、アルバムモードになると、デコーダ1gからの信号に基づいてCPU1はIEEE1394コネクタ1jからIEEE1394規格によるケーブル4aを介して画像蓄積装置4のIEEE1394コネクタ4d

に制御信号を送る。このようにして、テレビリモコン 3 の操作による画像蓄積装置 4 の制御が可能となる。例えば、テレビリモコン 3 によって画像の送りを指示すると、受信部 1 f、デコーダ 1 g、CPU 1 h、IEEE1394コネクタ 1 j、ケーブル 4 a、IEEE1394コネクタ 4 d のルートで画像送りの制御信号が画像蓄積装置 4 に送られる。これによって、IEEE1394コネクタ 4 d に接続されている CPU 4 e は画像送り信号であることを検知し、ハードディスクなどからなる記憶部 4 f から次の画像を読み出して、NTSC (National Television System Committee) 変換回路 4 g を介し AV コネクタ 4 h からケーブル 4 b を通して AV コネクタ 1 i に読み出した次画像の信号を送る。

【 0 0 4 8 】

IEEE1394規格によるケーブル 5 b は、画像蓄積装置 4 の IEEE1394コネクタ 4 i とステーション 5 の IEEE1394コネクタ 5 c との間に接続されている。IEEE1394コネクタ 5 c から信号端子 5 d の間はステーション 5 内で直結になっている。信号端子 5 d は IEEE1394規格によるが端子形状はデジタルカメラ 6 専用の形状となっている。商用電源 5 a に接続されている AC アダプタ 5 e の出力は充電端子 5 f に接続されている。信号端子 5 d と充電端子 5 f は 1 つの接続コネクタ内にまとめられている。デジタルカメラ 6 の信号端子 6 a と充電端子 6 c もこれに対応して 1 つの接続コネクタ内にまとめられている。デジタルカメラ 6 をステーションに収納すると、デジタルカメラ 6 の信号端子 6 a がステーションの信号端子 5 d と接触すると共に、デジタルカメラ 6 充電電池 6 b に接続されている充電端子 6 c がステーション 5 の充電端子 5 f と接触する。これによって、デジタルカメラ 6 の画像信号が信号端子 6 a、信号端子 5 d、IEEE1394コネクタ 5 c、ケーブル 5 b、IEEE1394コネクタ 4 i を通じて画像蓄積装置 4 の CPU 4 e に吸い上げられると共に、充電電池 6 b に対して AC アダプタ 5 e から充電が行われる。

実施の形態 1 のテレビ受像機は、テレビ受像機本体 1 とテレビ表示部 2 とを別体に構成したものを説明した。しかし、テレビ受像機として、テレビ受像機本体とテレビ表示部とを一体に構成してもよい。

【 0 0 4 9 】

なお、上記の例では、画像蓄積装置 4 からテレビ受像機本体 1 へ、画像蓄積装

置 4 内の N T S C 変換回路 4 g で変換されたテレビ信号を A V コネクタを介して送信した。

しかし、テレビ受像機本体 1 に設けられた IEEE1394 コネクタ 1 j を介してテレビ信号に変換していないデジタル信号を受信し、テレビ受像機本体 1 の T V 回路 1 d によりテレビ信号に変換してもよい。

【 0 0 5 0 】

また、テレビ表示部 2 の A V コネクタに、画像蓄積装置 4 からの信号をテレビ受像機本体 1 を介さずに直接送信することも可能である。

更に、テレビ表示部 2 には、不図示であるが IEEE1394 インターフェース、IEEE 1394 コネクタを備えている。デジタル信号を IEEE1394 コネクタを介して送信してもよい。

(2) 各構成及び機能

次に本発明のシステムを構成する画像蓄積装置、ステーション及びデジタルカメラの各構成及び機能について説明をする。

【 0 0 5 1 】

図 3 は、実施の形態 1 の画像蓄積装置 4 の構成を示すブロック図である。

本実施の形態 1 の画像蓄積装置 4 は、以下に説明する装置により構成される。

C P U 4 e は、画像蓄積装置 4 内の装置を制御し、デジタルカメラ 6 内の C P U 6 h と連携して、後述する図 6、図 7、図 8 のフローを処理する。また、C P U 4 e には R O M が搭載されており、画像等のデータが記憶されている。

【 0 0 5 2 】

カードスロット 4 s は、デジタルカメラ 6 に装着されるカードメモリ（コンパクトフラッシュ、スマートメディア、メモリースティック等）から画像または音声信号を読み取る装置である。なお、コンパクトフラッシュは米国 San Disk 社、スマートメディアは（株）東芝、メモリースティックはソニー（株）のそれぞれ商品名である。

【 0 0 5 3 】

カードドライバ 4 p は、C P U 4 e からの指令によりカードスロット 4 s を駆

動する装置である。

記憶部 4 f は、画像または音声信号を大量に保存する不揮発性の大容量ハードディスクである。また、CPU 4 e で処理されるプログラムも記憶している。

記憶部ドライバ 4 n は、CPU 4 e からの指令により記憶部 4 f を駆動する装置である。

【0054】

MPEG (Moving Picture Expert Group) デコーダ 4 k は、MPEG 方式で圧縮記録された動画データデータを伸長し再生するための装置である。

JPEG (Joint Photographic Expert Group) デコーダ 4 t は、JPEG 方式で圧縮記録された静止画像データを伸長し再生するための装置である。

フレームメモリ 4 m は、画像又は音声信号を一時的に記憶しておく揮発性の半導体メモリである。フレームメモリ 4 m は、デジタルカメラ 6 からの画像又は音声信号のファイル転送時に使用される他に、テレビ受像機本体 1、プリンタ 9 への画像出力時にも使用される。

【0055】

スイッチ回路 4 q は、画像蓄積装置 4 に設けられたスイッチが操作されたことを検出し CPU 4 e に伝達する回路である。

電源回路 4 r は、不図示の商用電源と接続され、画像蓄積装置 4 内の各装置に電力を供給する装置である。

IEEE1394 インターフェース 4 j は、制御信号、画像または音声信号等をテレビ受像機本体 1、デジタルカメラ 6 (ステーション 5)、プリンタ 9 に搭載された IEEE1394 インターフェースと送受信するための装置である。また、テレビリモコン 3 からの信号を受信し、CPU 4 e に伝達する。

【0056】

IEEE1394 コネクタ 4 i, 4 d は、テレビ受像機本体 1、デジタルカメラ 6 (ステーション 5)、プリンタ 9 に搭載された IEEE1394 インターフェース間を結ぶケーブルを接続するためのコネクタである。

NTSC 変換回路 4 g は、デジタル的画像信号を NTSC 方式のテレビ信号に変換する装置である。これにより、上記 IEEE1394 インターフェースを搭載しない

テレビであっても画像を再生することができる。

【0057】

AVコネクタ4hは、NTSC変換器4gで変換されたテレビ信号を外部に出力するためのコネクタである。

図4は、実施の形態1のステーション5の構成を示すブロック図である。

実施の形態1のステーション5について図4を用いて説明する。

ACアダプタ5eは、不図示の商用電源と接続され、装着されるデジタルカメラ6に電力を供給するための電源装置である。また、デジタルカメラ6に装着された充電電池6bの充電にも用いられる。

【0058】

DSC接続コネクタ5jは、デジタルカメラ6に設けられたDSC接続コネクタ6nと接続するコネクタであり、図2の信号端子5dと充電端子5fに対応している。DSC接続コネクタ5jは、ACアダプタ5e、IEEE1394インターフェース5cと電氣的に接続されている。このDSC接続コネクタ5jを介して、デジタルカメラ6に電力を供給したり、信号の授受をする。信号端子5dは、IEEE1394規格に準拠した信号の授受を行うための端子である。このDSC接続コネクタ5jは、デジタルカメラ6と接続するために設けられた専用形状で構成されたコネクタである。なお、図2では言及しなかったがDSC接続コネクタ5jは、AVコネクタ5gとも電氣的に接続する端子も備えている。

【0059】

AVコネクタ5gは、デジタルカメラ6内でNTSC変換されたテレビ信号を外部に出力するためのコネクタである。実施の形態では説明していないが、このAVコネクタ5gと他の機器のAVコネクタとを接続することで、IEEEインターフェースを備えていない機器でもデジタルカメラ6内で変換されたテレビ信号を鑑賞することができる。

【0060】

IEEE1394コネクタ5cは、画像蓄積装置4に搭載されたIEEE1394インターフェース間を結ぶケーブル5bを接続するためのコネクタである。実施の形態では、IEEE1394コネクタ5cを画像蓄積装置4のIEEE1394コネクタ4iと接続した場合

についてのみ説明しているが、テレビ受像機本体 1、プリンタ 9 がデジタルカメラ 6 内の画像、音声ファイルを取り扱える場合には、画像蓄積装置 4 を介さずにテレビ受像機本体 1、プリンタ 9 に搭載された IEEE1394 インターフェースと接続して、画像、音声ファイルを再生、印刷することができる。

【0061】

LED 5 i は、メモリ用 LED 5 k と充電用 LED 5 m とを有する。LED 5 i は、その点灯状態により、デジタルカメラ 6 内に装着されたカードメモリと充電電池 5 b の状態を使用者に知らしめる。

LED ドライバ 5 h は、デジタルカメラ 6 の CPU 6 h または画像蓄積装置 4 の CPU 4 e からの指令により LED 5 i の点灯制御を行う。

【0062】

図 5 は、デジタルカメラ 6 の構成を示すブロック図である。

実施の形態 1 のデジタルカメラ 6 について図 5 を用いて説明する。また、ここでは撮影、画像処理の説明を省略しているが当然、撮影レンズ、撮像素子、画像処理回路等は備えている。

CPU 6 h は、デジタルカメラ 6 内の各装置を制御し、画像蓄積装置 4 内の CPU 4 e と連携して後述の図 26 に示すフローを処理する。

【0063】

スイッチ回路 6 f は、デジタルカメラ 6 に設けられたリリースボタン 6 r、コマンドダイヤル 6 s 等が操作されることを検出して CPU 6 h に伝達する回路である。

IEEE1394 インターフェース 6 e は、制御信号、画像または音声信号等をテレビ受像機本体 1、画像蓄積装置 4、プリンタ 9 に搭載された IEEE1394 インターフェースと送受信するための装置である。

【0064】

IEEE1394 コネクタ 6 d は、IEEE1394 インタフェースを備えた他の機器と信号の授受を行うためのコネクタである。実施の形態では説明していないが、ステーション 5 を介さずに画像蓄積装置 4 と信号の授受を行うときに使用される。また、テレビ受像機本体 1、プリンタ 9 がデジタルカメラ 6 内の画像、音声ファイルを

取り扱える場合には、画像蓄積装置 4 を介さずにテレビ受像機本体 1、プリンタ 9 に搭載された IEEE1394 インターフェースと接続して、画像、音声ファイルを再生、印刷することができる。

【 0 0 6 5 】

A V コネクタ 6 m は、N T S C 変換されたテレビ信号を外部に出力するためのコネクタである。実施の形態 1 では説明していないが、この A V コネクタ 6 m と他の機器の A V コネクタとを接続することで、IEEE インターフェースを備えていない機器でもデジタルカメラ 6 内で変換されたテレビ信号を鑑賞することができる。

【 0 0 6 6 】

D S C 接続コネクタ 6 n は、ステーション 5 に設けられた D S C 接続コネクタ 5 j と接続するコネクタである。D S C 接続コネクタ 6 n を介して、電力の供給を受けたり、信号の授受をする。D S C 接続コネクタ 6 n は、D S C 接続コネクタ 5 j と同様に、信号端子、充電端子、A V 端子を備える。信号端子での信号の授受は、IEEE1394 規格に準拠した信号で行われる。この D S C 接続コネクタ 6 n は、ステーション 5 と接続するために設けられた専用形状で構成されたコネクタである。

【 0 0 6 7 】

充電池 6 b は、デジタルカメラ 6 内の各装置を駆動するため電力を供給する電池である。充電池 6 b は、ステーション 5 内の A C アダプタ 5 e から供給された電力により充電を行う。

カードスロット 6 i は、装着されたカードメモリ（コンパクトフラッシュ、スマートメディア、メモリースティック等）に画像または音声信号を記録し、また読み取る装置である。

【 0 0 6 8 】

カードドライバ 6 j は、C P U 6 h からの指令によりカードスロット 6 i を駆動する装置である。

また、画像蓄積装置 4、デジタルカメラ 6 は電源が O F F の状態でも、IEEE1394 インターフェースを介して外部から入力された信号により電源を O N すること

が可能である。

(a) 充電；画像吸い上げフロー

図 6、図 7 に画像蓄積装置 4 内の CPU 4 e で実行されるフローチャートを示す。

【0069】

図 6 に示すフローは、画像蓄積装置 4 によりステーション 5 にデジタルカメラ 6 が接続されたことを検出することによりスタートする。

画像蓄積装置 4 には常に待機状態であるため微小電流が流れており、IEEE1394 コネクタ 4 i、ケーブル 5 b、IEEE1394 コネクタ 5 c を介してステーション 5 と通信可能状態にある。ステーション 5 にデジタルカメラ 6 が接続されたことが検出できる。

【0070】

ステップ S 151 では、デジタルカメラ 6 からの画像及び音声信号の受信に必要な機能を起動する。具体的には、メイン電源を ON し、画像及び音声信号を記録する記憶部 4 f の駆動、受信プログラムの起動等を行う。

ステップ S 152 では、ケーブル 5 a を介してステーション 5 内の AC アダプタ 5 e を駆動させ、デジタルカメラ 6 に電力を供給するとともに、デジタルカメラ 6 のメイン電源を ON する。当然、接続前からデジタルカメラ 6 のメイン電源が ON していた場合には、メイン電源の ON 状態を継続させる。

【0071】

ステップ S 153 では、デジタルカメラ 6 内に、画像蓄積装置 4 で取り扱える（再生できる）画像及び音声信号のファイルが存在するか否かを検出する。存在する場合にはステップ S 154 進み、存在しない場合には図 7 のステップ S 161 に進む。ここで、画像蓄積装置 4 は、JPEG ファイル、MPEG ファイル、GIF ファイル、ビットマップファイル、フラッシュピックスファイル等の標準化された画像ファイル、WAVE ファイル等の音声ファイルは予め取り扱うことができるように設定されている。デジタルカメラには、各メーカーが独自に開発した形式で記録した画像ファイルが存在する場合がある。こうした独自形式の画像ファイルは専用のソフトウェアが無いと取り扱うことができない。また、デジ

タルカメラに装着されるカードメモリは、デジタルカメラ以外の機器でも使用できるため、文書ファイル等、画像、音声ファイル以外のファイルが存在する可能性もある。画像蓄積装置 4 で取り扱えないファイルは、受信しても再生することができないので受信しない。

【 0 0 7 2 】

しかし、画像蓄積装置 4 の扱えないファイルは、専用のソフトウェアを画像蓄積装置 4 にセットアップ（インストール）することにより取り扱えるようになる。セットアップしたことにより取り扱い可能となったファイルは、セットアップ後から自動的に受信することになる。

なお、デジタルカメラ 6 がカードメモリの着脱可能な場合にカードメモリを備えていない場合には当然ファイルが存在しないと判断される。カードメモリを備えていない場合は、デジタルカメラ 6 の LCD 6 q に、カードメモリが存在しないことを使用者に伝える警告表示を行わせるようにデジタルカメラ 6 を制御する。また、取り扱えないファイルが存在する場合には、デジタルカメラ 6 の LCD 6 q に、取り扱えないファイルが存在することを使用者に伝える警告表示を行わせるようにデジタルカメラ 6 を制御する。

【 0 0 7 3 】

ステップ S 1 5 4 では、記憶部 4 f の共通フォルダに日付等の名前を付したフォルダを作成する。例えば、フォルダ名は、「990401-990402」と受信する画像及び音声信号ファイルの最初に記録されたファイルの日時と最後に記録されたファイルの日時を表すようにする。日付情報は画像及び音声信号ファイルのヘッダ部に記録されている日付情報を使用する。共通フォルダは、記憶部 4 f 内に予め作成されているフォルダで、デジタルカメラ 6 からファイルが転送されるフォルダである。また、画像蓄積装置 4 には共用フォルダの中に、「家族」「お父さん」「お母さん」「太郎」と名付けられたフォルダが予め作成されている。

【 0 0 7 4 】

ステップ S 1 5 5 では、ステーション 5 のメモリ用 LED 5 k を点滅させ、ファイルの転送中であることを使用者に知らしめる。

ステップ S 1 5 6 では、デジタルカメラ 6 から撮影、録音順に画像及び音声信

号ファイルを受信し、記憶部 4 f の「990401-990402」フォルダに記録する。本ステップの信号受信制御については図 8 を用いて詳述する。

【0 0 7 5】

ステップ S 1 5 7 では、デジタルカメラ 6 の LCD 6 q に図 1 1 に示すような表示を行い、どのフォルダに保存するか問い合わせる。ここでは、共用フォルダの中に作られているフォルダを選択可能に表示している。フォルダを選択する方法は、コマンドダイヤル 6 s を回転することでフォルダを選択し、リリースボタン 6 r を押すことで選択されたフォルダが指示される。

【0 0 7 6】

ステップ S 1 5 8 では、フォルダが指示されたか否かを検出し、検出された場合にはステップ S 1 6 0 に進み、検出されない場合にはステップ S 1 5 9 に進む。

ステップ S 1 5 9 では、フォルダの問い合わせを始めてから所定時間が経過したかを検出する。所定時間経過していればステップ S 1 6 1 に進み、所定時間経過していなければステップ S 1 5 7 に戻り、フォルダの問い合わせを継続する。

【0 0 7 7】

ステップ S 1 6 0 では、共用フォルダの中のフォルダ「990401-990402」ごとフォルダ構造を崩すことなく指定されたフォルダに移動する。

ステップ S 1 6 1 では、デジタルカメラ 6 に装着されたカードメモリが空であるか否かを検出する。空である場合はステップ S 1 6 2 に進み、空でない場合にはステップ S 1 6 3 に進む。

【0 0 7 8】

ステップ S 1 6 2 では、ステーション 5 のメモリ用 LED 5 k を点灯させ、デジタルカメラ 6 に装着されたカードメモリが空であることを使用者に知らしめる。

ステップ S 1 6 3 では、ステーション 5 のメモリ用 LED 5 k を消灯させ、デジタルカメラ 6 に装着されたカードメモリが空でないことを使用者に知らしめる。

【0 0 7 9】

ステップS164では、デジタルカメラ6のメイン電源をOFFさせる。接続前からデジタルカメラ6のメイン電源がONしていた場合でも、本ステップでデジタルカメラ6のメイン電源をOFFさせる。

ステップS165では、デジタルカメラ6内に充電電池6bが装着されているか否かを検出する。充電電池6bが装着されている場合にはステップS166に進み、充電電池6bでない、または装着されていない場合にはステップS170に進む。

【0080】

ステップS166では、デジタルカメラ6の充電電池6bの充電を開始する。

ステップS167では、ステーション5の充電用LED5mを点滅させ、充電電池6bが充電中であることを使用者に知らせる。

ステップS168では、充電が完了したか否かを検出する。完了していればステップS169に進み、完了していなければステップS166に戻り、充電を継続する。

【0081】

ステップS169では、ステーション5の充電用LED5mを点灯させ、充電電池6bが充電完了したことを使用者に知らせる。

ステップS170では、ステーション5に対して電力供給を終了する。

ステップS171では、画像蓄積装置4のメイン電源をOFFし、本フローを終了する。

(b) 信号受信

図8～図10を用いて図6におけるステップS156の信号受信制御について説明する。

【0082】

ステップS101では、デジタルカメラ6とステーション5との接続状態が解除された場合に処理される接続解除割り込み処理の割り込みを可能にする。接続解除割り込み処理は図9を用いて説明する。

ステップS102では、デジタルカメラ6により転送中止が指示されたか否かを検出する。デジタルカメラ6のリリースボタンが操作されることにより転送中

止が指示される。転送中止が指示された場合には図9のステップS110に進み、指示されていなければステップS103に進む。

【0083】

ステップS103では、デジタルカメラ6の未転送ファイルが記録されているフォルダ（階層）構造を検出する。未転送ファイルがフォルダ構造を有している場合はステップS104に進み、フォルダ構造を有していない場合はステップS106に進む。

ステップS104では、ステップS103で検出されたフォルダが画像蓄積装置4内に既に存在しているか検出する。存在していればステップS106に進み、存在していなければステップS105に進む。

【0084】

ステップS105では、図6のステップS154で作成されたフォルダ「990401-990402」内に、更にフォルダを作成する。

ステップS106では、デジタルカメラ6に未転送ファイルを転送するよう指示し、を図6のステップS154、ステップS105で作成されたフォルダ内に記録する。

【0085】

これによりデジタルカメラ6内にフォルダ構造で記録されていた場合には、記録されていたフォルダ構造を崩すことなく画像蓄積装置4に記録でき、整理しやすい。

更にステップS106では、デジタルカメラ6のLCD6qを使用して転送中であることを表示するようデジタルカメラ6に指示する。

【0086】

ステップS107では、デジタルカメラ6から画像蓄積装置4にファイルの記録が完了したか否かを検出する。完了していればステップS108に進み、完了していなければステップS106で転送を継続する。

ステップS108では、デジタルカメラ6内のファイルのヘッダ部に転送済みであることを示す情報を付加するようデジタルカメラ6に指示する。図10のステップS121、ステップS122で、この付加された情報に基づいてファイル

が消去される。そしてステップ S 109 に進む。

【0087】

ステップ S 109 では、デジタルカメラ 6 内に、更に画像蓄積装置 4 で取り扱うことができる未転送ファイルが存在するか否かを検出する。未転送ファイルが存在する場合にはステップ S 102 に戻り、未転送ファイルが存在しない場合にはステップ S 116 に進む。

前述したステップ S 102 で転送中止の指示を検出した場合、ステップ S 110 で、デジタルカメラ 6 の LCD 6 q に図 11 に示すように転送済みのファイルも含めて全ての転送を中止するか使用者に質問する。

【0088】

ステップ S 111 では、ステップ S 110 の質問に対して「No」が指示されたか否かを検出する。「No」が指示された場合にはステップ S 116 に進む。また、「No」が指示されていない場合はステップ S 112 に進む。ここで、使用者により「No」が指示された場合には転送済みのファイルは転送したままでよいと判断される。

【0089】

ステップ S 112 では、ステップ S 110 の質問に対して「Yes」が指示されたか否かを検出する。「Yes」が指示された場合にはステップ S 114 に進み、「Yes」が指示されていない場合はステップ S 113 に進む。ここで、使用者により「Yes」が指示された場合には、充電をするためにステーション 5 に装着したものと判断される。「Yes」か「No」を指示する方法は、コマンドダイヤル 6 s を回転することにより「Yes」または「No」を選択し、リリースボタン 6 r を押すことにより選択されたほうが指示される。

【0090】

ステップ S 114 では、今回転送したファイルとフォルダ、更に「990401-990402」フォルダを画像蓄積装置 4 内の記憶部 4 f から削除する。

ステップ S 115 では、デジタルカメラ 6 内のファイルのヘッダ部に付加された転送済み情報を解除するようデジタルカメラ 6 に指示する。

ステップ S 113 では、転送中止指示がなされてから所定時間が経過したか否

かを検出する。所定時間経過していなければステップ S 1 1 0 に戻り、指示を待つ。所定時間経過した場合には、ステップ S 1 0 2 の転送中止指示により充電のみをするためにステーション 5 に装着されたものと見なしステップ S 1 1 4 に進む。

【0091】

ステップ S 1 1 6 では、プロテクトされたファイルを転送したか否かを検出する。プロテクトされたファイルを転送している場合はステップ S 1 1 7 に進み、プロテクトされたファイルを転送していない場合はステップ S 1 2 2 に進む。プロテクトとは、カードメモリに記録されたファイルを誤消去してしまわないようにファイル管理するようデジタルカメラ 6 に備えられた機能である。通常、プロテクトを解除しない限りそのファイルは消去することはできない。

【0092】

ステップ S 1 1 7 では、図 11 に示すようにプロテクトされたファイルを消去するか LCD 6 q に表示する。

ステップ S 1 1 8 では、ステップ S 5 1 7 の質問に対して「N o」が指示されたか否かを検出する。「N o」が指示されたことを検出した場合はステップ S 1 2 2 に進む。また、「N o」が指示されたことを検出しない場合はステップ S 1 1 9 に進む。

【0093】

ステップ S 1 1 9 では、ステップ S 1 1 7 の質問に対して「Y e s」が指示されたか否かを検出する。「Y e s」が指示されたことを検出した場合はステップ S 1 2 1 に進む。また、「Y e s」が指示されたことを検出しない場合はステップ S 1 2 0 に進む。

ステップ S 1 2 0 では、プロテクトされたファイルを消去するか LCD 6 q に表示し始めてから所定時間が経過したか否かを検出する。所定時間経過していなければステップ S 1 1 7 に戻り、指示を待つ。また、所定時間経過していればステップ S 1 2 1 に進む。ここでは特に指示されない場合には、カードメモリの空き容量を増やすために、プロテクトされたファイルを削除するようにした。

【0094】

ステップ S 1 2 1 では、ステップ S 1 0 8 でファイルのヘッダ部に付加された転送済み情報を検索して、デジタルカメラ 6 から転送が完了しているファイルを削除する。

ステップ S 1 2 2 では、ステップ S 1 0 8 でファイルのヘッダ部に付加された転送済み情報とプロテクト情報を検索して、デジタルカメラ 6 から転送が完了しているファイルのうちプロテクトされていないファイルのみを削除する。

【0095】

ステップ S 1 2 3 では、接続解除割り込み処理の割り込みを不可にし、本フローを終了する。

(c) 途中取り外し

図 9 を使用して接続解除割り込み処理を説明する。本フローは、割り込みが可能である状態において、ステーション 5 とデジタルカメラ 6 との接続が解除されることによりスタートする。

【0096】

ステップ S 1 8 1 では、デジタルカメラ 6 の表示部を使用して接続されていないことを警告し、使用者に接続することを促す。

ステップ S 1 8 2 では、ファイルの転送途中に接続解除があり、記憶部 4 f 内に転送が完了していないファイルが存在するか否かを検出する。存在する場合にはステップ S 1 8 3 に進み、存在しない場合にはステップ S 1 8 4 に進む。

【0097】

ステップ S 1 8 3 では、記憶部 4 f 内の転送完了していないファイルを削除する。

ステップ S 1 8 4 では、デジタルカメラ 6 とステーション 5 が接続されたか否かを検出する。接続されたことが検出された場合にはステップ S 1 8 7 に進み、検出されない場合にはステップ S 1 8 5 に進む。

【0098】

ステップ S 1 8 7 では、再度接続されたデジタルカメラが前回接続されていたデジタルカメラ 6 であるか判別する。同じデジタルカメラ 6 であった場合には図 8 のステップ S 1 0 9 に進む。これにより、既に作成されたフォルダに転送を可

能にする。異なるデジタルカメラであった場合には図 6 のステップ S 1 5 2 に進む。

【0 0 9 9】

ステップ S 1 8 5 では、接続が解除されてからの経過時間が所定時間を越えたか否かを検出する。経過時間が所定時間を越えた場合にはステップ S 1 8 6 に進み、越えていない場合にはステップ S 1 8 4 に戻る。

ステップ S 1 8 6 では、画像蓄積装置 4 の電源を OFF して本フローを終了する。

【0 1 0 0】

実施形態 1 では、全てのファイルの転送が終了した後に、正常に転送したファイルに対応するデジタルカメラ 6 内のファイルを一括して消去するよう構成した。しかし、それだけに限らず、1 つのファイルの転送が終了した時点で対応するファイルを個別に消去するようにしてもよい。なお、実施形態 1 のデジタルカメラでは、転送が終了したファイルを実際に消去する例を説明したが、ファイルの上書き可能なデジタルカメラではファイルのヘッダ部に消去可能情報を付加するのみで実際に消去しなくてよい。

【0 1 0 1】

また、本実施の形態 1 では、画像蓄積装置 4 によりデジタルカメラ 6 の装着を検出したが、テレビ受像機本体 1 により検出するようにしてもよい。

また、本実施の形態のフローチャートの制御は、画像蓄積装置 4 内の CPU 4 e により実行させたがテレビ受像機本体 1 内の CPU 1 h にて実行してもよい。

(d) デジタルカメラ 6 内 CPU 6 h での処理

また、図 8 に示したフローチャートはデジタルカメラ 6 内の CPU 6 h により実行させてもよい。以下にデジタルカメラ 6 内の CPU 6 h により実行する実施の形態を図 1 3 を用いて説明する。

【0 1 0 2】

ステップ S 5 0 1 では、デジタルカメラ 6 とステーション 5 との接続状態が解除された場合に処理される接続解除割り込み処理の割り込みを可能にする。接続解除割り込み処理は図 1 2 を用いて説明する。

ステップ S 5 0 2 では、デジタルカメラ 6 のリリースボタンが操作され転送中止が指示されたか否かを検出する。転送中止が指示された場合にはステップ S 5 1 0 に進み、指示されていない場合はステップ S 5 0 3 に進む。

【0103】

ステップ S 5 0 3 では、未転送ファイルが記録されているフォルダ（階層）構造を検出する。未転送ファイルがフォルダ構造を有している場合はステップ S 5 0 4 に進み、フォルダ構造を有していない場合はステップ S 5 0 6 に進む。

ステップ S 5 0 4 では、ステップ S 5 0 3 で検出されたフォルダが画像蓄積装置 4 内に既に存在しているか検出する。存在していればステップ S 5 0 6 に進み、存在していなければステップ S 5 0 5 に進む。

【0104】

ステップ S 5 0 5 では、画像蓄積装置 4 の記憶部 4 f に図 6 のステップ S 1 5 4 で作成されたフォルダ「990401-990402」内に、更にフォルダを作成するように画像蓄積装置 4 に指令する。

ステップ S 5 0 6 では、未転送ファイルを画像蓄積装置 4 に転送し図 6 のステップ S 1 5 4、ステップ S 5 0 5 で作成されたフォルダ内に記録するよう指示する。

【0105】

これによりデジタルカメラ 6 内にフォルダ構造で記録されていた場合には、記録されていたフォルダ構造を崩すことなく画像蓄積装置 4 に記録されるため整理しやすい。

更にステップ S 5 0 6 では、LCD 6 q に転送中であることを表示する。

ステップ S 5 0 7 では、画像蓄積装置 4 に転送したファイルの記録が完了したか否かを検出する。完了していればステップ S 5 0 8 に進み、完了していなければステップ S 5 0 6 で転送を継続する。画像蓄積装置 4 は、転送されたファイルが記憶部 4 f への記録が完了したときに完了信号を送信するようになっている。

【0106】

ステップ S 5 0 8 では、デジタルカメラ 6 内のファイルのヘッダ部に転送済みであることを示す情報を付加する。図 1 5 に示すステップ S 5 2 1、ステップ S

522で、この付加された情報に基づいてファイルが消去される。そしてステップS509に進む。

ステップS509では、デジタルカメラ6内に、更に画像蓄積装置4で取り扱うことができる未転送ファイルが存在するか否かを検出する。未転送ファイルが存在する場合にはステップS502に戻り、未転送ファイルが存在しない場合にはステップS516に進む。

【0107】

ステップS510では、デジタルカメラ6のLCD6qに図11に示すように転送済みのファイルも含めて全ての転送を中止するか使用者に質問する。

ステップS5

11では、ステップS510の質問に対して「No」が指示されたか否かを検出する。「No」が指示されたことを検出した場合にはステップS516に進む。また、「No」が指示されたことを検出しない場合はステップS512に進む。ここで、使用者により「No」を指示された場合には転送済みのファイルは転送したままでよいと判断される。

【0108】

ステップS512では、ステップS510の質問に対して「Yes」が指示されたか否かを検出する。「Yes」が指示されたことを検出した場合にはステップS514に進み、「Yes」が指示されたことを検出しない場合はステップS513に進む。ここで、使用者により「Yes」を指示された場合には、充電をするためにステーション5に装着したものと判断される。

【0109】

ステップS514では、今回転送したファイルとフォルダ、更に「990401-990402」フォルダを画像蓄積装置4内の記憶部4fから削除するよう画像蓄積装置4に指示する。

ステップS515では、デジタルカメラ6内のファイルのヘッダ部に付加された転送済み情報を解除する。

【0110】

ステップS513では、転送中止指示がなされてから所定時間が経過したか否

かを検出する。所定時間経過していなければステップ S 5 1 0 に戻り、指示を待つ。所定時間経過した場合には、ステップ S 5 0 2 の転送中止指示により充電のみをするためにステーション 5 に装着されたものと見なしステップ S 5 1 4 に進む。

【0111】

ステップ S 5 1 6 では、プロテクトされたファイルを転送したか否かを検出する。プロテクトされたファイルを転送している場合はステップ S 5 1 7 に進み、プロテクトされたファイルを転送していない場合はステップ S 5 2 2 に進む。プロテクトとは、カードメモリに記録されたファイルを誤消去してしまわないようにファイル管理するようデジタルカメラ 6 に備えられた機能である。通常、プロテクトを解除しない限りそのファイルは消去することはできない。

【0112】

ステップ S 5 1 7 では、図 1 1 に示すようにプロテクトされたファイルを消去するか LCD 6 q に表示する。

ステップ S 5 1 8 では、ステップ S 5 1 7 の質問に対して「Y e s」が指示されたか否かを検出する。「Y e s」が指示されたことを検出した場合はステップ S 5 2 2 に進む。また、「Y e s」が指示されたことを検出しない場合はステップ S 5 1 9 に進む。

【0113】

ステップ S 5 1 9 では、ステップ S 5 1 7 の質問に対して「N o」が指示されたか否かを検出する。「N o」が指示されたことを検出した場合はステップ S 5 2 1 に進む。また、「N o」が指示されたことを検出しない場合はステップ S 5 2 0 に進む。

ステップ S 5 2 0 では、プロテクトされたファイルを消去するか LCD 6 q に表示し始めてから所定時間が経過したか否かを検出する。所定時間経過していなければステップ S 5 1 7 に戻り、指示を待つ。また、所定時間経過していればステップ S 5 2 1 に進む。ここでは特に指示されない場合にはプロテクトされたファイルを削除しないようにした。

【0114】

ステップS521では、ステップS508でファイルのヘッダ部に付加された転送済み情報とプロテクト情報を検索して、デジタルカメラ6から転送が完了しているファイルのうちプロテクトされていないファイルのみを削除する。

ステップS522では、ステップS508で付加された転送済み情報を検索して、デジタルカメラ6から転送が完了している全てのファイルを削除する。

【0115】

ステップS523では、接続解除割り込み処理の割り込みを不可にし、本フローを終了する。

(3) 画像蓄積装置の動作

テレビリモコンの操作により行われる画像蓄積装置の動作について具体的に説明する。

【0116】

テレビリモコン3の詳細を図16に示す。テレビ受像機本体1に微小電流が供給されてスタンバイ状態にあるときに、テレビリモコン3の電源ボタン3aが押されると、テレビ受像機本体1のメイン電源がオンとなる。

図17は、メイン電源オン後のテレビ受像機本体の基本動作フローである。ステップS1でメイン電源がオンになると、ステップS2においてテレビ受像機本体は常にテレビモードにて立ち上がる。従って、直前の使用において、例えば後述するアルバムモードにてテレビ受像機本体1のメイン電源をオフしていたとしても、新たにメイン電源をオンしたときは、テレビ受像機本体1はテレビモードにて立ち上がる。ここで、テレビモードとは、通常のテレビ放送を受信して鑑賞するモードをいう。ステップS3でアルバムモードなど他のモードへのモード変更操作による割込みを可能にし、ステップS4でメイン電源オフ操作による割込みを可能にしたあと、フローはステップS5のテレビモード動作に入る。

【0117】

ステップS5でテレビモード動作に入り、テレビ放送の表示が始まると、所定時間（例えば5秒間）、テレビ表示部2においてデジタルカメラの情報がテレビ放送画面に重畳して表示される。表示されるデジタルカメラの情報は、例えばデジタルカメラ6のステーション5への載置の有無、デジタルカメラ6から画像蓄

積装置 4 へのデジタル静止画像の転送状況、デジタルスチルカメラの充電状況などである。

【0118】

図 16 におけるテレビリモコン 3 のアルバムボタン 3 b を押すと、モード変更割込みがかかる。アルバムモードの基本フローを示す図 13 において、ステップ S 6 でモード変更割込みがかかると、ステップ S 7 でアルバムモードへのモード変更であることが確認し、ステップ S 8 へ進む。なお、モード変更割込みがアルバムモードへものでなかったときは、ステップ S 7 から別モードのフローへ進む。ステップ S 8 ではアルバムモードから他のモードへの変更に必要なモード変更割込み操作を可能とする処理をし、ステップ S 9 ではアルバムモードから直接テレビ受像機本体 1 のメイン電源をオフ操作するためのメイン電源オフ割込みを可能とする処理をする。

【0119】

ステップ S 10 において、画像蓄積装置 4 に微小電流が供給されてスタンバイ状態にあることが確認されると、ステップ S 11 で画像蓄積装置 4 の電源をオンする指示が出され、画像蓄積装置 4 が立ち上がる。ステップ S 12 では、後述するデータ取込み完了割込みを受け付けるための処理が行われる。一方、ステップ S 10 において画像蓄積装置 4 がスタンバイ状態でない場合は、ステップ S 13 でテレビ表示部 2 に「画像蓄積装置の電源を入れてください」とのメッセージが表示され、ステップ S 14 にて画像蓄積装置 4 の元電源がオンされるのを待つ。画像蓄積装置 4 の元電源がオンされると、ステップ S 15 でメッセージの表示を終了し、ステップ S 12 に進む。

【0120】

ステップ S 16 では、バックグラウンドミュージックがスタートする。これは、テレビモードで放送を受信している際に通常流れている音声アルバムモードになって無音状態になる違和感を緩和するためである。このバックグラウンドミュージックはあらかじめ準備されているものがランダムに選ばれる。この機能はユーザ設定によって、バックグラウンドミュージックの代わりにそのままテレビ音声を流す、または完全に無音にするなど、任意に変更できる。

【0 1 2 1】

ステップ S 1 7 1 では、フレームメモリ 4 m に画像が保持されているか否かを検出する。フレームメモリ 4 m には、図 2 8 のステップ S 8 7 で画像が保持される。保持されていればステップ S 1 7 2 に進み、保持されてなければステップ S 1 7 4 に進む。

ステップ S 1 7 2 では、図 2 8 のステップ S 8 7 でフレームメモリ 4 m に保持された表示画像を読み出し、テレビ表示部 2 に表示する。半導体メモリであるフレームメモリ 4 m に保持された表示画像は瞬時に読み出され、表示を行うことができる。そのため、アルバムモードに変更されてからテレビ表示部 2 に画像が表示されるまでの期間を極力短くすることができ、違和感を生じさせない。

【0 1 2 2】

ステップ S 1 7 3 では、記憶部ドライバ 4 n に指令を出し、記憶部 4 f の駆動を開始する。そして、ステップ S 1 8 に進む。

上述したステップ S 1 7 1 で画像が保持されていない場合は、ステップ S 1 7 4 で、ROM 内に予め記憶されたアルバムモードのメニュー画像を読み出し、表示する。ROM は、画像蓄積装置 4 の CPU 4 e 内に存在している半導体メモリである。ROM に記憶されたメニュー画像も瞬時に読み出され、表示を行うことができる。

【0 1 2 3】

ステップ S 1 7 5 では、記憶部ドライバ 4 n に指令を出し、記憶部 4 f の駆動を開始する。

ステップ S 1 7 6 では、画像、音声を再生するための再生プログラムを起動する。そして、ステップ S 1 7 に進む。

ステップ S 1 7 では、画像蓄積装置 4 に取込まれた最新のフォルダ中の第 1 画像が再生され、テレビ受像機本体 1 に表示される。なお、この機能は、アルバムモードへの変更に応答して、ある一定のルールによって選択された画像を画像蓄積装置 4 で自動的に再生して表示することを意味するものであり、ある一定のルールによって選択される画像としては、上記の最新のフォルダ中の第 1 画像に代えて、例えば画像蓄積装置 4 に取込まれた画像ファイル中の最新撮影日時の画像

としてもよい。アルバムモードは、このようにして立ち上がった後、ステップS18のアルバムモード動作に入る。

【0124】

なお、上記の構成に換えて、ステップS174においてテレビモードの表示を継続し、ステップS17で画像の取り込みが行われた後、表示をアルバムモードに切換えるよう構成することもできる。

アルバムモードへモード切換は、画像蓄積装置4がデジタルカメラ6から画像ファイルを取込んでいる最中でも行われる。また、アルバムモードにおいてテレビ受像機本体1を使用中において、画像取込みのためにデジタルカメラ6がステーション5に挿入されることもある。図19はこのような場合に対応する動作を示す。アルバムモードへの切換前にデジタルカメラ6から画像蓄積装置4への画像ファイル取込みが完了していれば、図13のステップS17の機能により取込み完了の最新フォルダの第1画像が表示されるから図19のフローが動作することはない。これに対し、アルバムモードへの切換が行われたあとに画像ファイルのデータ取込みが完了した場合には、図19のステップS19で割込みがかかり、「新しい画像ファイルのフォルダが取込まれた」旨のメッセージをテレビ表示部2の画面表示に重畳して表示する。表示はステップS21で例えば7秒程度の所定時間がカウントされる間続き、ステップS22で終了する。この機能はアルバムモード中はいつでも機能し、メッセージを見た使用者は、後述する操作により任意に新着フォルダの画像を見ることができる。

【0125】

図20は、図18のステップS18のアルバムモード動作の詳細である。すなわち、アルバムモードへの切換に応答して図18のステップS17で画像表示が行われると、図20のステップS24からのアルバムモード動作に移行し、ステップS25～ステップS30において、以下に詳述する各種の割込みが可能になるとともに、あとは使用者の操作を待ってステップS31で待機状態に入る。図16のテレビリモコン3のTVアルバムボタン3bが押されてからここまでの動作は、きわめて短時間に行われる。

【0126】

アルバムモードにおいてテレビ表示部 2 に表示されている画像を送るには、図 1 6 のチャンネルボタン 3 c の「+」または「-」を操作する。図 2 1 はこの場合の動作を示す。画像が表示されている状態においてチャンネルボタン 3 c が操作されると、図 2 1 のステップ S 3 2 で画面送り割込みがかかる。チャンネルボタン 3 c の「+」が押されたのであれば、次画面送り操作であるからステップ S 3 3 からステップ S 3 4 に移行し、チャンネルボタンが押される前の現画面が、フォルダ中の最終画面かどうかチェックされる。そして、最終画面でなければステップ S 3 5 で一画面送りをおこない、ステップ S 3 6 でリターンする。これに対し、ステップ S 3 4 で現画面が最終画面であるときは、これ以上送る画面がないから何もせずステップ S 3 6 でリターンする。つまり、現画面が最終画面であるときはチャンネルボタン 3 c の「+」を押しても何も受け付けないことになる。ステップ S 3 3 において次画面送り操作でなかったときは、画面戻しのためにチャンネルボタン 3 c の「-」が押されたものと判断してステップ S 3 7 に移行する。ステップ S 3 7 では、チャンネルボタンが押される前の現画面が、フォルダ中の 1 枚目の画面かどうかをチェックし、1 枚目でなければステップ S 3 8 で一画面戻しをおこない、ステップ S 3 6 でリターンする。これに対し、ステップ S 3 7 で現画面が 1 枚目であるときは、これ以上戻す画面がないから何もせずステップ S 3 6 でリターンする。つまり、現画面が 1 枚目であるときにチャンネルボタン 3 c の「-」を押しても何も受け付けないことになる。

【0 1 2 7】

なお、この実施の形態では、「1 枚目」および「最終画面」をそれぞれひとつのフォルダ内におけるものとしたが、これに代えて、画像蓄積装置内のすべての画像における「1 枚目」および「最終画面」としてもよい。この場合は、最新のフォルダの 1 枚目まで画像戻しを行ったうえで、さらにチャンネルボタン 3 c の「-」が押されたときは、ひとつ古いフォルダの中の最終画面が表示されることになる。以下、最も古いフォルダの 1 枚目に到るまで、チャンネルボタン 3 c の「-」の操作を受け付けて画面戻しが行われる。このようにすれば、後述する階層変更操作を知らない使用者であっても、一応は画像蓄積装置内の全画像を見ることができる。

【0128】

図22はテレビ表示部2に表示される種々の画面を示したもので、(G1)、(G2)は画像が表示されている場合である。図16と対応づければ、画像(G1)が表示されている状態でチャンネルボタン3cの「+」を押すと画像(G2)への次画面送りが行われ、画像(G2)が表示されている状態でチャンネルボタン3cの「-」を押すと画像(G1)への画面戻しが行われる。

【0129】

図22において、(S1)、(S2)は連続する九つの画像をテレビ表示部2の画面を9分割して縮小一覧表示したものであり、デジタルカメラのサムネイル表示に対応するものである。ここでは、14つの画像が存在する場合を示している。

一方、(F1)は連続する7つのフォルダの情報をテレビ表示部2の画面を9分割して一覧表示したものであり、それぞれにフォルダ名称、日付、内容、等の文字表示とそのフォルダの1枚目の縮小画像が表示されている。ここでは、7つフォルダが存在する場合を示している。

また、(Y1)、(Y2)は連続する九つの年をテレビ表示部2の画面を9分割して一覧表示したものである。ここでは、18つ以上の年が存在する場合を示している。画像蓄積装置4は、これら「サムネイル」、「フォルダ」、「年」を、テレビ表示部2に予め決められた9分割で表示させるため、9つ以下の場合は全ての画像を同時に表示し、9つ以上存在する場合は9つ毎に画像を分けて表示するように制御する。したがって、9つ以上のフォルダが存在する場合には(S1)、(S2)のサムネイル一覧表示がフォルダ一覧表示に置き換わったような表示形態になる。

【0130】

また、これらの「画像」、「サムネイル」、「フォルダ」、「年」を階層と呼ぶことにする。

アルバムモードにおいてテレビ表示部2に表示されている階層を変更するには、図16の音量ボタン3dの「+」または「-」を操作する。図23はこの場合の動作を示す。画像が表示されている状態において音量ボタン3dが操作され

ると、図 23 のステップ S 39 で階層変更割込みがかかる。音量ボタン 3 d の「+」が押されたのであれば、階層アップ操作であるからステップ S 40 からステップ S 41 に移行し、音量ボタン 3 d が押される前の現画面が、階層中の年かどうかチェックされる。そして、年でなければステップ S 42 で階層を一段アップし、ステップ S 43 でリターンする。例えば、図 22 において画像 (G 1) からサムネイル (S 1) に移行する。この場合、サムネイル (S 1) は 9 分割された画面の左上隅に画像 (G 1) を配し、画像 (G 2) をその右に配して、以下の順で画像 (G 1) を筆頭とする一連の九つの画像を表示するものとする。なお、表示のルールとしては、画像 (G 1) を左上隅に配するのに代え、9 分割画面の中央に配するようにすることもできる。

【0131】

ステップ S 40 で現階層が年であるときは、これアップする階層がないから何もせずステップ S 43 でリターンする。つまり、現階層が年であるときは、音量ボタン 3 d の「+」を押しても何も受け付けないことになる。なお、図 23 において、階層を記憶するレジスタをサイクリックとし、ステップ S 41 を省略すれば、現階層が年であるときにさらに音量ボタン 3 d の「+」を押したときには画像階層に戻るよう構成してもよい。このことは以下に説明するステップ S 44 についても同様である。

【0132】

ステップ S 40 において階層アップでなかったときは、階層ダウンのために音量ボタン 3 d の「-」が押されたものと判断してステップ S 44 に移行する。ステップ S 44 では、音量ボタン 3 d の「-」が押される前の現階層が、画像かどうかをチェックし、画像でなければステップ S 45 で階層を一段ダウンし、ステップ S 43 でリターンする。例えば、図 22 においてフォルダ (F 1) からサムネイル (S 1) に移行する。この場合、サムネイル (S 1) はフォルダ (F 1) の 9 分割された画面の左上隅のフォルダの中の最初の 9 画面を表示するものとする。

【0133】

ステップ S 44 で現階層が画像であるときは、これ以上階層をダウンできない

何もせずステップ S 4 3 でリターンする。つまり、現階層が画像であるときに音量ボタン 3 d の「-」を押しても何も受け付けないことになる。これに代えて、操作を受け付けて階層をサイクリックに変更するよう構成できることは上述したとおりである。

【0134】

階層ダウン操作については、上記の階層変更割込みによるほか、図 2 4 に示す選択フローによっても行われる。一例として、図 2 2 のサムネイル (S 1) が表示されている状態において、図 1 6 のテレビリモコン 3 にある 1 2 キー 3 e の「2」のボタンを押すと、画面は、画像 (G 2) に切換わる。つまり、テレビリモコン 3 において 1 2 キー 3 e のボタン「1」～「9」は二次元配置的にテレビ表示部 2 の九つの分割画面とそれぞれ対応付けられており、ボタンを押すことによって分割画面の中から対応する位置のものが選択されることになる。上記の例では画像 (G 2) に対応する画像はサムネイル (S 1) の 9 分割画面のうち上段中央に配されているが、1 2 キー 3 e の「1」～「9」の配置において上段中央にあるのはボタン「2」なので、このボタン「2」を押すことで、画像 (G 2) が選択されたことになる。

【0135】

以上の動作を、図 2 4 の選択フローで詳しく見る。今度は、年 (Y 2) がテレビ表示部 2 に表示されている場合を例にとって説明する。年表示は年を手がかりに画像検索するとき使用する。例えば、1988 年作成のフォルダから画像を探したいとする。この場合、年 (Y 2) の表示において、「1988」は中段右側にあるので、これを選択するために 1 2 キー 3 e の配置で中段右側にある「6」のボタンを押す。これによって、図 2 4 のステップ S 4 6 において選択割込みがかかる。ステップ S 4 7 で現在の階層が画像であるかどうかチェックされ、画像であればなにもせず、ステップ S 5 2 でリターンする。つまり、テレビ表示部 2 に表示されているのが画像であれば、選択の対象はないので、1 2 キー 3 e の各ボタンの操作は一切受け付けない。今回の例では階層は年であるからステップ S 4 7 からステップ S 4 8 に進む。ステップ S 4 8 においては、1 2 キー 3 e のボタン「6」が押されたことにより、1988 年作成の全フォルダの選択処理

が行われるとともに作成日順位に整理される。ステップS49では階層が年、フォルダ、サムネイルのいずれかかどうかチェックされる。今回の例では階層は年であるからステップS50で階層が一段ダウンされてフォルダの階層となる。これによってテレビ表示部2にはフォルダ(F1)が表示される。フォルダ(F1)の9分割画面には1988年作成の最も早い日付のものを筆頭に上段左側から日付順にフォルダの情報が表示される。ステップS51では一段ダウンした結果の新しい階層が画像かどうかのチェックが行われる。今回の例では、新しい階層はフォルダなのでそのままステップS52でリターンとなる。

【0136】

図24のステップS53からステップS56は、以後の検索の情報として各画像に処理履歴を書込むための動作を示す。ステップS51において一段ダウンした結果の新しい階層が画像であるときはステップS53において「マイ・アルバム」モードにおける使用であるかどうかチェックされる。「マイ・アルバム」モードの詳細は後述する。「マイ・アルバム」モードでなければ、ステップS54で画像選択日時がその画像データのヘッダ部に書込まれ、ステップS55でその画像に到った検索履歴などその他の選択条件がその画像のヘッダ部に書き込まれる。これらの情報は、後日同じ画像を検索するときの手がかりとして機能する。例えば画像選択日時は、「1週間前に見た画像」という検索条件にて同じ画像を検索する際に有用である。ステップS53において「マイ・アルバム」モードにおける使用であると判断されると、誰が検索した画像かという個人情報がステップS54においてその画像のヘッダ部に書き込まれ、後日の検索の手がかりとして機能する。なお、ステップS49において階層がいずれにも該当しない場合は、階層変更に関係しない選択が行われたと判断され、ステップS57においてそのために必要な選択処理が行われる。この動作の代表的なものはマイ・アルバムモードにおける個人の選択である。

【0137】

ここで、マイ・アルバムモードにおける個人の選択について説明する。図16のテレビリモコン3におけるメニューボタン3fを押すと、テレビ表示部2に9分割画面があらわれ、それぞれ12キー3eの「1」～「9」の配列どおりに

1～9の数字が表示される。この表示は別途適宜の入力手段によって家族の個人名などに置き換えることも可能である。この動作を図25のマイ・アルバムフローで説明すると、メニューボタン3fの操作により、ステップS56でマイ・アルバム割込みがかかり、ステップS57においてテレビ表示部2に12キー3eの「1」～「9」の配列どおりに1～9の数字が表示されことになる。このフローはステップS58でリターンし、12キー3eの操作を待つ。例えば、操作者が家族の父であり、数字1を割り当てていたとすると、12キー3eの「1」を押すと図24のステップS46からステップS49および、ステップS57、ステップS52が機能する。この結果、以後の操作において画像の選択をしたとすると、図24のステップS51、ステップS53、に続いてステップS56において選択した画像のヘッダ部に「父」の情報が書込まれる。

【0138】

図16のテレビリモコン3における選択ボタン3gを操作すると、図26におけるステップS59で検索割込みがかかり、ステップS60においてテレビ表示部2に検索条件入力画面が表示される。選択ボタン3gをさらに適宜操作することにより、ステップS61において表示された検索条件における検索カテゴリーを変更することができる。選択した検索カテゴリーにおいて日付などの検索条件を入力するには12キー3eを用いる。これによってステップS62が機能する。検索条件が決まったら、図16のテレビリモコン3における決定ボタン3hを押すことによりステップS63からステップS64に進む。ステップS61からステップS63は、最終操作結果を保存しながら、所定時間毎に繰り返されるので、決定ボタン3hを押さない限り、ステップS61、ステップS62における修正は繰り返し可能である。ステップS64では検索が実行されると共に結果のフォルダが作成され、ステップS65で検索結果が図22のサムネイル（S1）のような形式で表示される。なお、検索結果のヒット画像数が多い場合や検索条件に階層がある場合は、適宜複数のフォルダに検索結果が分離され、図22のフォルダ（F1）のような形式で表示される。検索結果のヒット画像のヘッダ部にはステップS66からステップS69により、後日の検索のための情報が書込まれステップS70でリターンする。なお、フォルダがある場合には、フォル

ダにも同様の情報を書込むようにしてもよい。

【0139】

次に画像のプリントについて説明する。テレビ表示部 2 に画像が表示されている場合において、その画像をプリントしたいときは、テレビリモコン 3 における決定ボタン 3 h を押すと、図 2 7 のステップ S 7 1 でプリント割込みがかかる。この場合、テレビ表示部 2 に表示されている階層が画像でないときに誤って決定ボタン 3 h が押されても何も受け付けず、ステップ S 7 2 からステップ 7 8 に飛んでリターンする。階層が画像であったときはステップ S 7 2 からステップ S 7 3 に進む。ステップ S 7 3 からステップ S 7 5 は、後日の検索のために画像のヘッダ部に情報を書込む機能である。ステップ S 7 5 1 では、画像のヘッダ部にプリント情報が有るか否かを検出する。プリント情報がない場合にはステップ S 7 6 に進む。ステップ S 7 6 では画像のヘッダ部にプリントすべき旨の情報が書込まれる。ステップ S 7 7 では、テレビ表示部 2 の画像表示に「プリント受付」の旨を重畳表示する。また、ステップ S 7 5 1 でプリント情報が有る場合にはステップ S 7 5 2 に進む。ステップ S 7 5 2 では画像のヘッダ部に書き込まれたプリント情報を消去する。ステップ S 7 5 3 では、テレビ表示 2 の画像表示に重畳表示された「プリント受付」を消去する。以上の動作によりステップ S 7 8 にリターンしするので、この動作は別の画像を呼び出して何度でも行うことができる。プリントの実行は、アルバムモード終了の際にまとめて行われる。

【0140】

他のモードへの変更操作をする、あるいは画像蓄積装置 4 の主電源が不用意に落とす操作をするとき、アルバムモードは終了する。例えば、アルバムモードからテレビモードに戻るには TV アルバムボタン 3 b を押す。ビデオモード 1 に変更するにはビデオ 1 ボタン 3 j を押す。画像蓄積装置 4 の主電源スイッチを操作する。これらのいずれかの操作がおこなわれると、アルバムモード終了フローを示す図 2 8 のステップ S 7 9 においてモード変更割込みがかかる。ステップ S 8 0、ステップ S 8 1 ですでに説明した割込み可能処理をした後、ステップ S 9 1 ではアルバムモード終了フローが開始されたのが他モードへの変更操作によるものか、それとも画像蓄積装置 4 の主電源を落とす操作によるものかを判別し、他

モードへの変更操作によるものである場合はステップ S 8 2 に進む。ステップ S 8 2 ではプリント情報のある画像があるかどうかをチェックする。該当する画像があればステップ S 8 3 において、図 2 2 のサムネイル (S 1) の形式でそれらを表示する。この状態でテレビリモコン 3 の決定ボタン 3 h が押されると、ステップ S 8 5 でプリントの実行が行われるとともに、各画像のヘッダ部にプリント実行済みの情報が書込まれる。この後、ステップ S 8 6 において、指定されたモードへの変更が行われ、ステップ S 8 7 でリターンする。ステップ S 8 5 からステップ S 8 6 への移行はプリント指示直後に行われ、実際のプリントの実行は他のモードのバックグラウンド、例えばテレビ放送受信鑑賞中に行われる。

【0141】

ステップ S 8 2 でプリントすべき情報がなければ直接ステップ S 8 6 に飛ぶ。また、ステップ S 8 4 において、決定ボタン 3 h の代わりに、テレビリモコン 3 のメニューボタン 3 f が押されるとステップ S 9 0 でプリント保留処理が行われ、プリントを実行せずにステップ S 8 6 に移行する。ステップ S 9 0 では、各画像のヘッダ部にその旨の情報が書込まれ、以後テレビ受像機本体の電源オン時、モード変更時など、適宜の節目でプリント未実行の画像がある旨のメッセージの表示が所定時間行われる。この表示は、各画像のプリント実行を行うか、プリント指示の取り消し操作をするまで、繰り返し行われる。

【0142】

ステップ S 8 7 では、表示画面をフレームメモリ 4 m に保持する。ここで、表示画像をフレームメモリ 4 m に保持する理由は、再度、アルバムモードに変更されたときに他のモードに変更される前のアルバムモードと同じ状態にするためである。なお、この処理以降は、指定モードの処理のバックグラウンドで並列して制御される。

【0143】

ステップ S 8 8 では、他のモードに変更されてから所定時間が経過したか否かを検出し、所定時間経過していればステップ S 8 9 に進み、経過していなければ計時を継続する。

ステップ S 8 9 では、省電のため画像蓄積装置 4 の記憶部 4 f の駆動を停止さ

せ、省電力モードにする。ここで、所定時間経過した後に省電力モードに移行する理由を説明する。例えば誤って他のモードに移ってしまった場合、すぐに画像蓄積装置モードに戻る可能性がある。このような場合にいちいち記憶部 4 f の駆動停止、駆動開始を繰り返すと、アルバムモードが動作可能になるまでに時間がかかってしまうし、また、記憶部 4 f の負担が大きくなる。

【0144】

また、上述のステップ S 9 1 で画像蓄積装置 4 の主電源を落とす操作によるものである場合は、ステップ S 9 2 に進む。ステップ S 9 2 では、プリント情報のある画像があるかどうかをチェックする。該当する画像があればステップ S 9 3 でプリント保留処理が行われ、プリントを実行せずにステップ S 9 4 に移行する。ステップ S 9 3 では、各画像のヘッダ部にその旨の情報が書込まれ、以後テレビ受像機本体の電源オン時、モード変更時など、適宜の節目でプリント未実行の画像がある旨のメッセージの表示が所定時間行われる。この表示は、各画像のプリント実行を行うか、プリント指示の取り消し操作をするまで、繰り返し行われる。ステップ S 9 2 で該当する画像がなければステップ S 9 4 に飛ぶ。ステップ S 9 4 ではテレビモードに移行し、ステップ S 9 5 に進む。ステップ S 9 5 では画像蓄積装置 4 に対して、記憶部 4 f の駆動を停止させる等の終了処理を施して主電源をオフする。

【0145】

プリンタ 9 は電源 ON、OFF も含めた全ての機能を画像蓄積装置 7 によって制御される。画像蓄積装置 7 の CPU は、プリンタ 9 を制御する制御指令をテレビ受像機本体 1 のテレビリモコン 3 からテレビ受像機本体 1 を介して受け、該受けた制御指令をプリンタ 9 に伝達する。前記 CPU は、画像蓄積装置 7 及び該画像蓄積装置 7 に接続された各種機器の状態を参照して、指示された制御指令出力の許諾、出力のタイミングを決定し実行する。

【0146】

さらに、次のような利点がある。即ち、他の機器の動作、状態との整合性をもってプリンタ 9 を作動させることができる。画像蓄積装置 7 専用のリモコンを必要とせず、テレビリモコン 1 つで済み、且つテレビリモコンの通信先は制御対象

の機器が何であるかに係わらず常にテレビ受像機本体 1 であるので使い勝手が良い。テレビ受像機本体 1 以外の機器はリモコンからの信号を受けないので、従来のように各機器を信号受信部がリモコン操作位置から見通せることという設置上の制約がない。

(実施の形態 2)

次に本発明の他の実施の形態 2 について説明する。

【0 1 4 7】

図 29、図 30 は、本発明の実施の形態 2 のシステム外観斜視図及び構成ブロック図である。図 29 において、画像蓄積装置 7 とデジタルカメラ 8 以外の構成は図 1 に示した実施の形態と共通である。なお、実施の形態 2 では、さらに画像蓄積装置 7 に電話通信用モデム 10 および電話機 11 が接続されているが、これらの接続は実施の形態 1 でも可能である。

【0 1 4 8】

本発明の実施の形態 2 ではデジタルカメラ 8 に給電する AC アダプタが画像蓄積装置 7 自身に設けられており、ケーブル 8 a は AC アダプタからの給電路とデジタルカメラからの信号伝達路が一本にまとめられた専用規格のものになっている。この実施の形態でも、画像蓄積装置 7 は汎用であり、専用規格ケーブル 8 a のみがデジタルカメラ 8 用の専用品となる。また、この実施の形態においても、充電のためにデジタルカメラ 8 とケーブル 8 a を接続するだけで、データ転送及び充電が自動起動される。

【0 1 4 9】

実施の形態 2 のシステム構成ブロック図である図 30 において、デジタルカメラ 8 は、IEEE1394 に準拠した信号端子と充電端子が一つにまとめられた専用規格の接続ターミナル 8 c をもつ。接続ターミナル 8 c の信号端子はデジタルカメラの回路系に接続されていると共に、充電端子は充電池 6 b に接続されている。接続ターミナル 8 c にはケーブル 8 a が接続されるが、このケーブル 8 a は充電路 8 d と IEEE1394 に準拠した信号伝達路 8 e が一本のケーブルとしてまとめられた専用規格のものである。これと対応して画像蓄積装置 7 は、IEEE1394 に準拠した信号端子と充電端子が一つにまとめられた専用規格の接続ターミナル 7 i をもつ

。接続ターミナル 7 i の充電端子は A C アダプタ 7 j に接続されると共に、信号端子は IEEE1394 端子 7 k に接続されている。

【 0 1 5 0 】

上記のように、画像蓄積装置 7 は種々のデジタルカメラに使用可能な汎用品であるが、デジタルカメラによっては電源電圧が異なる。そこで、A C アダプタ 7 j は複数の電圧を選択して出力できるよう構成されており、画像蓄積装置 7 の C P U 7 e は、デジタルカメラ 8 の接続ターミナル 8 c、信号伝達路 8 e、接続ターミナル 7 i、IEEE1394 端子 7 k を介して、デジタルカメラ 8 の電源電圧の情報を検知し、検知結果に応じて A C アダプタ 7 j を制御してデジタルカメラ 8 に適した電圧を選択して出力させる。このようにして、デジタルカメラ 8 は、接続ターミナル 8 c さえ専用規格としておけば、異なった電源電圧を採用することが可能である。

【 0 1 5 1 】

図 3 0 において、IEEE1394 端子 7 m にはプリンタ 9 が接続されている。図 3 0 では図 2 9 のモデム 1 0 の接続の図示は省略しているが、その構成は同様である。図 3 0 のその他の構成は図 2 に準じて理解できるので説明を省略する。

本発明の他の実施の形態 2 のテレビリモコン操作による画像蓄積装置の動作について説明する。本発明の実施の形態 2 はすでに画像蓄積装置 7 内蔵の記憶部 7 f に記憶保存されている画像データをテレビ表示部 2 に画像表示する画像蓄積装置 7 の動作である。

【 0 1 5 2 】

なお、本実施の形態においては、デジタルカメラ 6 から画像蓄積装置 7 への画像データの転送・記憶が 1 フォルダ分完了したときに、該フォルダに含まれる全画像のサムネイルを表示し、その中の任意の 1 画像を該フォルダの代表画像として選択し該フォルダの名前と対応させて記憶しておく。特に選択をしなければ該フォルダ中の先頭画像が代表画像に選択される。サムネイルの表示・代表画像の選択はデジタルカメラ 6 から画像蓄積装置 7 への画像データ転送・記憶とは独立させて、前記転送・記憶完了後の任意の時に出来るようにしても良い。

【0153】

図29は本実施の形態2で用いるテレビリモコンであり、このテレビリモコンはメニューボタン45と画像蓄積装置7の大量の画像データの中から所望のフォルダや画像を検索／編集が選択できる選択ボタン46を有しており、実施の形態1とは異なる種類のリモコンである。前記テレビリモコンはテレビ表示部に表示されたメニューを選択、指令するためにも用いられ、そのための操作ボタンはテレビを視聴する機能を遠隔操作するためのボタンと兼用されている。

＜モード選択＞

本実施の形態例のテレビ受像機本体1は、メインスイッチONにより実施の形態1と同様テレビモードで立ち上がり、モード選択の割込を可能とした後、後述するテレビモード処理を実行しテレビ放送を聴視可能な状態とする。従って、テレビ受像機本体1は、テレビリモコン3のメニューボタン45（図31）が押されるとモード選択処理を割込処理する。

【0154】

モード選択処理の動作を図32のフローチャートで説明する。この処理はテレビ受像機本体1の制御部であるCPU1hが行う処理である。メニューボタン45が押されると、テレビ表示部2に表示されているテレビ放送受信画像に図33のメニュー50が重畳表示される（S301）。表示されたメニュー50には、通常のテレビ操作用メニュー51に加えてアルバムモードメニュー52も含まれている。テレビ操作用メニュー51は、通常のテレビ操作を行うためのメニューで、選択されたメニューに従ってテレビ受像機本体1内で処理される。なお画質調整など前記メニューの一部はアルバムモードでも有効である。

【0155】

アルバムモードメニュー52には2つのサブモードすなわち「アルバムモード」、「プリントモード」と「テレビモードに戻る」が含まれている。アルバムモードメニューの前記2つのサブメニューは、画像蓄積装置7に対するもので、これらが選択されると、テレビ受像機本体1はそのメニューに応じて画像蓄積装置7、或いは画像蓄積装置7を介してプリンタ9と信号を送受信して画像蓄積装置7にアルバムモード処理、プリントモード処理や電源のON/OFFを行わせる

【0156】

使用者によるモードの選択は、テレビリモコン 3 の選択ボタン 46 で所望のモードにカーソル 53 を合わせ、決定ボタン 47 を押下することにより行われる。

S302 では、選択されたモードがどのモードであるかを判別し、テレビモードであれば S303 のテレビモード処理に進む。アルバムモードまたはプリントモードであれば S304 に進み、画像蓄積装置 7 の電源を ON にして S305 に進む。S305 では選択されたモードがプリントモードかアルバムモードかを判断し、アルバムモードであれば S306 のアルバムモード処理に進む。プリントモードであれば、S307 に進んでプリンタ 9 の電源を ON とし、または画像蓄積装置 7 にプリンタ 9 の電源を ON とさせて S308 のプリントモード処理に進む。なお、S304、S307 で画像蓄積装置 7 及びプリンタ 9 の電源が既に ON になっているときは何もせず次のステップに進む。

【0157】

<アルバムモード>

次にアルバムモードすなわち画像蓄積装置 7 の動作説明をする。図 34 はアルバムモード動作のフローチャートを示す。

図 33 のように画面表示されたメニューの中からアルバムモードが選択されると、画像蓄積装置 7 の CPU 4e はテレビ受像機本体 1 の CPU 1h に信号を送り、AV 出力制御部 1e からテレビ表示部 2 に出力する画像をテレビ放送受信画像から画像蓄積装置の画像に切替え、画像蓄積装置 7 の記憶部 4f に保存されている全フォルダをフレームメモリ 106 に読み出し、テレビ表示部 2 に全フォルダ情報を一覧表で表示する。同時に画像検索モードメニューも表示する。その時のテレビ画面表示の一例を各フォルダの代表画像と共に図 35 に示す。なお、図 35 において前記フォルダ情報には各フォルダの代表画像も含まれ、前記テレビ表示画面の一部に代表画像 30 がフォルダ No. と共にフォルダ No. 順に表示される。表示された代表画像を見てフォルダの選択ができるので、的確に所望のフォルダを選択することができる。

【0158】

アルバムモード処理中のメニューには図35に示すように「テレビモードに戻る」を表示しておき、テレビ放送を鑑賞したくなったときいつでも「テレビに戻る」ボタンを押すことにより、直接テレビ放送受信画像に戻ることができるようにしてある。

テレビ表示部2に表示された全フォルダ情報は、撮影時に作成されたフォルダ、また記憶部4fに保存する際に作成されたフォルダの階層に関係なく撮影年月日の新しいフォルダ順に並べられている。所望のフォルダは、テレビリモコン3の選択ボタン46によりフォルダNo. 単位で選択することができ、決定ボタン47により所望フォルダが確定される(S205)。また、このテレビ表示部2に表示されたフォルダ一覧表にはソート条件も同時に表示されており、テレビリモコン3の選択ボタン46により該当するフォルダを選択し、決定ボタン47を押すことによりソート条件を選択することができる。

【0159】

前記選択操作により、選択された所望フォルダに対応する代表画像が縁取られる、或いはより明るいハイライト表示されるなどの方法によって他の画像と区別される。

また、画像蓄積装置7内に記憶された大量の画像の中から過去に作成したフォルダや画像を検索するために検索メニューが設けられており、必要に応じて検索を行うことができる。フォルダ／画像検索メニュー表示の画像検索を選択するときにはテレビリモコンのチャンネルボタンにより「0」を押すことにより行われる(S202)。

【0160】

ステップS205やS202にて所望フォルダが確定されると選択されたフォルダ内の画像データのヘッダ部に保存されている圧縮画像データ(サムネイル画像)がフレームメモリに読み出され、D/A変換され、9つの小画面としてテレビ表示部に表示される(S207)。図36はS207でのテレビ表示部に表示された例を示したものである。

【0161】

テレビリモコンによるサムネイル画像の表示、選択の一例として次のようにし

て行うこともよい。テレビリモコン 3 にはテレビのチャンネル選択を行う数字ボタンが設けられている。

現在一般に多く使用されているテレビリモコンの前記数字ボタンは 1 から 1 2 である。そこで本発明の画像蓄積装置 7 は、テレビリモコン 3 のチャンネル数字ボタンの数の情報を受け取り、サムネイル画像を表示する際、チャンネル数字ボタンの数と同じ数及び配列でサムネイル画像を表示する。すなわち、チャンネル数字ボタンが 1 2 であれば 1 2 個のサムネイル画像を表示し、チャンネル数字ボタンのテレビリモコン配列位置と同じ配列位置にサムネイル画像を表示する。そして、表示中のサムネイル画像中の選択は前記数字ボタンで選択するサムネイル画像の番号に一致する数字の数字ボタンを押下する。

【 0 1 6 2 】

ところで、画像蓄積装置 7 に記憶されたデータから対象画像として指定されたフォルダ中の各画像には一連の番号が付されており、サムネイル画像表示画面にその番号が付加表示されている。現在表示されていないサムネイル画像を前記番号をチャンネルボタンで指定することにより、その画像にジャンプして表示することができる。

【 0 1 6 3 】

本実施の形態では 1 から 1 2 チャンネルを有するリモコンで説明したが、チャンネル数にはとられない。むしろテレビの多チャンネル化に対応して前記数字ボタンの数が今後増えると予想され、テレビリモコンのチャンネルボタンとテレビ表示画像と対応づけて画像選択操作することはますます画像選択操作性の点で効果的となる。

【 0 1 6 4 】

ステップ S 2 0 2 にてフォルダ／画像検索が選択されると S 2 0 3 の検索条件設定処理が行われる。条件設定が終了すると S 2 0 4 の検索実行処理が行われ、ステップ S 2 0 7 に移る。ステップ S 2 0 3 の検索条件設定処理については後述する（図 3 7）。

次に図 3 6 の画面表示された画像を選択し、アルバム鑑賞する操作について説明する。

ステップ S 2 0 8 は S 2 0 7 で画面表示された画像の中から所望の画像を選択するステップである。画像の選択は、テレビリモコンの選択ボタン 4 6 により選択し、決定ボタン 4 7 により確定される。確定されるとステップ 2 0 9 に進み、選択されたサムネイル画像に対応する鑑賞画像をハードディスク 4 f からフレームメモリに読出し、ステップ S 2 1 0 で D / A 変換された後テレビ画面に表示する。テレビ表示部に表示された第 1 画面（9 小画像）で所望の画像が見つけれなければ、テレビリモコン音量ボタン 4 2 により次画面送り操作が行われる（S 2 1 1）。

【0 1 6 5】

以上の操作により、所望の画像をハードディスクから読出し、テレビ表示部 2 の画面上に表示され鑑賞することが可能となる。

ステップ S 2 1 1 では鑑賞した画像をプリントすると判断するときには画面メニュー表示されているプリントボタンをテレビリモコンの選択ボタンにて選択し、決定ボタンを押すことにより確定する。

【0 1 6 6】

なお、モード選択（図 3 2）の説明においてプリントモードが選択された場合にプリンタの電源を ON とすると説明したが、図 3 4 の S 2 1 1 ～ S 2 1 3 に示したように S 2 1 1 でプリントする画像が確定されプリンタにプリント実行が指示されるときにプリンタが OFF であればプリンタの電源が ON とされるようにしても良い。前記プリント実行指令が出力されたときプリンタの電源を ON とする信号が出力されても良いし、前記プリント実行指令がプリンタの電源を ON とする信号を兼ねても良い。

【0 1 6 7】

次にステップ S 2 0 3 検索条件設定処理について説明する。図 3 7 は検索条件設定処理の操作を示すフローチャートである。また図 3 8 はステップ S 2 2 0 でのテレビ表示部 2 に表示された検索条件設定メニューである。

検索条件項目としては、撮影時に撮影されると自動的に付与されるコマ番号、撮影年月日時刻など、撮影者自身が入力したタイトル名やメモなどのテキストデータ、さらに充電年月日などがハードディスクの各フォルダに格納されている。

実施の形態で示したタイトル名や撮影者名は撮影時にメディアに作成されるフォルダ名であり、ハードディスク上にそのままの名でフォルダ作成される。本実施の形態では検索条件項目としてハードディスクのフォルダ番号、充電年月日、撮影年月日、撮影者名、タイトル・メモが選択されている。

【0168】

ステップ221はハードディスクに格納されている過去に作成した検索条件をテレビ画面上に読み出すか否かを定めるための操作である。この操作は銀塩写真のアルバム整理で過去に作成したアルバムを取り出す操作に相当する。ステップS221の操作方法としては、2つの操作が選択できるようになっている。1つ目の操作は操作しなければ検索条件初期設定されている既定値に基づいて選択操作できるようになっており、テレビリモコン選択ボタンにより順次選択し、決定ボタンより確定していく操作である。2つ目の操作は、選択メニュー表示されている「アルバム名読出し」をテレビリモコンの選択ボタンにより選択し、決定ボタンにより確定することにより行われる操作である。

【0169】

まず第1の操作法は、ステップ223からS230まで各検索条件項目（フォルダ）について順次メニュー指示に従って入力、選択していく操作である。ステップS223の撮影者名フォルダの選択項目として予め登録されている選択項目を選択することになる。図38には検索条件設定メニュー表示画面を示す。図では、TARO、HANAKO、ICHIROと家族3名登録表示されており、HANAKOを選択した場合を示している。この選択項目についてはステップS232の条件保存登録処理（アルバム登録）で後述する。

【0170】

次のステップS224では検索しようとする撮影年月日範囲を入力する操作であり、S225で入力操作が行われる。この入力操作はテレビリモコンのチャンネルボタンにより数値選択し入力することにより行われる。ステップS226のタイトル名条件項目では先のステップS223と同様予め登録してある選択項目を選択する。ここでのタイトル名は撮影時にメディアに作成されるフォルダと対応させて登録するようにすることが可能である。ステップS227のメモ検索は

撮影時やアルバム編集時にテキストデータで作成されたメモを部分一致検索で全フォルダにわたって検索することが可能である。そのキーワード入力操作 S 2 2 8 は、テレビ表示部 2 の画面上にメニュー表示されている文字作成コード表を選択し表示して行われる。画面上の文字作成コード表上でテレビリモコンの選択ボタンと決定ボタンを押すことにより検索しようとする文字を作成する。なお、文字入力画像蓄積装置 7 の CPU に不図示のキーボード装置やペン入力装置などを接続して行ってもよい。

【0171】

第 2 の操作法は、ステップ S 2 2 2 の検索条件設定読出し処理（アルバム読出し）によりハードディスクに保存されている検索条件、すなわち過去に作成したアルバム名を読み出す作業である。図 3 9 はアルバム名検索処理のフローチャートを示す。

ステップ S 2 2 2 はテレビ画面上に表示されているアルバム名読出しモードをテレビリモコンの選択ボタンを押すことにより開始される。ステップ S 2 4 0 にてハードディスクのアルバム名フォルダに格納されている検索条件の全内容を読み出し、テレビ表示部の画面上に一覧表示させ、フォルダ選択可能モードとなる。図 4 0 はアルバム名一覧の一例を示す。このモードにおいても図 3 5 と同様メニュー表示されているアルバム名入力検索モードを選択することができる。ステップ S 2 4 2 以降はアルバム名を入力させるフローであり、S 2 4 6 以降は一覧表示されているアルバムファイルをテレビリモコンの選択ボタンにより選択し、決定ボタンとにより確定するフローである。

【0172】

以上の操作により、所望のアルバムを検索することが可能となり、これら一連の検索結果がステップ S 2 4 4 で表示される。

次に検索条件設定された結果をアルバム名やメモを付けて保存する処理動作である図 3 7 のステップ S 2 3 2 の処理について説明する。

図 4 1 は検索条件の保存（アルバム保存）及び条件選択の登録処理のフローチャートである。図 3 8 の表示された選択メニューのアルバム保存モードをテレビリモコンの選択ボタンにより選択し、決定ボタンにより確定することにより処理

が開始される。

【0173】

ステップS250ではアルバム名の撮影年月日や画像IDなどの検索条件項目や各項目における選択項目の追加や削除などがあるか否かあればステップ251に進み、なければアルバム保存のステップS257へと進む。S257はハードディスクにファイルとして格納するためのアルバム名を入力する操作である。アルバム名入力テレビ選択メニュー表示されている文字コード表モードをテレビリモコンのチャンネルボタンで選択し、決定ボタンにより確定することによって行われ、ハードディスクのアルバム名フォルダにファイルとして保存される。

【0174】

またステップS250において条件項目・選択項目の削除や追加登録があるときには、図38の選択メニュー表示されている条件項目・選択項目の削除追加をテレビリモコンの選択ボタンで選択し決定ボタンにより確定することにより行われる。ステップS251からS256までは検索条件項目及び選択項目の削除操作の処理である。削除項目がなければステップS257の検索条件の選択項目の設定登録処理モードに進む。図42は一連操作のフローチャートの一例を示す。

【0175】

この処理は図38で示されている検索条件設定画面の検索条件では撮影者名、撮影年月日、タイトル名、メモなどの項目が示されているが、これ以外に画像IDや撮影条件などについての項目を追加登録する場合に行われる操作である。

ステップS260では登録する検索条件項目の数を入力し、S263にて項目名「画像ID」を入力する。ステップS264では項目名「画像ID」の選択項目、例えば「99041501」、「99040403」「98040203」などを入力する。これら入力操作はまず画面選択メニュー表示されている文字コード表を選択する。「画像ID」、「99041501」、「99040403」「98040203」などの文字は画面表示されている文字コード表をテレビリモコンのチャンネルボタンにより作成され、決定ボタンで確定される。以下入力された検索条件項目数、選択項目数まで順次同様な操作を行うことにより検索条件項目の設定登録処理が行われる。

【0176】

このように本発明では一般家庭で普及しているテレビリモコン操作により画像蓄積装置 7 を起動できるため、画像蓄積装置 7 専用テレビリモコンは不要となる。また一連の操作がテレビ表示部の画面上に表示選択メニューとして表示されている

ため、機械操作が不慣れな人にも簡単に操作できるように配慮されている。

【0177】

なお、図 36 の S250 と S257 との間に、前記操作で設定した検索条件によって検索された画像、即ち作成したアルバムに含まれる画像のサムネイルを表示させ、その中の任意の 1 画像を該アルバムの代表画像として選定・記憶するステップを追加し、図 34 の S240 で表示させた図 35 のアルバム名一覧に、表示されたアルバム名に対応する代表画像を表示するようにすると、鑑賞したいアルバムをよりの確に選択することができ好ましい。

(2) プリントモード処理

図 33 のテレビ表示部 2 の画面に表示されたメニューでプリントモードを選択したときの動作について説明する。

【0178】

プリントモード処理は、画像蓄積装置 7 に記憶された画像のうち所望の画像のプリントを出力するための処理である。図 34 の説明中の S207～S212 にプリント出力手順の一例を示したが、ここでは、より機能を高めた実施の形態例を示す。システムの構成は、前述実施の形態例と同じであるので同一符号を引用することで説明を省略する。

【0179】

なお、本実施の形態 2 によるプリントモード処理を行う場合には、S301 でモード選択メニューを表示させると同時に、メニューボタン 45 が押された時のモードを前モードとして記憶しておく。S301 で表示された図 33 のメニューのプリントモードを選択する。すると図 32 のフローにおいて S305 でプリントモードであるか否かが判断される。ここではプリントモードが選択されているので S307 へ進みプリンタの電源を ON として S308 のプリントモード処理

へ進む。

【0180】

(a) 画像蓄積装置の記憶内容

デジタルカメラで撮影した画像データは全て画像蓄積装置 7 の記憶部 7 f に転送・記憶されている。前記記憶部 7 f に記憶されている画像データには、撮影時のデータを引き継いだ、若しくは前記記憶部 7 f に転送・記憶時に指定したフォルダ名又はフォルダ番号、ファイル名又はファイル番号が付されている。画像蓄積装置 7 に転送・記憶される各画像データには撮影時に付加されたコメント、例えば撮影日時、撮影時に入力した各種メモも含まれる。

【0181】

デジタルカメラによる撮影時、全画像にプリント出力する画像であることを示すプリント出力指示信号が付加される。前記プリント出力指示信号はデジタルカメラの操作により消去することができる。従って、前記画像記憶部 7 f に記憶されている画像データは、前記プリント出力指示信号付きの画像データと、プリント出力指示信号なしの画像データとが混在している。

【0182】

(b) プリント出力画面の選択

前記所望の画像は、デジタルカメラによる撮影時にプリント出力指示信号が付加されることによる他、本プリントモード処理の中でアルバムモード処理の機能を用いて前述した検索操作を行って選択・表示した画像に対してプリント出力指示信号を追記、削除、変更することによって選択する。さらに、本プリントモード処理では、必要に応じて、プリントに付すコメントの設定やトリミング指定などのプリント条件の設定も行われる。コメントの設定、トリミング指定、プリント出力指示信号の追記、削除、変更の詳細については後述する。

【0183】

前記コメントの設定、トリミング指定、プリント出力指示信号に関する処理やプリント条件の設定は、前述したアルバムモード処理でも行えるようにしても良い。

(c) プリント出力

プリントモード処理の詳細を図43のフローで説明する。このフローの処理は画像蓄積装置7の制御部であるCPU7eが行う処理である。

【0184】

プリントモード処理が開始されると、画像蓄積装置7は、図44のプリントメニュー54をテレビ表示部2に表示中の画像に重畳して表示させる(S311)。図44では前モードがアルバムモードでサムネイル表示画面に重畳表示された例を示したが、前モードがテレビモードの場合はテレビ放送画面に重畳表示される。

【0185】

プリントメニュー54には、「逐次プリント」、「一括プリント」、「プリント条件設定」が含まれる。S312では選択されたメニューに応じて処理の流れを分岐制御する。

逐次プリントが選択された場合はS313に進み、前述のアルバムモードの機能によって、プリント出力する画像が選択され、その鑑賞画像がテレビ表示部2に表示されると共に、プリント開始を指示するメニューが重畳表示される(S314)。ここで、必要に応じて表示された画像に対してトリミング指定(S315)、コメント入力(S316)、プリント条件設定(S317)が割込処理可能である。各割込処理については後述する。なお、点線枠内の上記S313～S314は前述したアルバムモード処理の機能である。

【0186】

決定ボタン47の押下によってプリント出力が開始され(S318)、表示中の画像がプリント出力されて(S319)、次の画像が選択されて(S320)、S313に戻る。以下、S313からS320のステップを繰り返すことによりプリントする画像を逐次表示させながらプリント出力が行われる。

S312で一括プリントが選択された場合は、S321に進み、アルバムモードの機能によってプリント出力したい画像が含まれるフォルダが選択される。前記フォルダの選択は、フォルダ名で検索/指定されたフォルダ、又は検索された画像を含むフォルダとして選択される。検索された画像が複数のフォルダにある場合は一時的に自動生成されたプリント出力用フォルダに検索された画像の管理

情報が書き込まれる。前記フォルダが生成されたときは、該フォルダがプリント出力対象フォルダとして選択される。この間、サムネイルの表示、鑑賞画像の表示がアルバムモードの機能によって適宜行われる。また、一括プリント開始のメニューが重畳表示され、決定ボタン47の押下によってS322に進み一括プリント出力が開始される。

【0187】

一括プリントでは、選択されたフォルダ中の画像で、プリント出力指示信号が付された全画像が、指定された枚数、順次プリント出力される。

S323では、モード選択のためにテレビリモコン3のメニューボタン45が押された時のモード（前モード）に応じて、以降の処理の流れを分岐制御する。前記前モードがテレビモードであった場合はS331に進み、テレビモード処理を実行する。つまり、通常のテレビとしての動作を行うと同時に、裏モードでプリント出力を続行する（S332）。そして、プリント出力の進捗状況（残り出力枚数など）やプリント終了を示す信号をテレビモード処理に割り込み出力する（S333）。そして、S311に戻りテレビモード処理を継続する。

【0188】

前記前モードがアルバムモードであった場合は、S324に進み、現在プリント出力中の画像を表示する。同時に、プリント出力の進捗状況を重畳表示する（S325）。そして、全対象画像のプリント出力が完了したら（S326）、一括プリント完了を表示して（S327）、処理を終了する。

あるいは、S324でプリント出力対象フォルダに含まれるプリント出力指示信号の付された画像のみをサムネイル表示して、プリント出力が終了した画像のサムネイル表示を終了することによってS325の進捗状況表示としても良い。

【0189】

S312でプリント条件設定が選択された場合はS341に進み、図45のプリント条件設定メニューが表示中の画像に重畳表示される。適宜のメニューを選択することによって、プリント画質、用紙の種類、プリント枚数、コメント出力要否、コメント設定などのプリント条件を入力・設定してS311に戻り、再びプリントメニューを表示して他のメニューが選択されるのを待つ。以降の一括プ

リントは前記設定された条件に従って行う。逐次プリントの場合も S 3 1 7 で異なる条件が指定されなければこの条件で行う。S 3 1 7 のプリント条件設定の割込処理は S 3 4 1 の処理と同じであるが、ここで設定された各種条件は次のプリント出力にのみ有効であり、プリント出力完了後に元の設定に戻される。なお、各項目には最も一般的と思われる条件がデフォルトで設定されている。

【0190】

(d) テレビモード処理

S 3 3 1 のテレビモード処理と S 3 0 3 のテレビモード処理とは同様の処理であり、一括プリント中にテレビ放送の視聴を可能とするためのものである。この処理はテレビ本体 1 の CPU 1 h が行う。以下、テレビモード処理を図 4 6 のフローにより説明する。

【0191】

テレビモード処理が開始されると、テレビ受像機本体 1 は S 3 5 1 で通常のテレビ放送受信動作を行い、S 3 5 3 で図 4 3 の S 3 3 3 の、画像蓄積装置 7 の CPU 7 e からのプリント進捗状況、プリント終了の割込信号 S 3 5 2 があったかどうかを判断する。そして、前記割込信号 S 3 5 2 が無ければ S 3 5 5 に進む。前記割込信号 S 3 5 2 があった場合は S 3 5 4 で、前記画像蓄積装置 7 の CPU 7 e から受けたプリント進捗状況やプリント終了の表示をテレビ表示部 2 に所定時間だけ重畳表示させて S 3 5 5 に進む。そして、S 3 5 5 ではテレビ受像機本体 1 の電源 OFF を検出する処理を行い、電源 OFF が検出されなければ S 3 5 1 に戻りテレビ放送受信動作を継続する。

【0192】

S 3 5 5 でテレビ本体の電源 OFF が検出された場合は、S 3 5 6 に進み裏モードで一括プリント処理中であるか否かを判断する。前記処理中でなければ S 3 6 0 に進み、テレビ受像機本体 1、画像蓄積装置 7、プリンタ 9 の電源を OFF して処理を終了する。前記処理中である場合は S 3 5 7 に進み、テレビ受像機本体 1 のテレビ受像回路への給電とテレビ表示部 2 の電源を OFF とする。画像蓄積装置 7、プリンタ 9 の電源はそのままなので、S 3 5 8 でプリント出力の終了を検出するまで一括プリント出力が継続され、プリント出力の進捗状況や終了の

信号がテレビ受像機本体 1 に割込出力される。そして、S 3 5 8 でプリント出力の終了を検出したら S 3 5 9 で画像蓄積装置 7、プリンタ 9 の電源を OFF し、テレビ受像機本体 1 の残り部分の電源を OFF して処理を終了する。

【0193】

なお、S 3 5 6 以降の処理は主に画像蓄積装置の CPU で処理し、必要な信号を必要に応じてテレビ受像機本体、プリンタに出力して上記と同じ動作を果たすようにしても良い。

S 3 5 7 のテレビ受像機本体 1 のテレビ受像回路の電源 OFF に際し、テレビ本体 1 は S 3 5 8 以下の処理が続行されたことを記録する。そして、次回テレビ受像機本体 1 の電源が ON された時に、プリンタにプリントがある旨の表示を行う。その際、プリンタ 9 が作動中か、停止しているか（電源 OFF を含む）を確認し、作動中であればプリントの進捗状況を表示し、停止中であればプリント完了を表示することが好ましい。

【0194】

なお、プリンタは作動中、テレビ放送の視聴に支障をきたす電気ノイズや騒音を発生することがある。そこで、テレビモード処理を該モードに入った時点で未プリント出力分のプリント出力を中断しテレビ放送受信動作のみを行うようにして、支障無くテレビ放送を視聴できるようにし、テレビ受像機本体 1 の電源が OFF されたら又はテレビモード以外のモードとされたら前記テレビモード処理を再開するようにすることができる。

【0195】

(e) プリント出力指示信号に関する処理

プリント出力する画像の選択・指定はデジタルカメラ側で行うほか、アルバムモードでも行うことができる。即ち、図 3 2 のアルバムモードでの画像選択 (S 3 1 3)、アルバムモードでのフォルダの選択 (S 3 2 1) にプリント出力画像の選択機能が含まれている。

【0196】

例えば、画像鑑賞のために画像選択機能で指定した、目的とする画像データ範囲、例えば特定のフォルダ中の画像や撮影日時が指定した日時範囲の画像のサム

ネイルを表示する（図 3 6）と、既にデジタルカメラでプリント出力指示信号を付された画像 3 1 にはプリント選択マーク P 1（3 2）が画像の右側方に同時に表示される。プリント出力指示信号が付されていない画像 3 3 にはプリント選択マークの表示がない。

【0197】

既に述べた如く、撮影時に自動的にプリント出力指示信号が付されるので、デジタルカメラを操作してプリント出力指示信号を削除しない限りデジタルカメラから読み込まれた画像にはプリント出力指示信号が付されている。これにより、プリントモードでプリント出力するときの操作手順が減り、簡素化される。

サムネイル表示中の任意の 1 画像を前記画像選択機能で選択して表示させた鑑賞画像にも前記プリント選択マーク P 1 が同時に表示される。前記プリント選択マークの P に続く数字はプリント出力する枚数を示す数字であり、デジタルカメラで付加されるプリント出力指示信号 P 1 はプリント出力 1 枚を意味する。

【0198】

そして、画像蓄積装置 7 は、サムネイル表示で選択した画像及び鑑賞画像に対してテレビリモコン 3（図 3 1）の操作によって前記プリント出力指示信号を付加、変更、消去することができる。具体的操作方法是、対象とする画像を選択／表示して、テレビリモコン 3 の音量ボタン 4 2 の＋ボタン 4 2 A、－ボタン 4 2 B で P に続く数字を増減させる。図 3 1 の画像 3 4 には前記の操作により変更したプリント出力 2 枚を意味するプリント選択マーク P 2（3 5）が表示されている。P 0 でプリント出力信号が消去されプリント選択マークの表示が消える。プリント選択マーク無表示（即ち P 0）の時、＋ボタン 4 2 A を押下すると P 1 が表示される。

（f）トリミング

アルバムモードで表示中の鑑賞画像に対して、ズーミング機能を利用してトリミング指定をすることができる。ズーミング機能は鑑賞画像表示中にチャンネルボタン 4 3 が押下されることで起動され、＋のチャンネルボタン 4 3 A の押下によってズームアップされ、－のチャンネルボタン 4 3 B の押下によってズームダウンされる。そして、ズーミングして表示中の画像範囲がプリント出力範囲とな

る。ズーミング画像を表示して決定ボタン47を押下するとトリミング範囲及び倍率はその画像の画像データに追加記録される。

【0199】

この情報が付された画像を表示すると画像の右側にトリミング条件が記憶されていることを示すマークT(36)が表示される。そして、選択ボタン46で表示画像を順次表示させる際、元の画像に対して、その画像データに追加記録された前記トリミング条件によってトリミング処理を行って作成したトリミング画像を元の画像の後に表示する。従って、後日でも同一のトリミング画像のプリントを作成することができる。なお、前記トリミング画像の作成処理は元の画像を表示すると同時に開始し、トリミング画像の表示に要する見かけ時間を短縮する。

【0200】

画像蓄積装置7の記憶部7fに追加記憶するデータはトリミング条件のみなので、トリミングされた画像を記憶する場合に比べ、追加記憶するデータ容量が小さくて済む。

(g) コメント出力

S341のプリント条件設定でのコメントA、Bを設定しコメント出力要を選択すると、その画像データに付加されたコメントが図47に示すように画像の範囲外にプリントされる。この場合、アルバムモードで表示した鑑賞画像60の画像表示領域61の下方に設けられたコメント表示部62に鑑賞画像に付されたコメントが表示される。前記コメントとしては、撮影日時など撮影時に付加されたコメントA(63)の他、アルバムモードにおいてテレビリモコン3を用いて追加したコメントB(64)がある。前記コメントA、Bは修正することができる。

【0201】

即ち、撮影時に付されたコメントAがあれば鑑賞画像の前記コメント表示部62に表示される。そして、コメントBの表示位置にカーソルが表示され、この位置にテレビリモコン3で追加コメントBを入力することができる。表示中のコメントの任意の位置にカーソルを移動して入力すれば表示中のコメントは上書き修正される。

【0202】

テレビリモコン3によるコメントの入力は、携帯電話、PHSによる文字入力と同様の方法とすることができ、例えば、あ、か、さ、た、な、…わの各行にチャンネルボタンの数字1、2、3、4、5…0を対応させ、これらの数字を押す回数をあ、い、う、え、おの各段に対応させる。そして各文字毎に決定ボタンで確定し、決定ボタン47を2回連続して押すことでコメント入力を終了する。例えば、カメラは、2、決定、7777、決定、9、決定、決定とテレビリモコン3のチャンネルボタン48、決定ボタン47を操作することで入力される。更に、適宜仮名-漢字変換機能を持たせても良い。

【0203】

なお、S341のプリント条件設定で設定したコメントBは、設定後にプリント出力する全てのプリントに付されるので、同一のコメント付す場合に便利である。一方、逐次プリントのプリント条件入力(S317)で設定したコメントBはその画像に対してのみ有効であるので、各画像に異なるコメントを付す場合に用いると良い。

【0204】

なお、鑑賞画像表示中にテレビリモコン3の数字ボタン48による上記コメント入力操作をすることによって、プリント条件設定処理(S317)中のコメント入力機能(S316)を起動させることができる。

(実施の形態3)

図48は実施の形態3の外観斜視図であり、画像蓄積装置4の構成は図1の実施の形態1と同じである。一方、デジタルカメラ8は図29の実施の形態2と同じになっている。

【0205】

図48の実施の形態3の特徴は複合充電器12にある。複合充電器12と画像蓄積装置4を接続するケーブル12bは、IEEE1394規格によるもので、図1のケーブル5bと同じものである。一方、複合充電器12とデジタルカメラ8を接続するケーブル12cは図29のケーブル8aと同様、給電路と信号伝達路が一本にまとめられた専用ケーブルになっている。また、商用電源が供給されるケーブ

ル 1 2 a は図 1 のケーブル 5 a と同じものである。その他の構成は、図 1 の実施の形態 1 と同様なので説明を省略する。

【 0 2 0 6 】

図 4 9 は、実施の形態 3 のシステム構成図であり、複合充電器 1 2 において、接続ターミナル 8 c にはケーブル 1 2 c が接続されるが、このケーブル 1 2 c は充電路 1 2 d と IEEE1394 に準拠した信号伝達路 1 2 e が一本のケーブルとしてまとめられた専用規格のものである。これと対応して複合充電器 1 2 は、IEEE1394 に準拠した信号端子と充電端子が一つにまとめられた専用規格の接続ターミナル 1 2 f をもつ。接続ターミナル 1 2 f の充電端子は A C アダプタ 1 2 g に接続されると共に、信号端子は IEEE1394 端子 1 2 h に接続されている。IEEE1394 端子 1 2 h には、IEEE1394 規格によるケーブル 1 2 b が接続される。また、A C アダプタ 1 2 g にはケーブル 1 2 a を介して商用電源が供給される。

【 0 2 0 7 】

実施の形態 3 においては、複合充電器 1 2 がデジタルカメラ 8 専用の付属品となり、A C アダプタ 1 2 g はデジタルカメラ 8 に合った専用の出力電圧を供給する。デジタルカメラ 8 が異なれば、これに対応する異なった電圧の複合充電器 1 2 を供給することによって、画像蓄積装置 4 は汎用品となる。また、複合充電器 1 2 は、通常の充電器に対し、画像蓄積装置 4 に接続するための IEEE1394 端子を付加すると共に、デジタルカメラ 8 との接続端子として充電端子と信号端子を複合した接続ターミナルを設け、これらの間の配線するだけで構成できるので、格別のコストアップを要しない。

(実施の形態 4)

図 5 0 は実施の形態 4 の外観斜視図である。この実施の形態では、図 1 の実施の形態 1 における各機能がひとつのテレビ受像機としてまとめられている。図 1 との関係で詳細に説明すると、まず実施の形態 1 ではテレビ受像機本体 1 とテレビ表示部 2 が別体であったが、図 5 0 の実施の形態 4 は通常のテレビ受像機として構成されている。すなわち、箱体 1 3 には、テレビ表示部 1 4 とともにチューナーなどからなるテレビ受像機本体が収められている。箱体 1 3 にはさらに図 1 の実施の形態 1 における画像蓄積装置 4 に対応する機能も組み込まれている。

【0208】

実施の形態4では、実施の形態1におけるテレビ受像機本体1と画像蓄積装置4に対応する機能が一つのテレビ受像機としてまとめられているので、画像蓄積装置4のためのハードディスクなどからなる大容量の記憶部4fには、画像データの記憶だけでなく、テレビ受像機本体1の制御のためのプログラムを記憶させることも可能である。

【0209】

15はデジタルカメラ収納スペースであり、扉16を閉じることで、収納されたデジタルカメラを密閉し、防塵を図る。収納スペース15は、テレビ受像機の熱や電磁波からの影響が少ない位置に配されると共に、収納スペース壁も必要に応じ耐熱および耐電磁波構造とされる。

図50におけるステーション17は、図1のステーション5に対応するもので、デジタルカメラ18専用のものであり、デジタルカメラに合わせて交換できる。ステーション17は規格化された給電コネクタおよび信号コネクタを持ち、収納スペース15の底部に装着することでこれらのコネクタがテレビ受像機本体の対応するコネクタと接続される。収納スペース15は各種のカメラおよびステーションに対応するため充分の広さを持っており、ステーションとの間のコネクタとその配置だけが規格化されている。

【0210】

実施の形態4における使用状況を説明すると、所望のステーション17が収納スペース15に装着されている状態が待機状態であり、デジタルカメラ18は例えば戸外などにおいて使用される。帰宅後、扉16を空けて常の収納場所である収納スペース15のステーション17の上にデジタルカメラ18を載せて収納し、扉16を閉じれば基本操作は終了である。このような使用環境では、まず、デジタルカメラの収納場所が一定のところに定まるので、紛失のおそれがない。また、収納中において、自動的に充電および画像データの吸い上げが行われ、メモリが空になる。したがって、次の使用時には、デジタルカメラを探し回ることもなく、また、電源および撮影可能メモリ容量の心配をする必要もない。さらに、過去に撮影した画像は全て間違いなくテレビ受像機中の画像蓄積装置に蓄積さ

れているので、フィルムカメラの場合におけるネガやプリントの散逸といった事態も生じない。テレビ表示部 1 4 で確認しながら画像蓄積装置の中をサーチすることによって、所望の画像は必ず発見できる。なお、画像蓄積装置は電子ファイルであるから、適宜の効率良いサーチ手法の実施が可能である。

【0 2 1 1】

図 5 0 の実施の形態 4 では、さらにプリンタ機能と通信機能がテレビ受像機の箱体 1 3 内に組み込まれている。1 9 は通信機能のための商用電話線へのモジュラージャックであり、テレビ受像機内の通信機能に対応していると共に電話機 1 1 にも通じている。2 0 はプリンタのプリント排紙口であり、2 1 はプリント用紙供給部の蓋である。以上のようなテレビ受像機的全機能に対して、ケーブル 2 2 から商用電源が供給される。

【0 2 1 2】

図 5 0 の実施の形態 4 の機能の詳細や使用操作の詳細は、これまで説明した各実施の形態と基本的に同じであり、テレビリモコンにより操作可能である。

なお、実施の形態 4 では、図 5 0 からは見えない位置に、実施の形態 1 におけるカードスロット 4 s に対応するカードスロットが設けられており、デジタルカメラ 1 8 の収納によるほか、このカードスロットに挿入されたカードメモリからデジタル静止画像データを入力することも可能である。

(実施の形態 5)

本発明の他の実施の形態 5 について説明する。

【0 2 1 3】

これまでのいずれの実施の形態も画像蓄積装置とプリンタとは別体となった構成であるが、本実施の形態 5 では画像蓄積装置とプリンタと一体的に構成した例である。他の構成についてはこれまでの実施の形態のいずれかと同じである。

図 5 1 (a) に示したように、プリンタ 9 は画像蓄積装置 7 から独立したユニットで構成されており、画像蓄積装置 7 の上面に載置される。画像蓄積装置 7 の上面にはプリンタ 9 を所定の位置に安定して載置するためにプリンタ 9 の下面の突起部 9 A を収納する窪み 7 A などの位置決め手段が設けられている。さらに画像蓄積装置 7 の上面とプリンタ 9 の下面には、画像蓄積装置 7 とプリンタ 9 との

間で画像データや制御信号を授受するコネクタ接点やフォトカップラなどの信号伝達手段 7 B、9 B が設けられている。従って図 5.1 (b) に示したように、プリンタ 9 を画像蓄積装置 7 の所定の位置に載置するだけでプリント出力可能な状態になる。

【0 2 1 4】

プリンタ 9 と画像蓄積装置 7 とが一体的に設置されるので設置スペースが小さくて済む。また、分離することもできるので、一方が故障した場合にはそちらだけを修理・交換可能であるというメリットがある。

【図面の簡単な説明】

【図 1】実施の形態 1 のシステム外観斜視図。

【図 2】実施の形態 1 のシステム構成図。

【図 3】画像蓄積装置の構成ブロック図。

【図 4】ステーションの構成ブロック図。

【図 5】デジタルカメラの構成ブロック図。

【図 6】画像蓄積装置の動作を説明する第 1 のフローチャート。

【図 7】画像蓄積装置の動作を説明する第 2 のフローチャート。

【図 8】信号受信制御動作を説明する第 1 のフローチャート。

【図 9】信号受信制御動作を説明する第 2 のフローチャート。

【図 10】信号受信制御動作を説明する第 3 のフローチャート。

【図 11】画像蓄積装置内の記憶部に作成されたフォルダの一例。

【図 12】接続解除割り込み処理動作を説明するフローチャート。

【図 13】図 7 とは別の信号受信制御動作を説明する第 1 のフローチャート。

【図 14】図 7 とは別の信号受信制御動作を説明する第 2 のフローチャート。

【図 15】図 7 とは別の信号受信制御動作を説明する第 3 のフローチャート。

【図 16】実施の形態 1 で用いたテレビリモコン。

【図 17】テレビ受像機本体の基本動作フローチャート。

【図 18】実施の形態 1 のアルバムモードの基本フローチャート。

【図 19】実施の形態 1 のデータ取り込み割り込みフローチャート。

【図 20】実施の形態 1 のアルバムモード動作フローチャート。

【図 2 1】実施の形態 1 の画面送り動作フローチャート。

【図 2 2】実施の形態 1 の階層変更操作を説明するテレビ表示部の画面表示例。

【図 2 3】実施の形態 1 の階層変更フローチャート。

【図 2 4】実施の形態 1 の階層変更操作における選択フローチャート。

【図 2 5】実施の形態 1 のマイ・アルバムモード動作を説明するフローチャート

【図 2 6】実施の形態 1 の検索動作を説明するフローチャート。

【図 2 7】実施の形態 1 のプリント処理動作を説明するフローチャート。

【図 2 8】実施の形態 1 のアルバムモード終了フローチャート。

【図 2 9】実施の形態 2 のシステム外観斜視図。

【図 3 0】実施の形態 2 のシステム構成図。

【図 3 1】実施の形態 2 で用いたテレビリモコン。

【図 3 2】実施の形態 2 のモード選択割り込み動作を説明するフローチャート。

【図 3 3】実

施の形態 2 のテレビ表示部の画面表示メニュー例。

【図 3 4】実施の形態 2 のアルバムモード処理動作を説明するフローチャート。

【図 3 5】実施の形態 2 のテレビ表示部に表示された全フォルダ情報一覧表の一例。

【図 3 6】実施の形態 2 のテレビ表示部に表示されたサムネイル画像の一例。

【図 3 7】実施の形態 2 のアルバムモード処理時における検索条件設定処理動作を説明するフローチャート。

【図 3 8】実施の形態 2 のテレビ表示部に表示された検索条件設定メニューの一例。

【図 3 9】実施の形態 2 のアルバム名検索処理作を説明するフローチャート。

【図 4 0】実施の形態 2 のテレビ表示部に表示されたアルバム名リストの一例。

【図 4 1】実施の形態 2 の検索条件保存・登録処理の動作フローチャート。

【図 4 2】実施の形態 2 の検索条件選択項目の登録処理の動作フローチャート。

【図 4 3】実施の形態 2 のプリントモード処理の動作フローチャート。

【図 4 4】実施の形態 2 のテレビ表示部に表示されたプリントモード処理メニュ

一。

【図 4 5】 実施の形態 2 のテレビ表示部に表示されたプリント条件メニュー。

【図 4 6】 実施の形態 2 のテレビモード処理の動作フローチャート。

【図 4 7】 実施の形態 2 のプリント出力された表示例。

【図 4 8】 実施の形態 3 のシステム外観斜視図。

【図 4 9】 実施の形態 3 のシステム構成図。

【図 5 0】 実施の形態 4 のシステム外観斜視図。

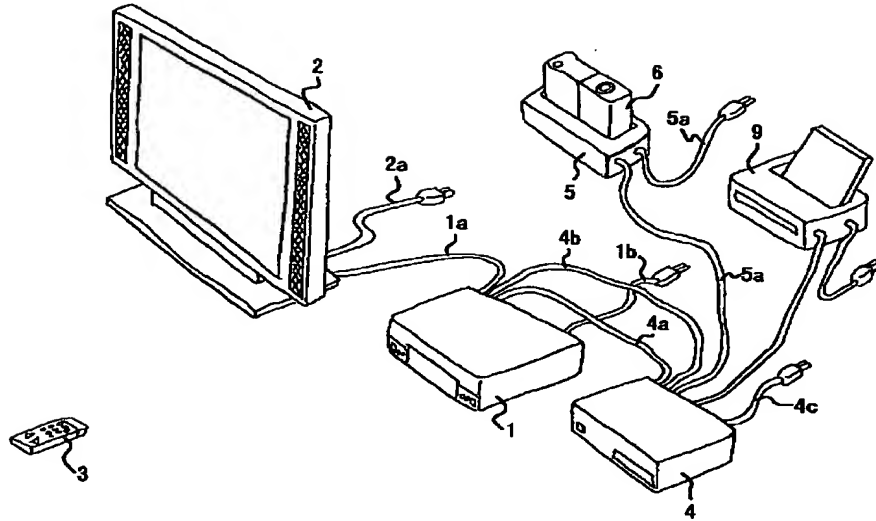
【図 5 1】 実施の形態 5 のプリンタ構成図。

【符号の説明】

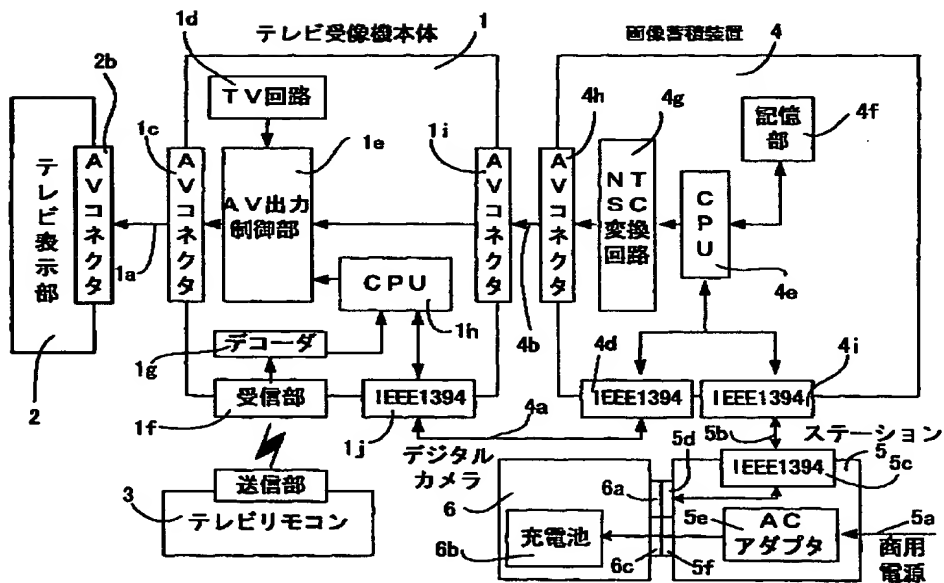
- 1 テレビ受像機本体
- 2 テレビ表示部
- 3 テレビリモコン
- 4、7 画像蓄積装置
- 4 a、7 a テレビ受像機と画像蓄積装置とを接続する信号ケーブル
- 4 b、7 b テレビ受像機と画像蓄積装置とを接続する信号ケーブル
- 4 e、7 e 制御部
- 4 f、7 f 記憶部
- 4 g、7 g NTSC変換回路
- 5、12 ステーション
- 6、8 デジタルカメラ
- 9 プリンタ
- 10 電話通信用モデム
- 11 電話機

【書類名】 図面

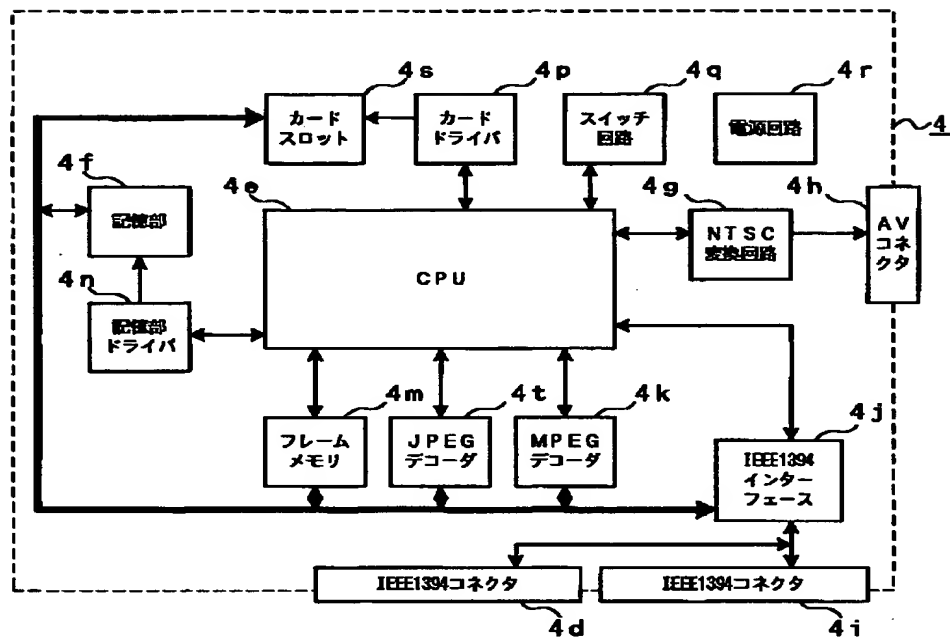
【図 1】



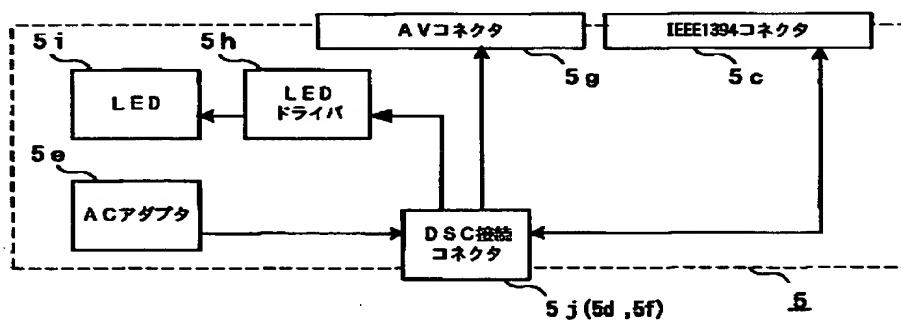
【図 2】



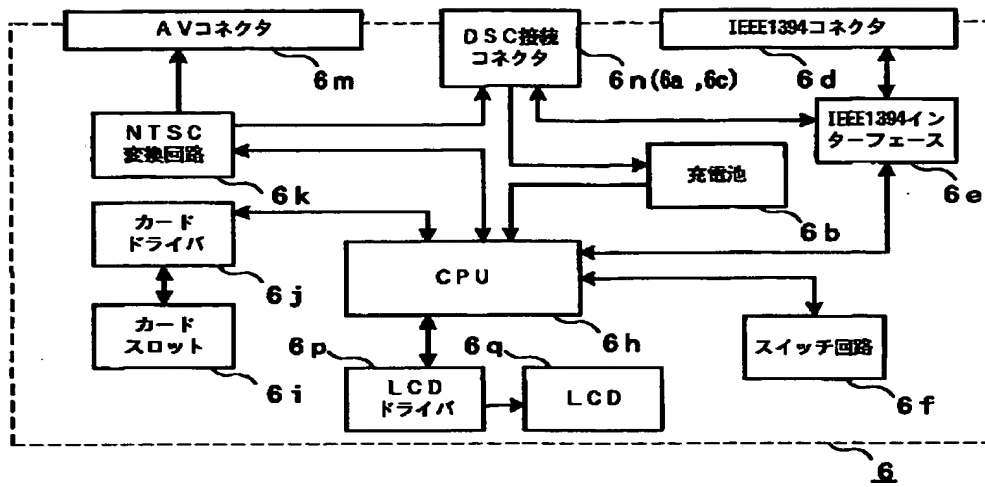
【図 3】



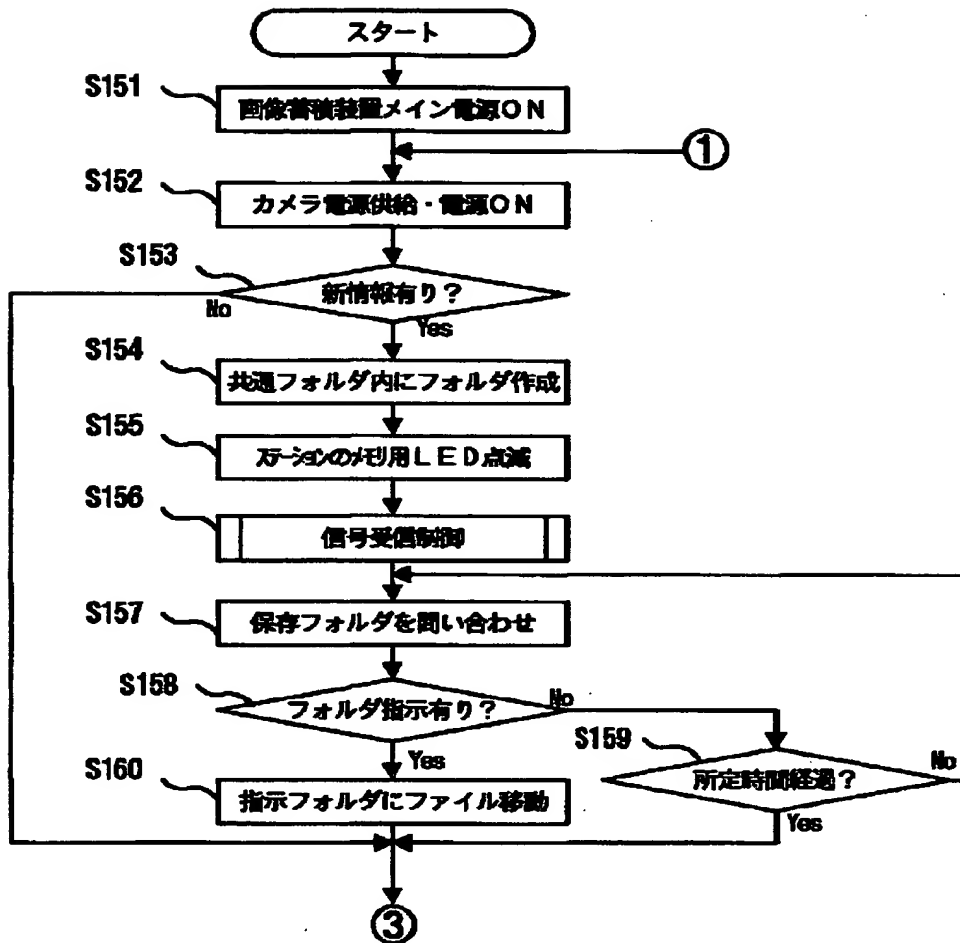
【図 4】



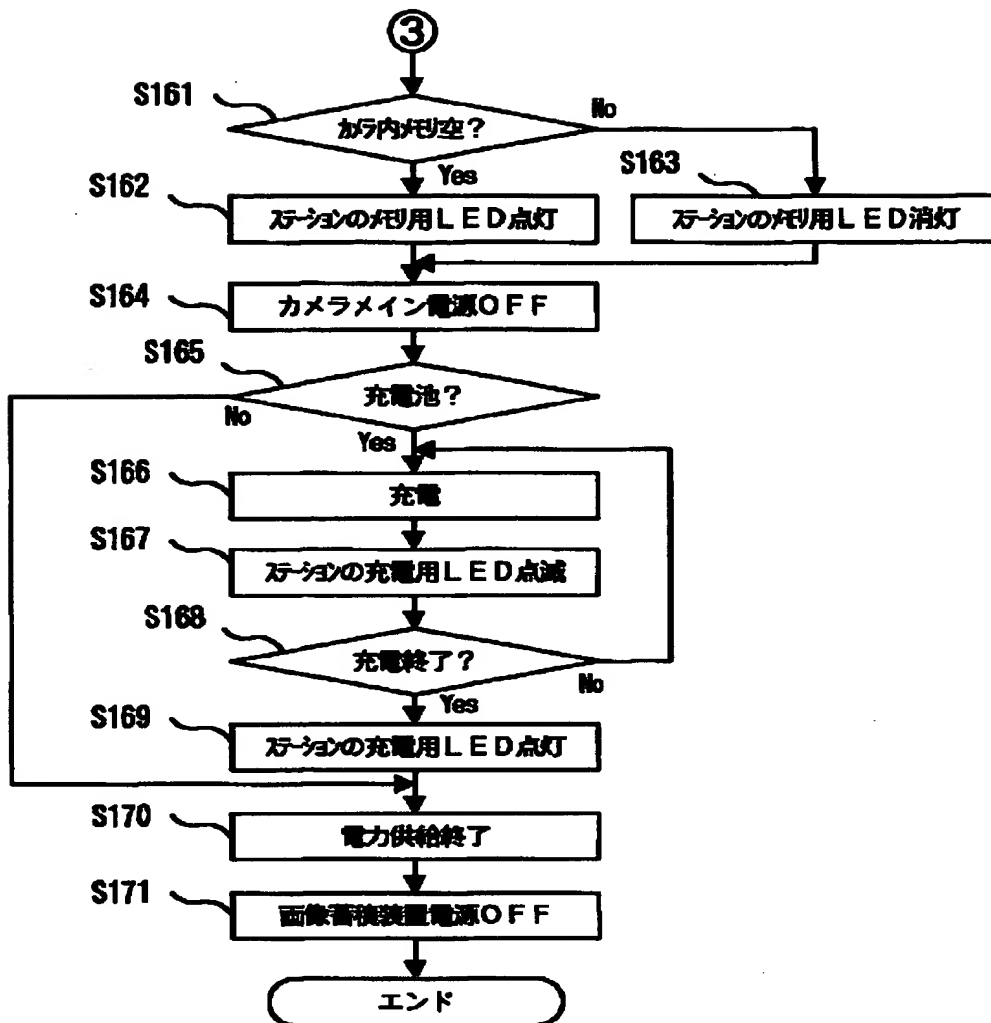
【図 5】



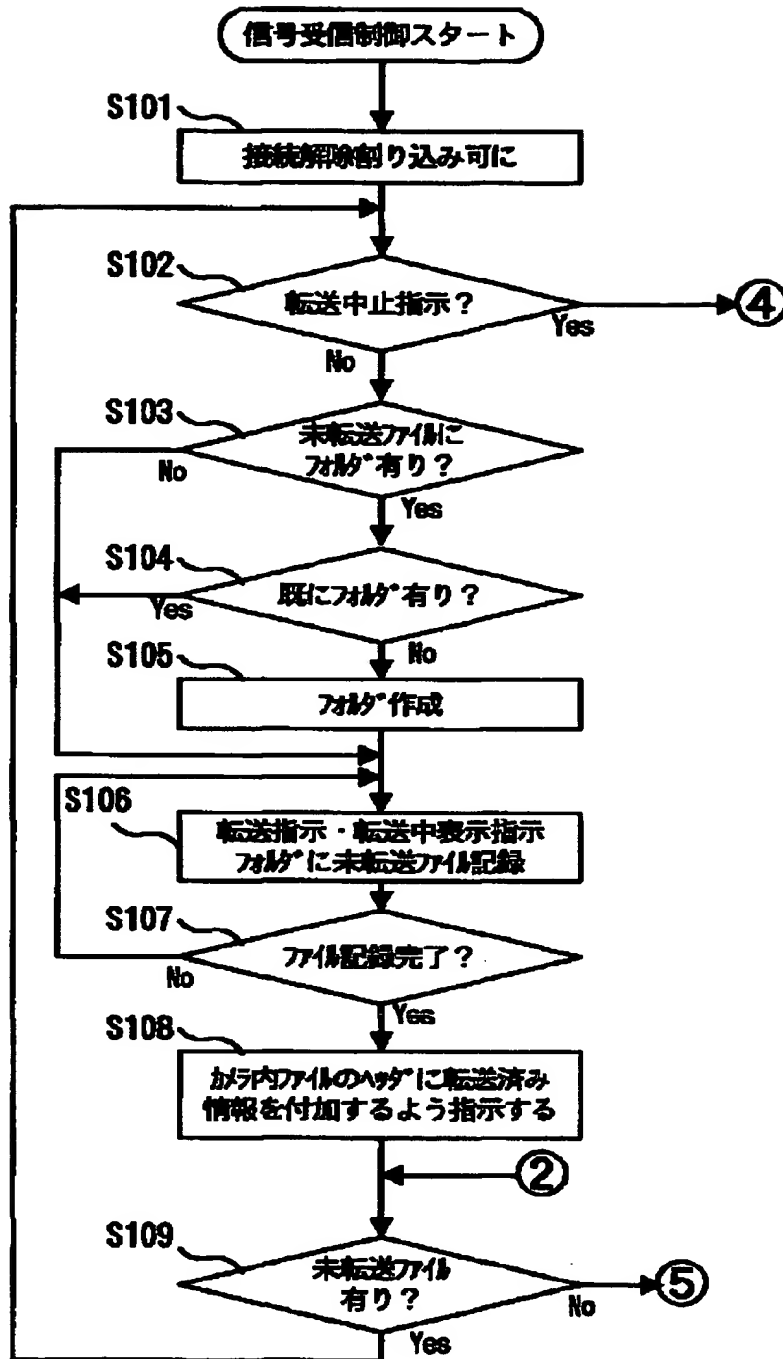
【図 6】



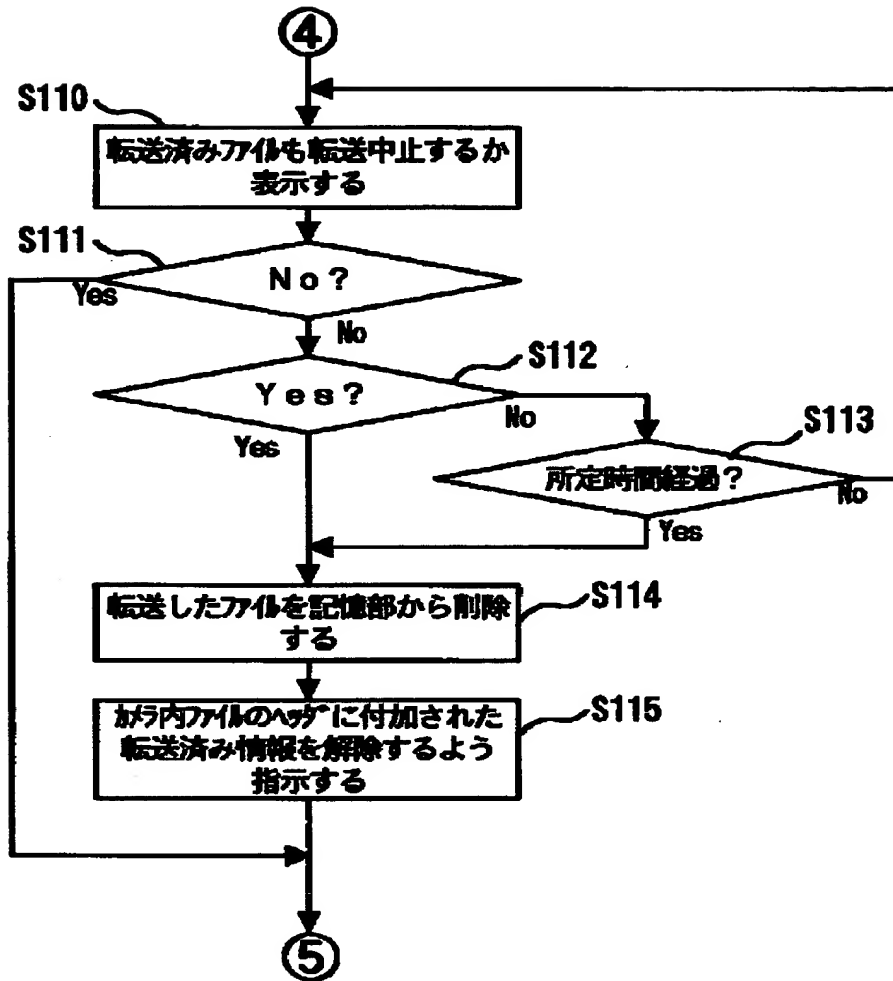
【図 7】



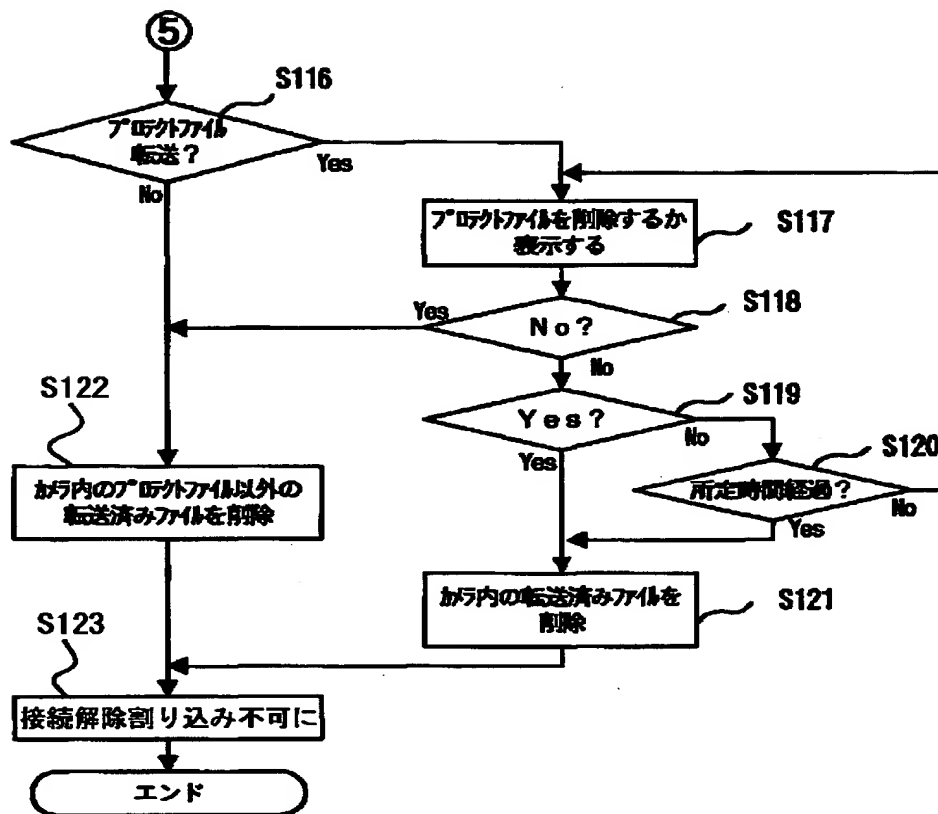
【図 8】



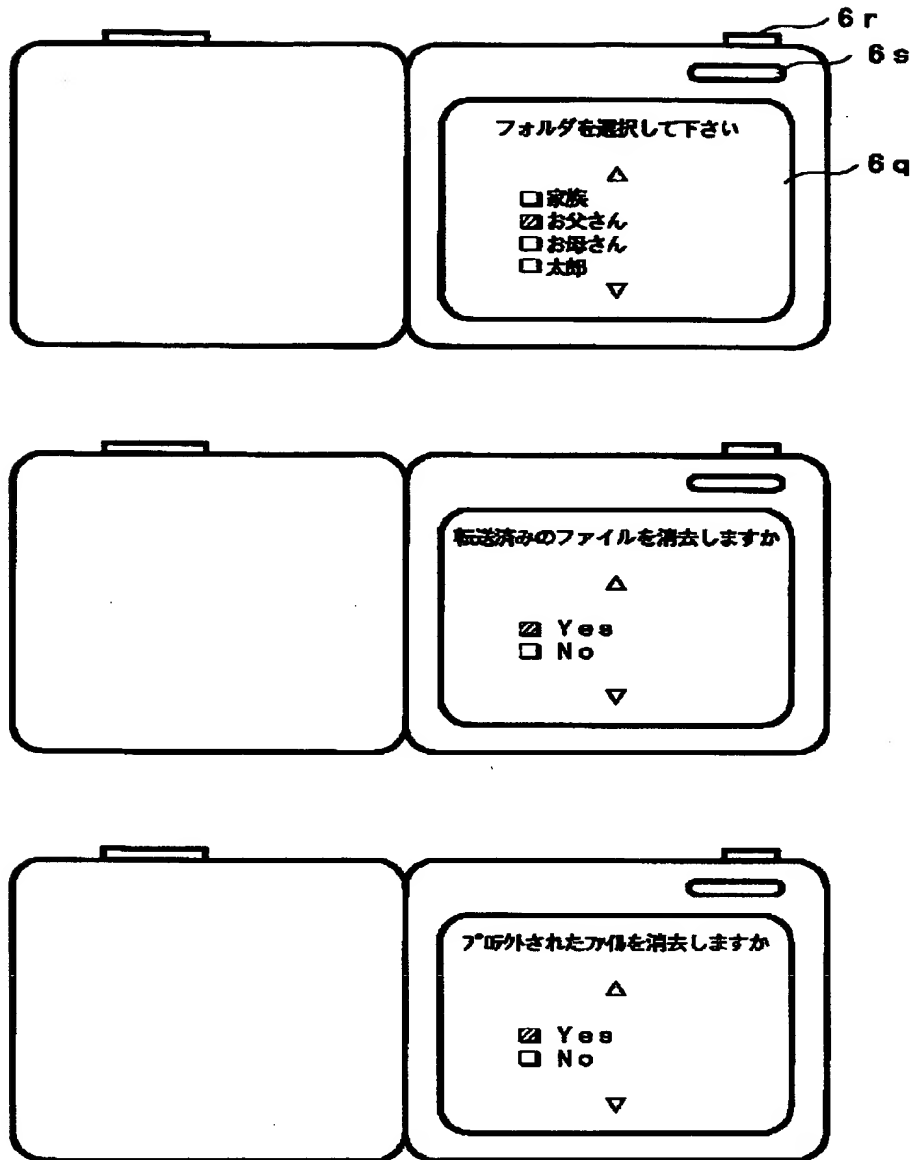
【図 9】



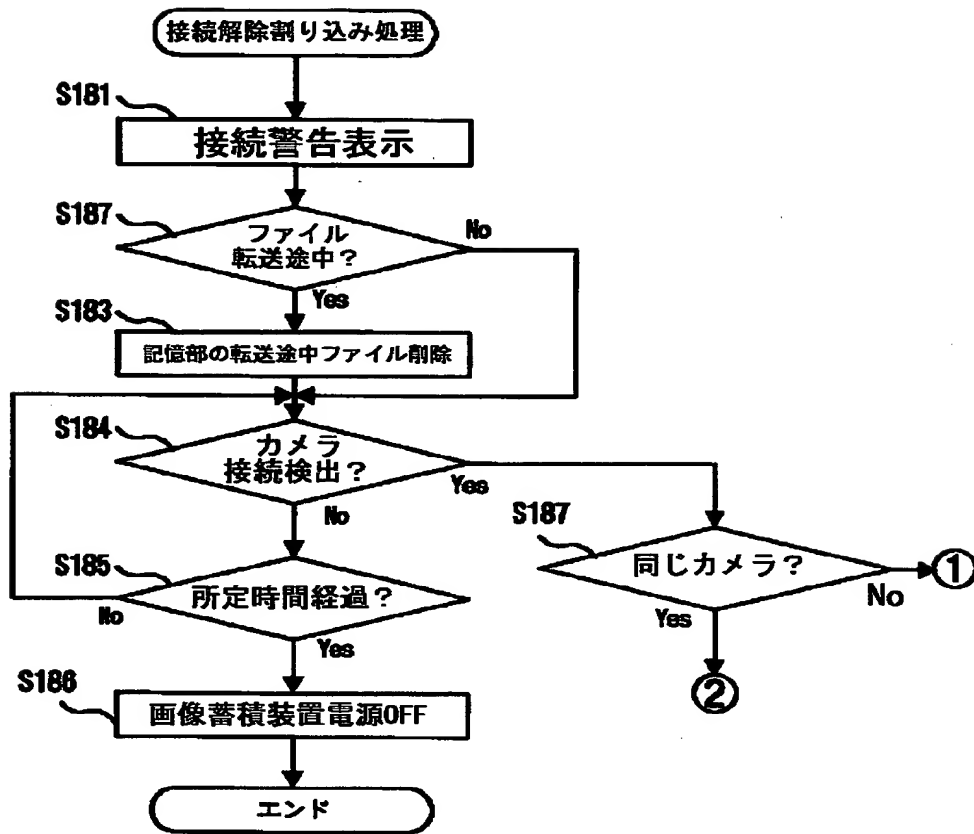
【図 1 0】



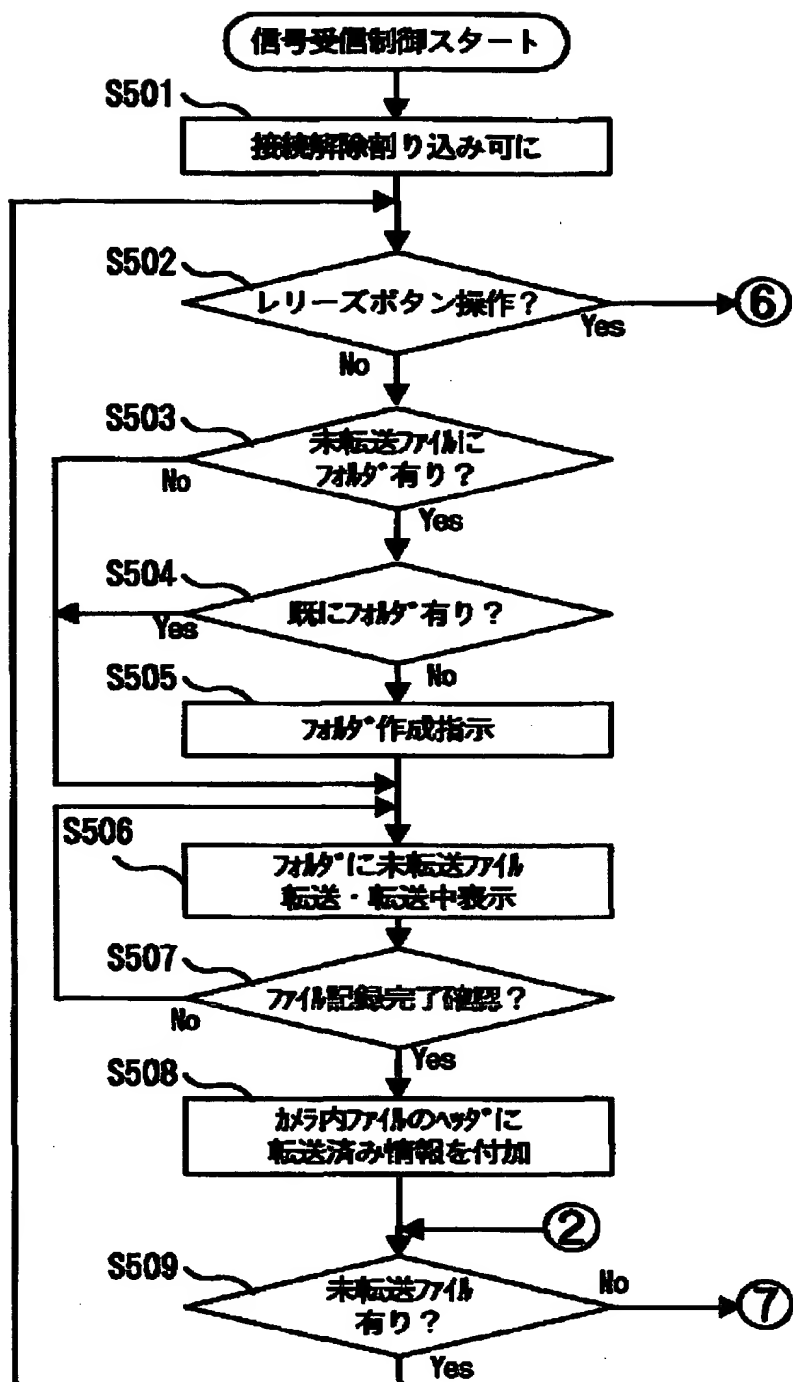
【図 1 1】



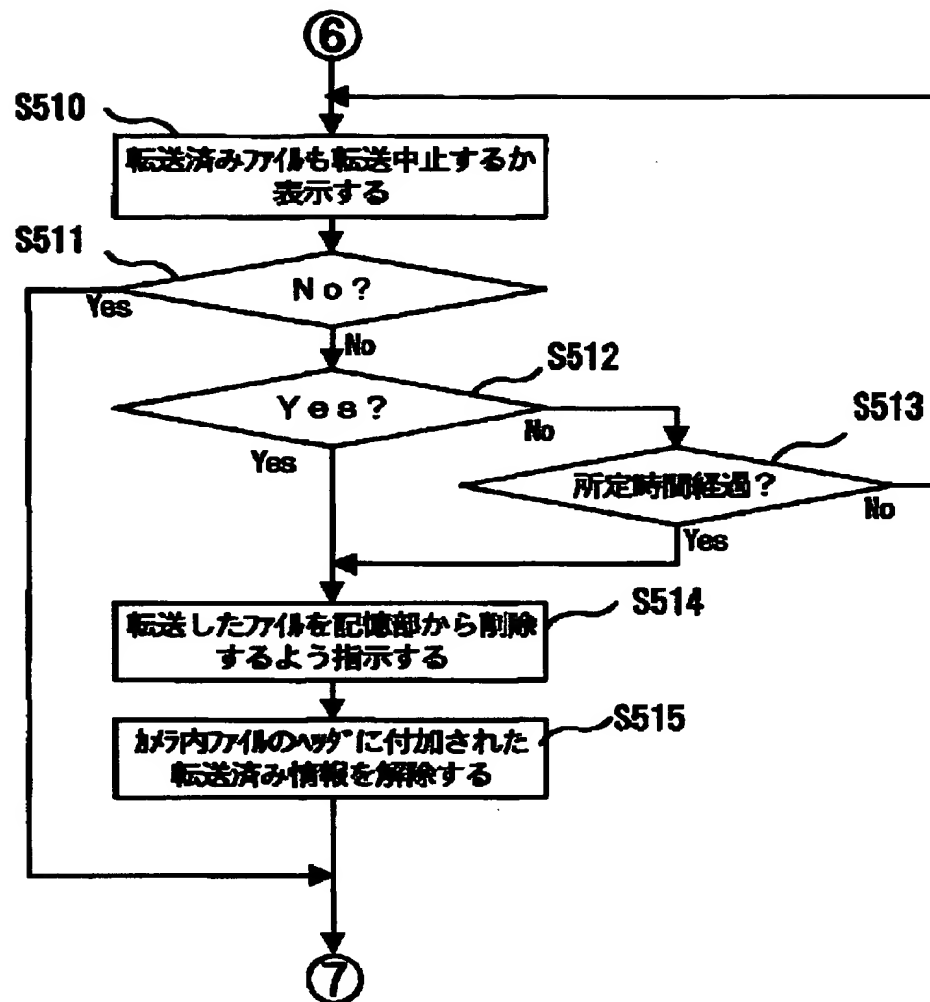
【図 1 2】



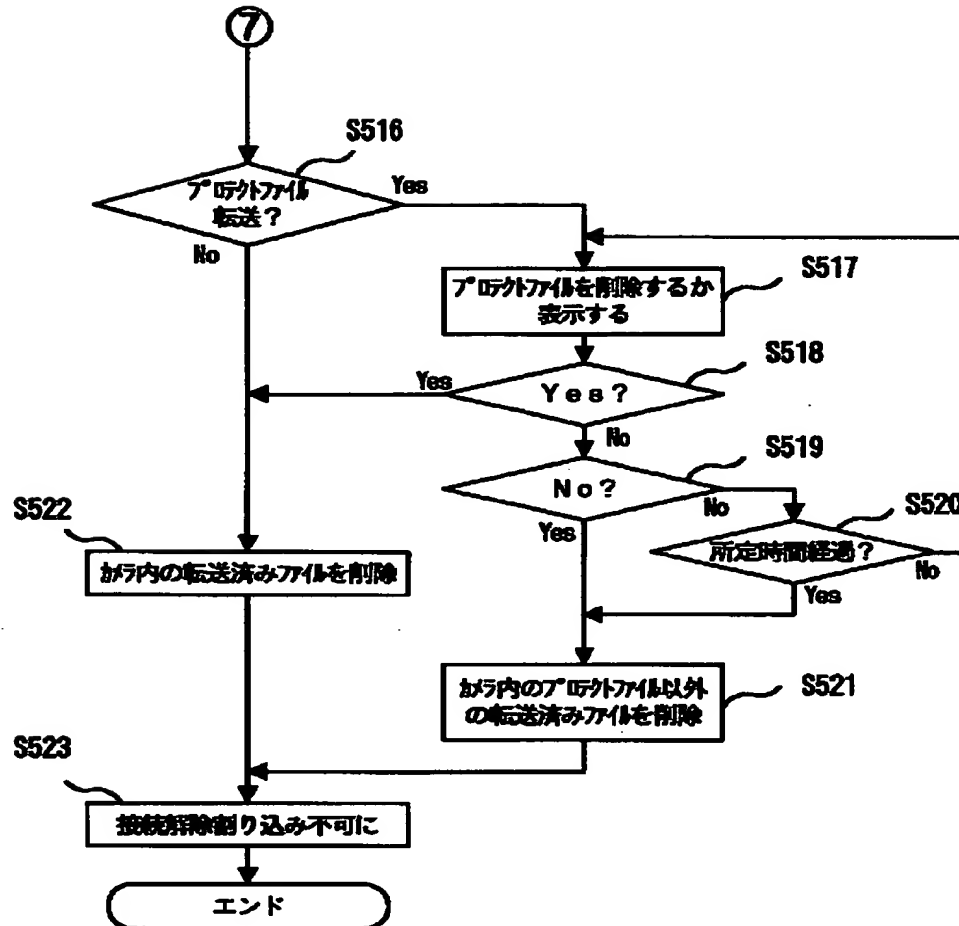
【図 13】



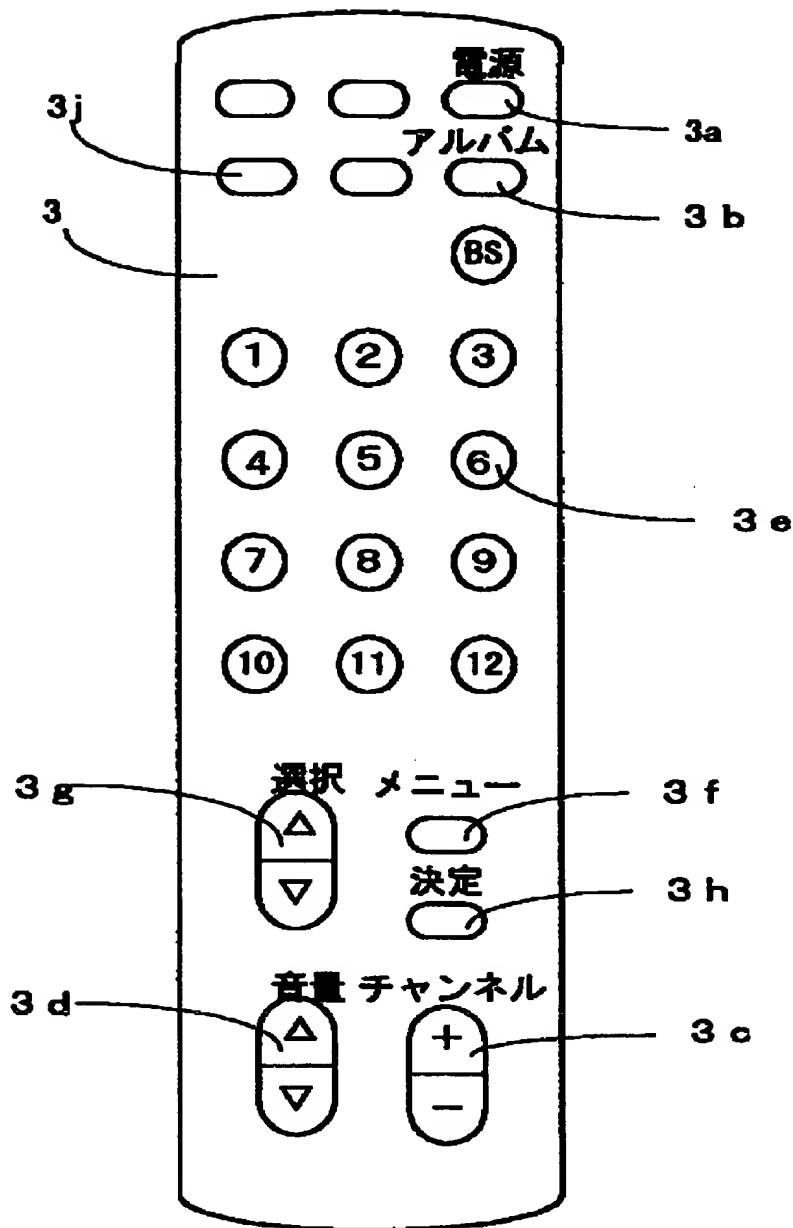
【図 14】



【図 1 5】

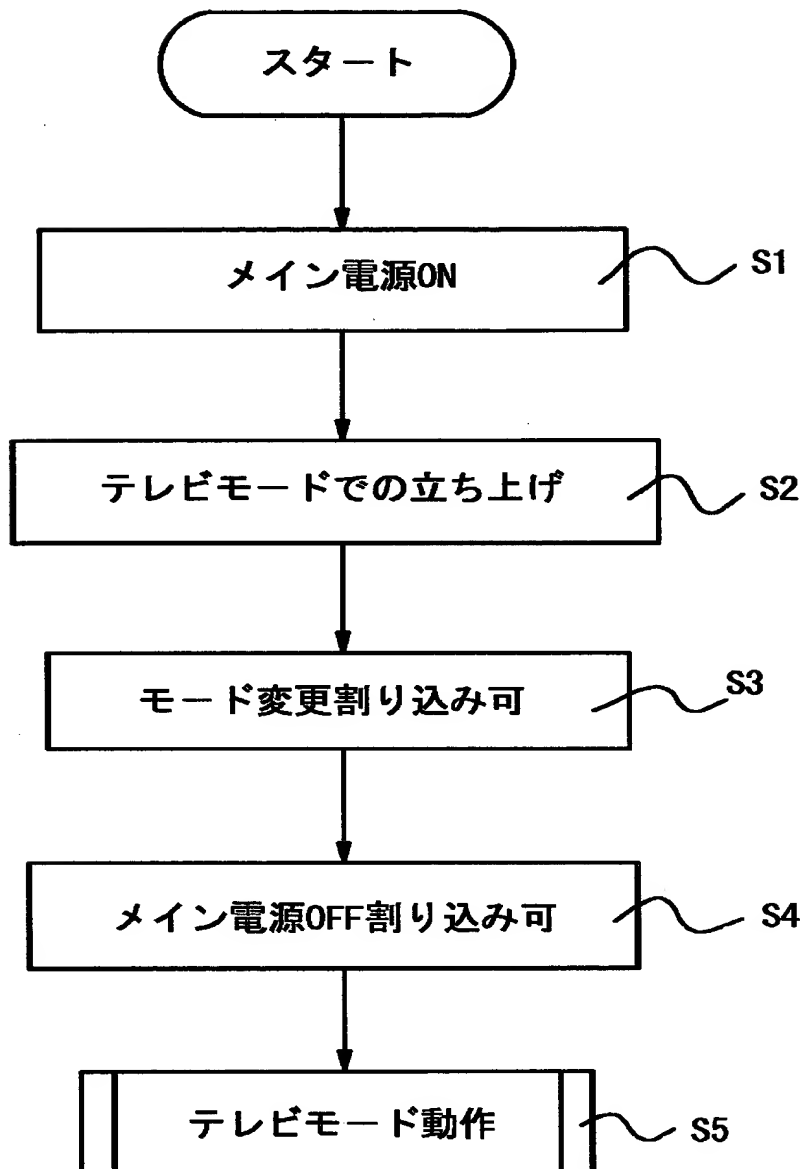


【図 16】

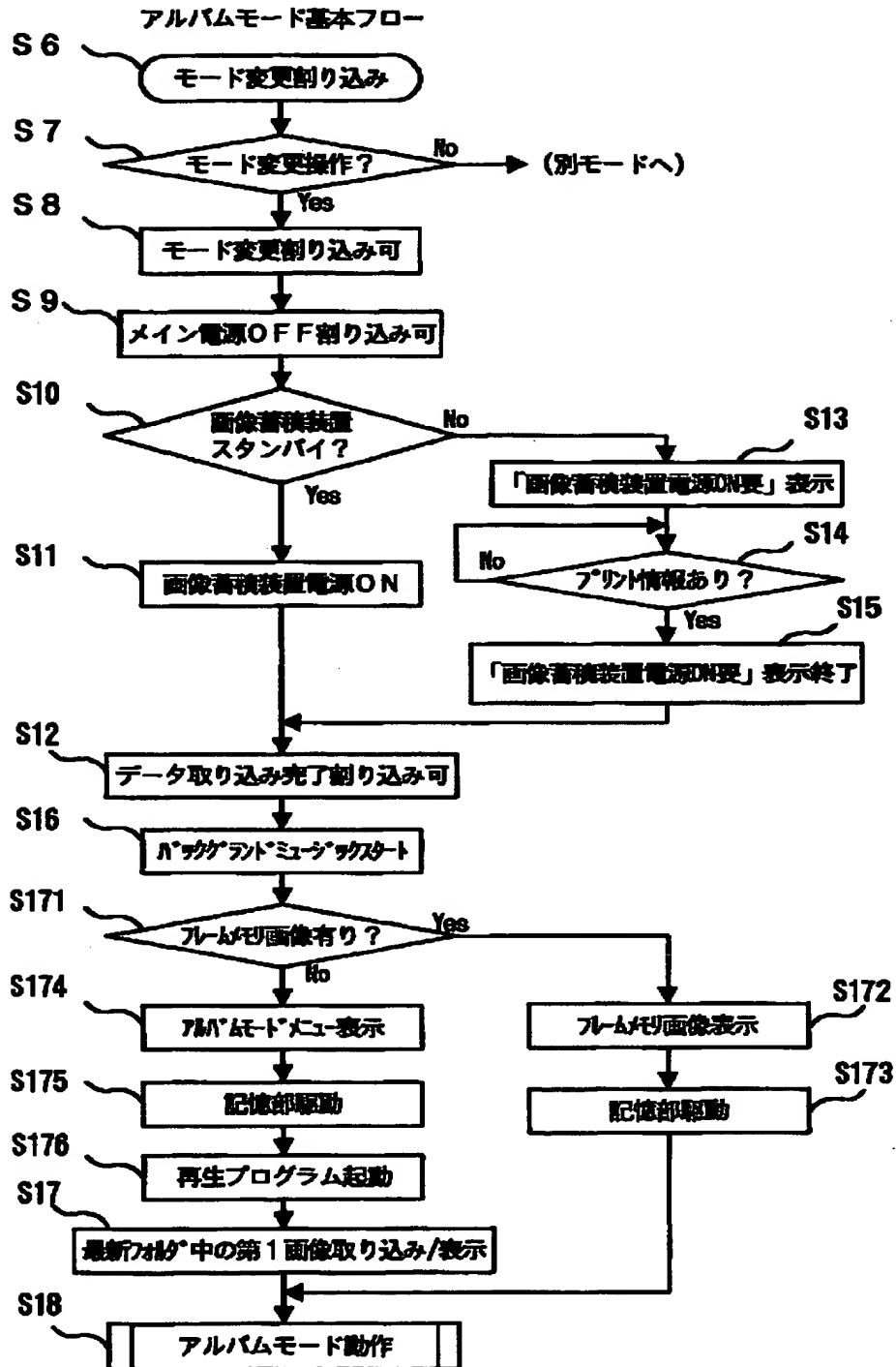


【図 17】

テレビ本体の基本動作フロー

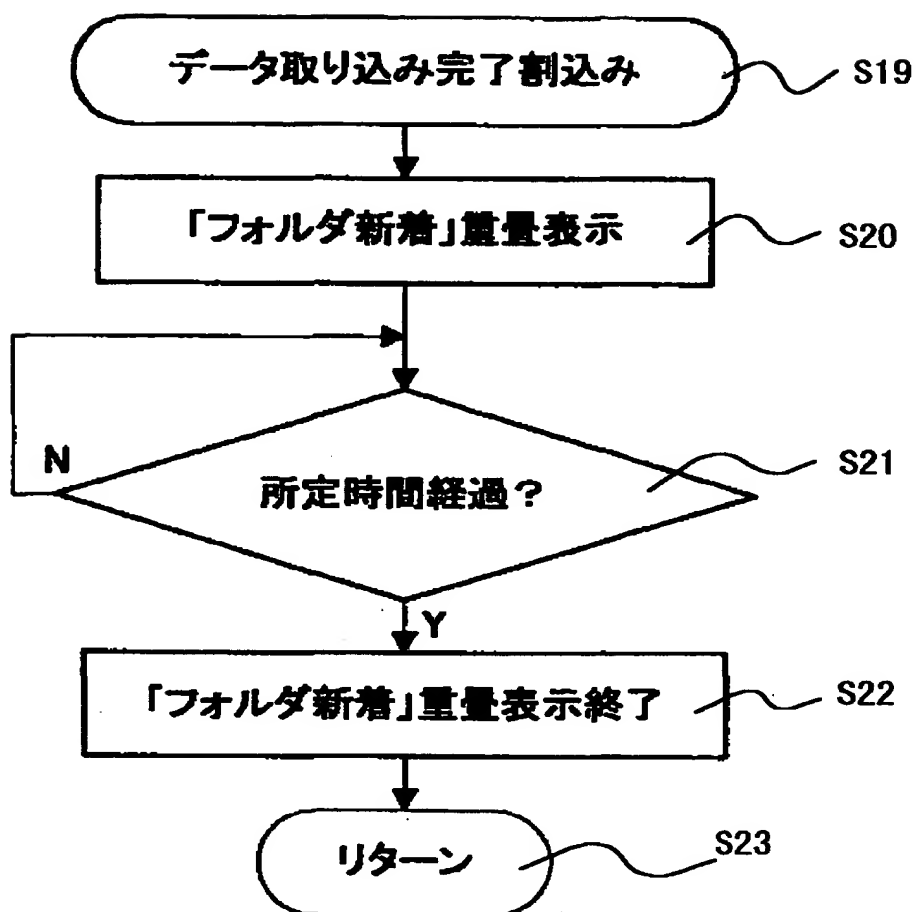


【図 1 8】



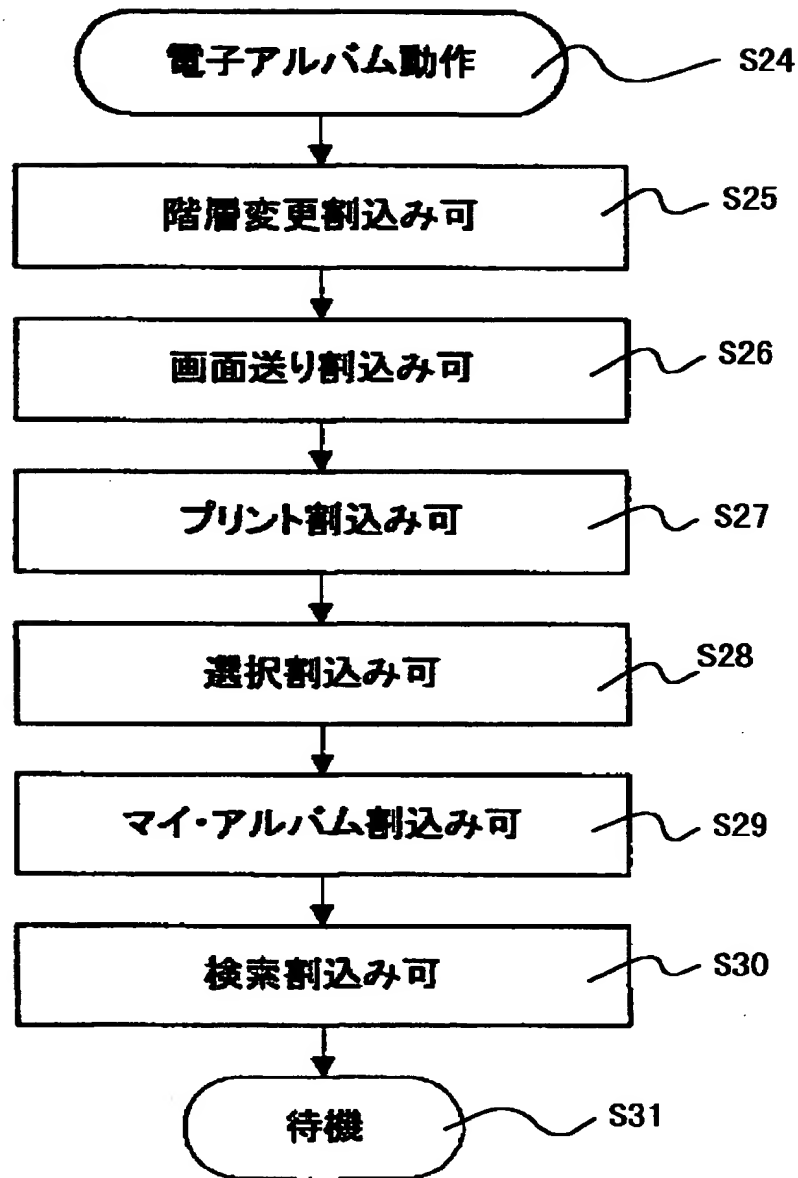
【図 1 9】

データ取り込み完了割込みフロー

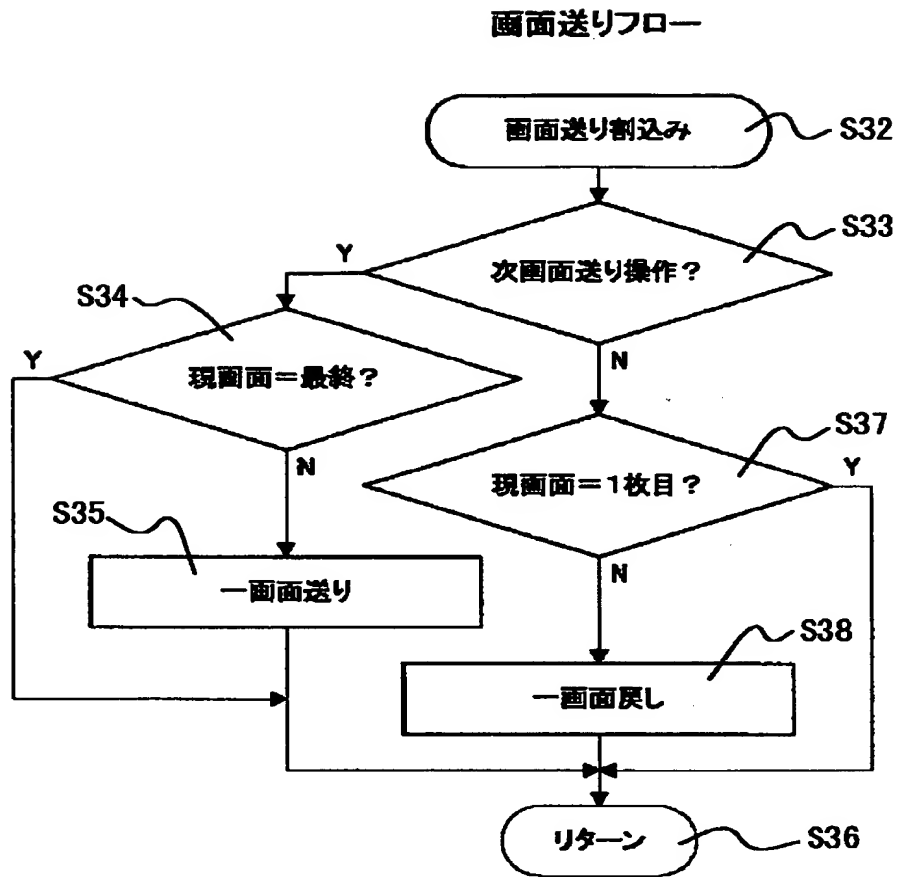


【図 2 0】

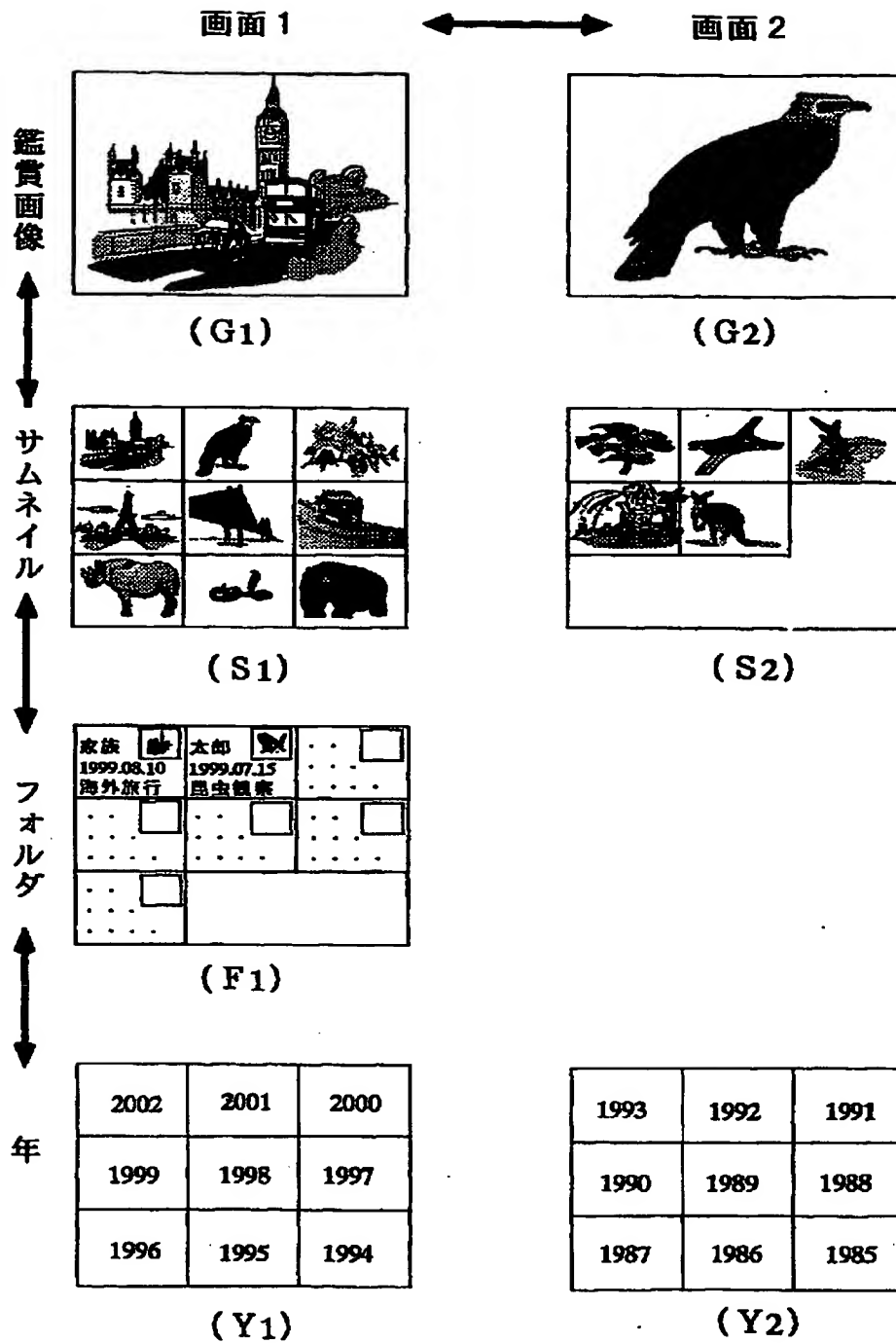
電子アルバムモード動作フロー



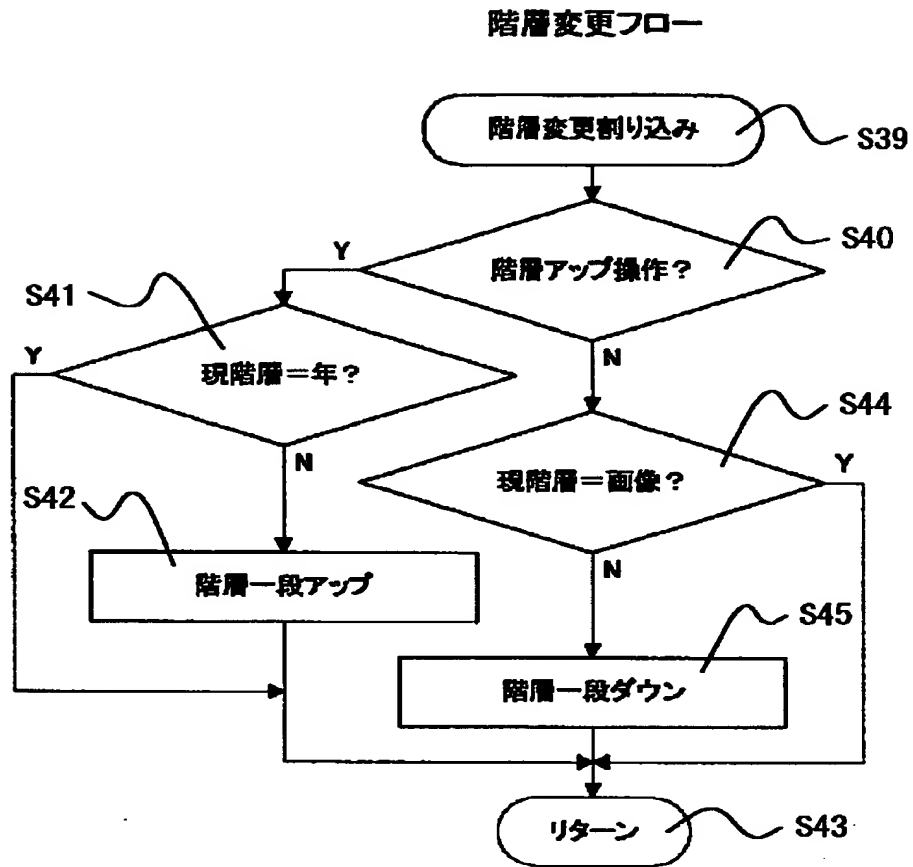
【図 2 1】



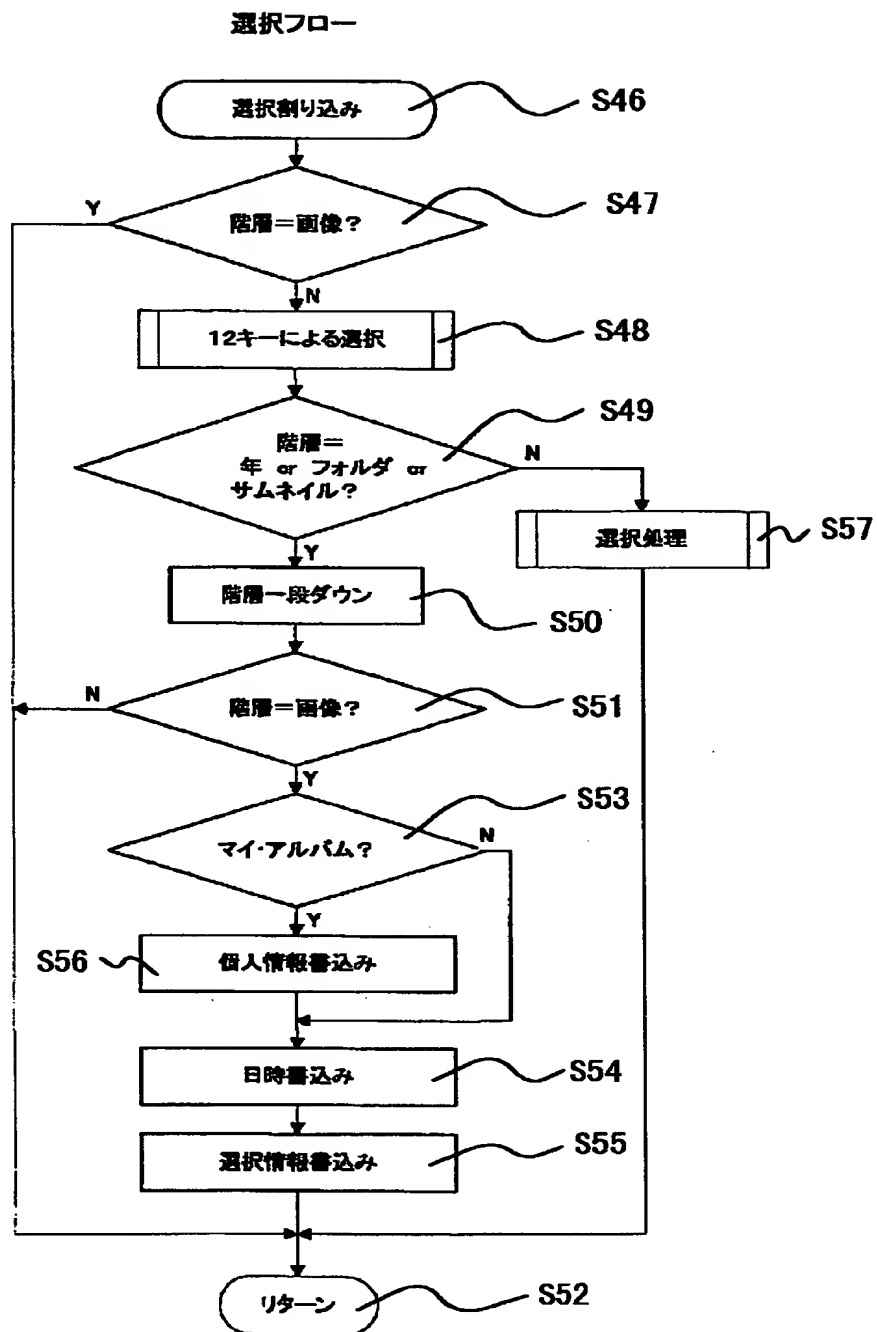
【図 2 2】



【図 2 3】

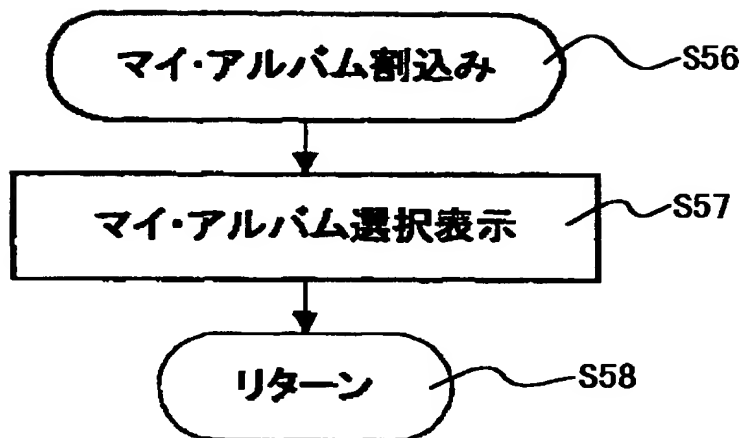


【図 24】



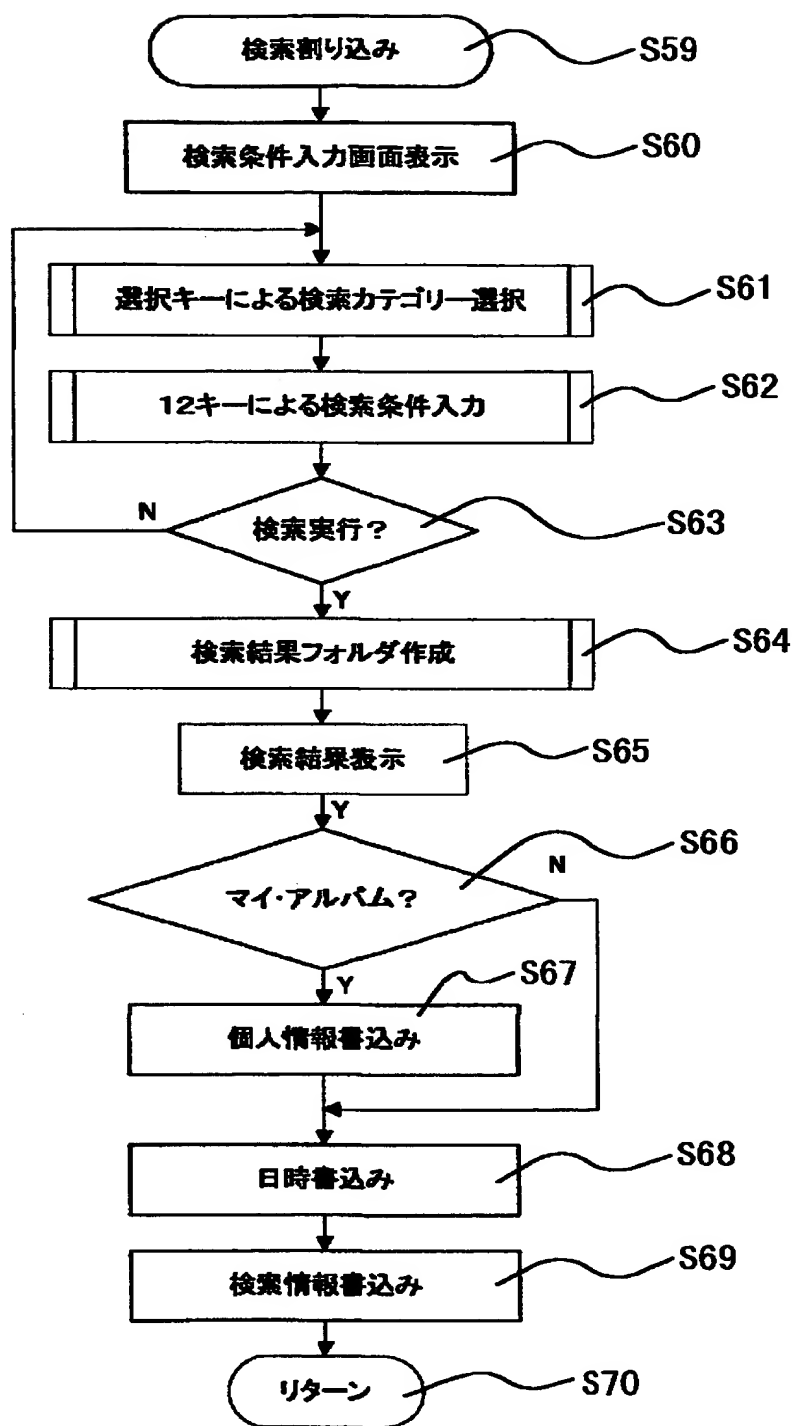
【図 2 5】

マイ・アルバムフロー

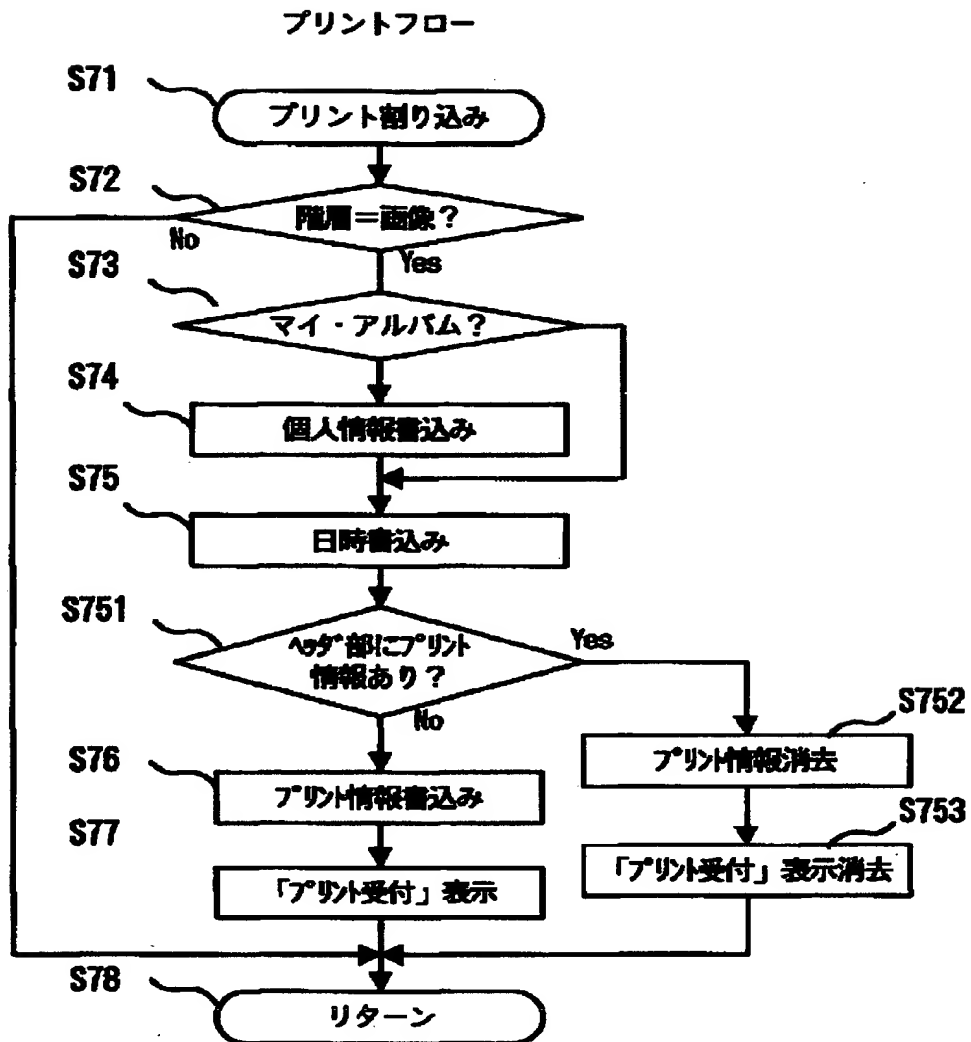


【図 2 6】

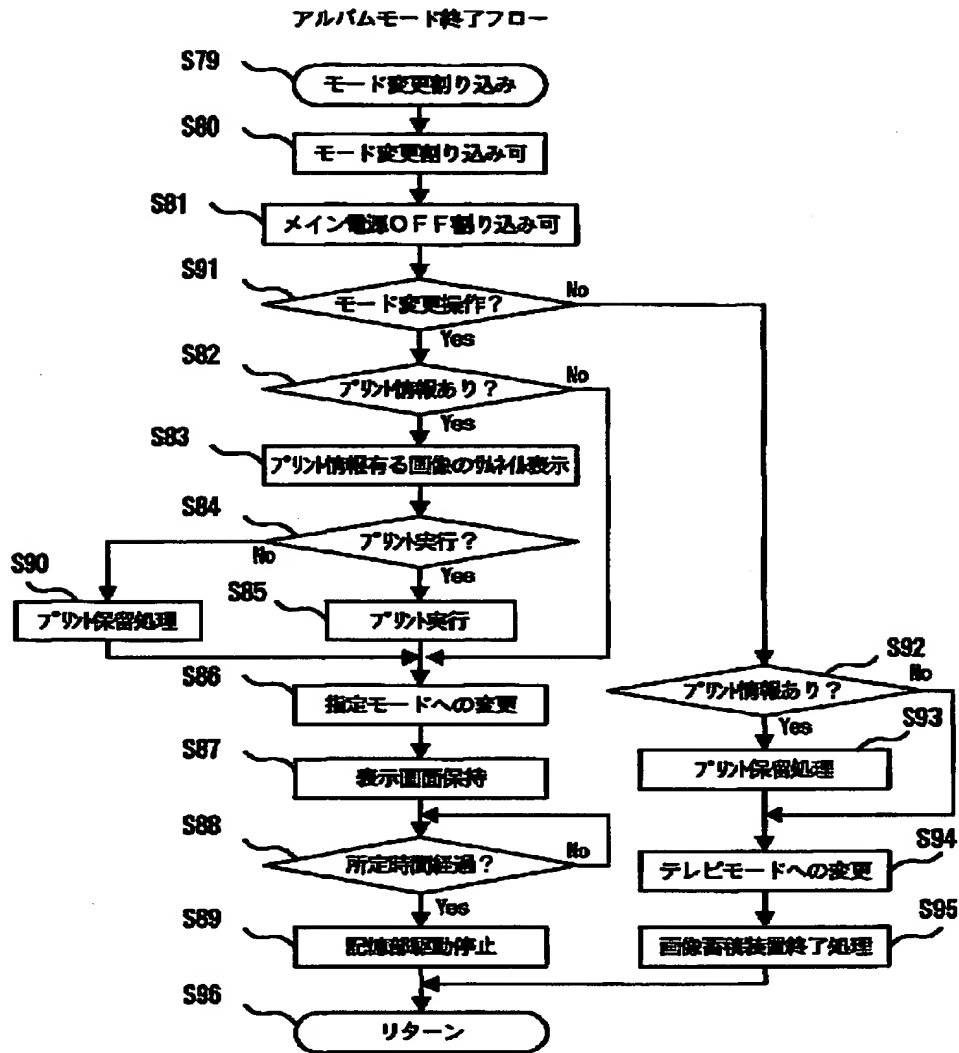
検索フロー



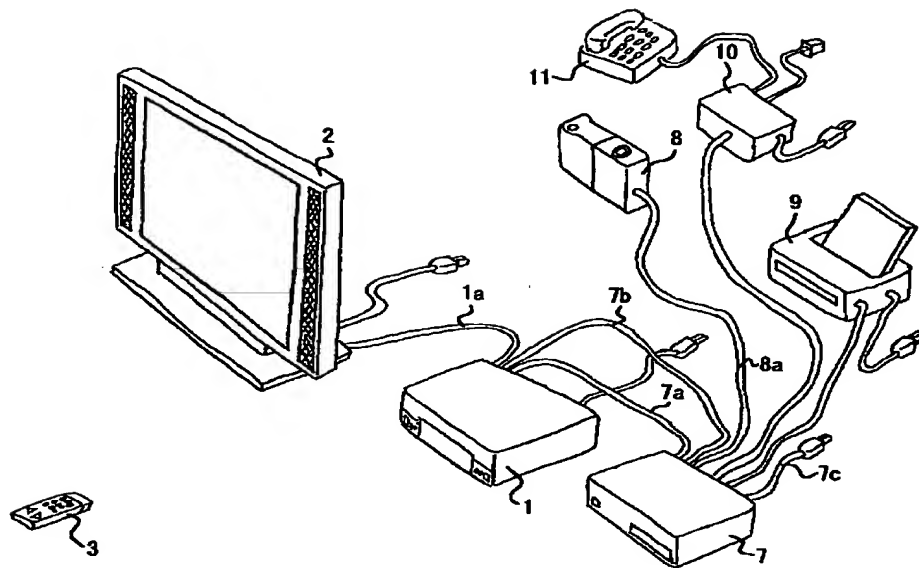
【図 2 7】



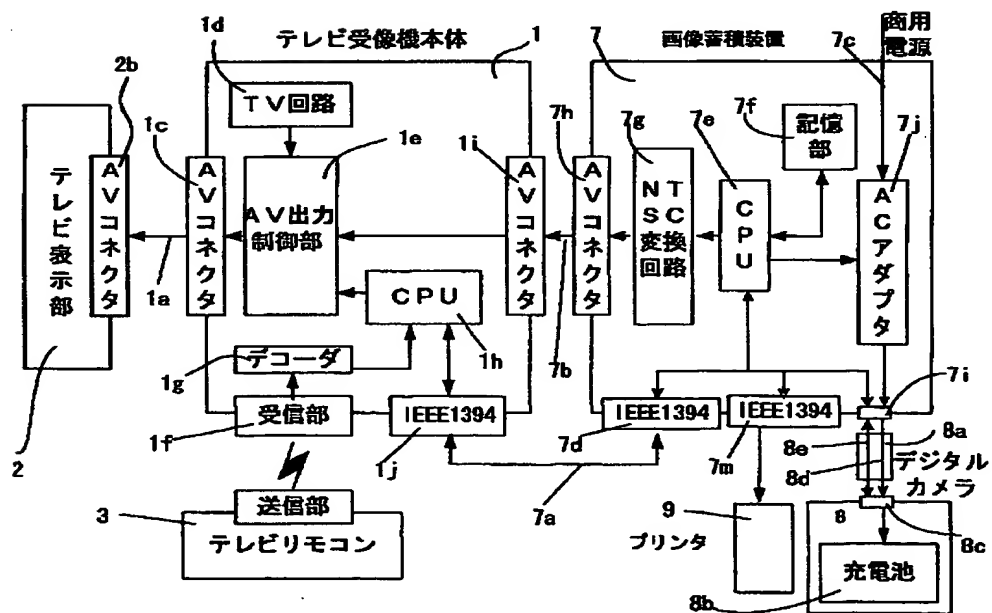
【図 28】



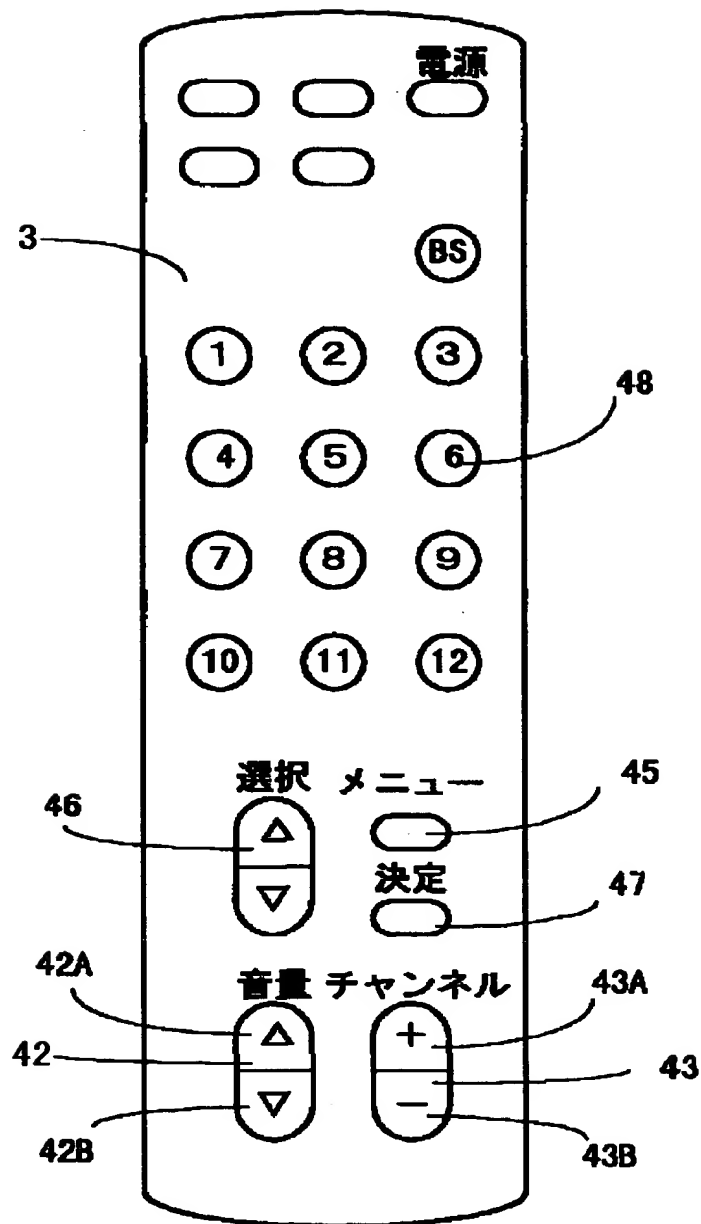
【図 29】



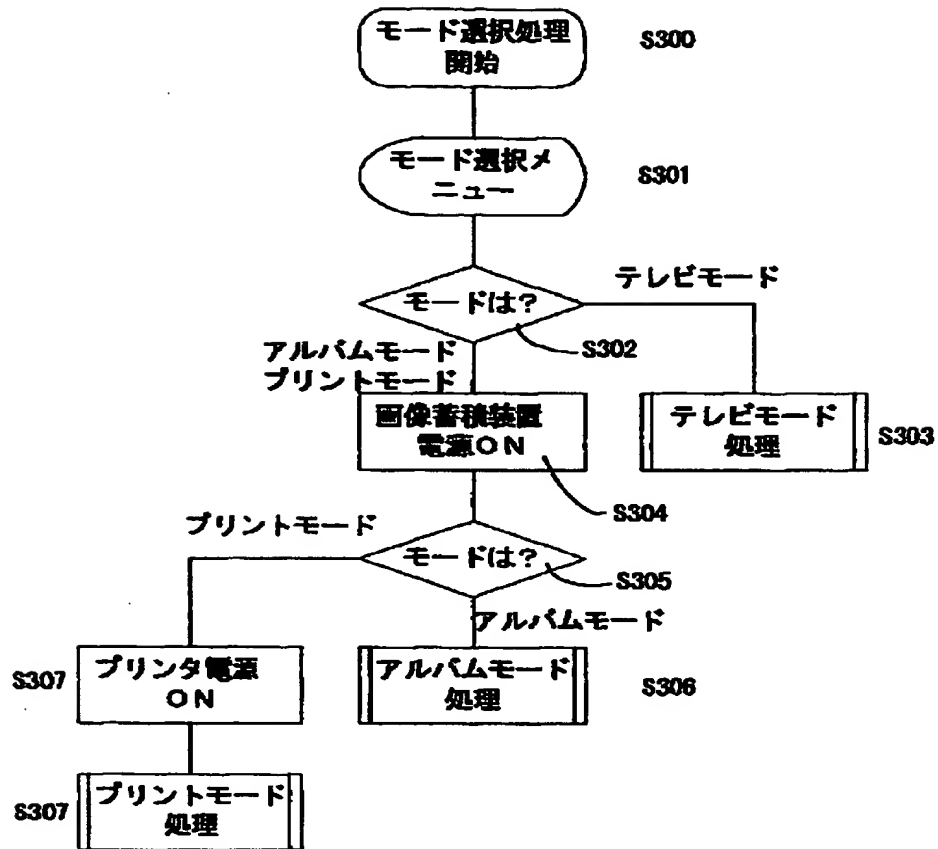
【図 30】



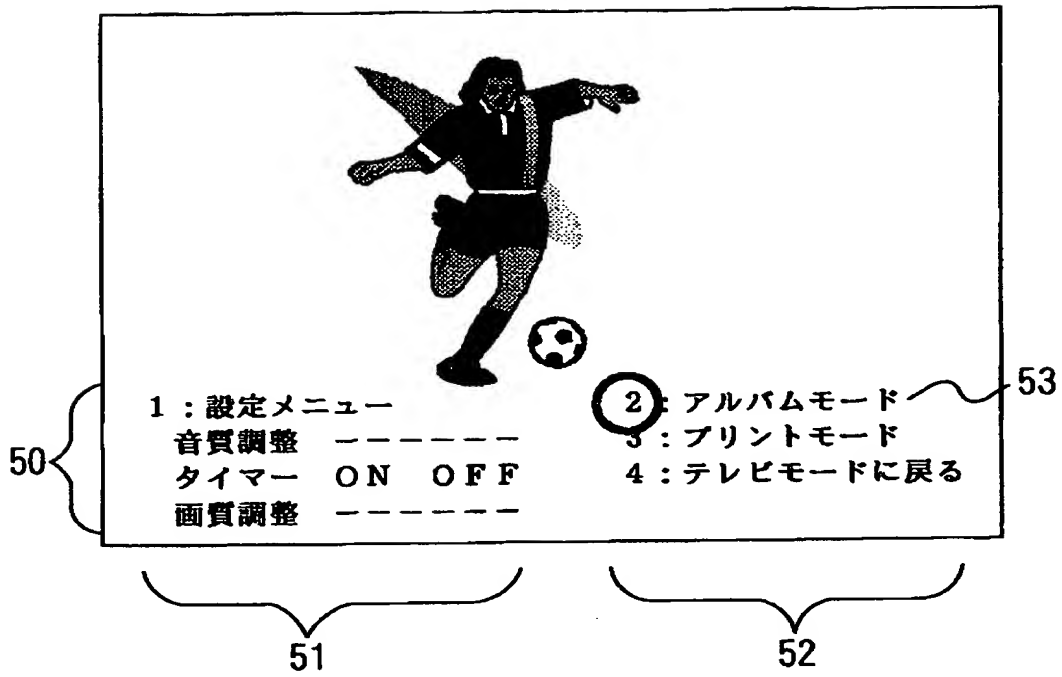
【図 31】



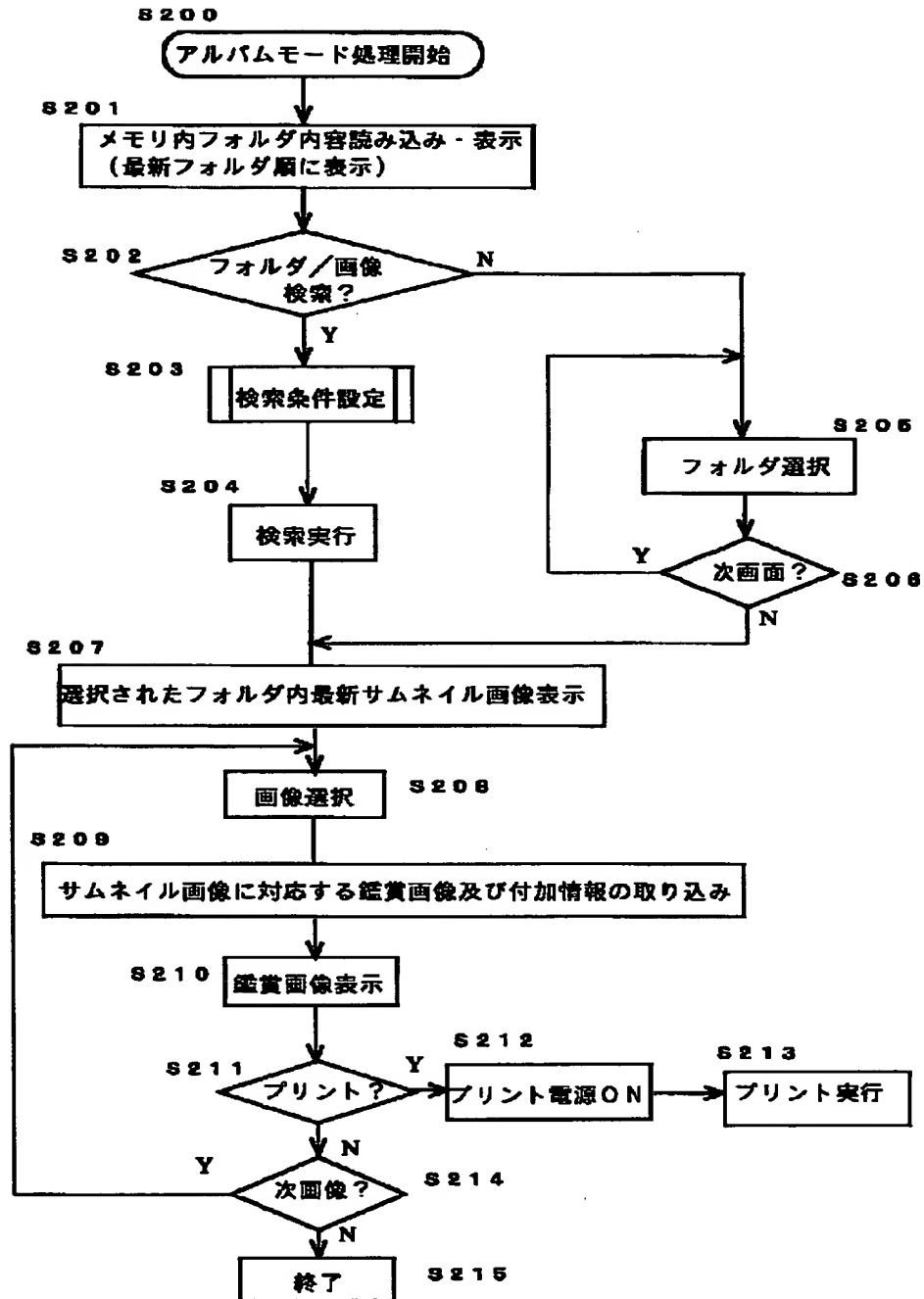
【図 32】



【図 33】




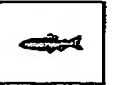


【図 34】



【図 3 5】

30

...

...

No. 1

No. 2

No. 3

No. 4

...

...

フォルダ No.	充電年月日	撮影年月日	撮影者が作成したフォルダ名 撮影者ID	撮影時テキスト入力された タイトル及びメモ	撮影画像 枚数	使用メモリ KB
1	1999.04.15	1999.04.05	TARO	ゴルフ	26	15132
2	1999.04.15	1999.04.05	HANAKO	-	3	1236
3	1999.04.15	1999.04.04	HANAKO	入学式	18	8886
4	1999.04.15	1999.03.01	TARO	釣り	3	1544
.....						

検索

0: フォルダ / 画像検索


ソート条件

1: 撮影年月日 2: 撮影者名 3: タイトル

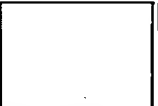
プリントモード

テレビモードに戻る


【図 3 6】




1999.04.05 pm12:15
花子
入学
666MB




1999.04.05 am11:30
花子
入学
389MB




1999.04.05 am11:08
花子
入学
414MB




1999.04.05 am09:25
花子
入学
584MB




1999.04.05 am09:48
花子
入学
491MB




1999.04.05 am09:40
花子
入学
556MB



1999.04.05 am09:22
花子
入学
578MB



1999.04.05 am09:17
花子
入学
699MB



1999.04.04 pm02:15
花子
入学
533MB

36

32

31

35

34

検索条件

1: HANAKO

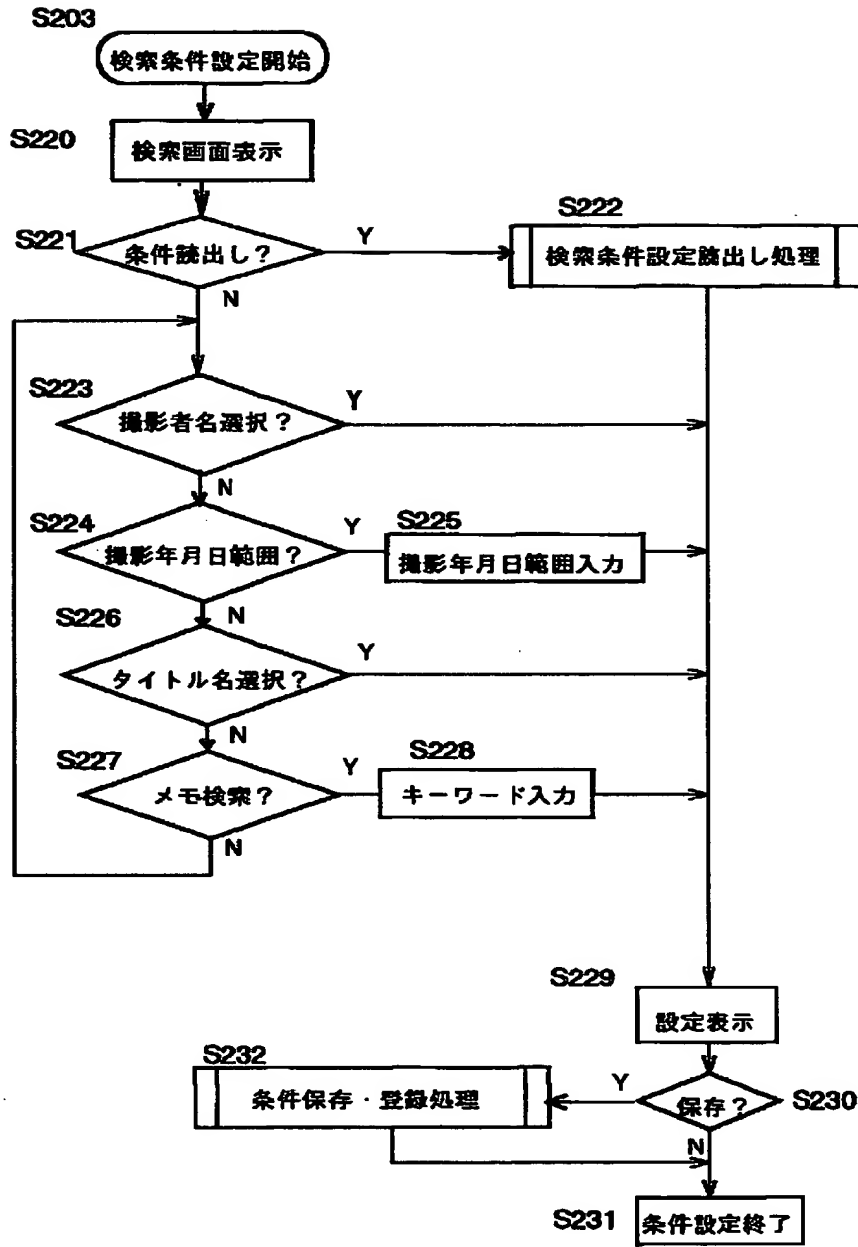
2: 1999.04.04
-1999.04.05

3: 入学式

プリントモード

テレビモードに戻る

【図 3 7】



【図 38】

検索条件

撮影者 : TARO HANAKO ICHIRO

撮影年月日 : 1999年 4月 4日 - 1999年 4月 5日

タイトル : 釣り 入学式 卒業式 家族集合 PTA

メモ : (フリーキーワード検索可)

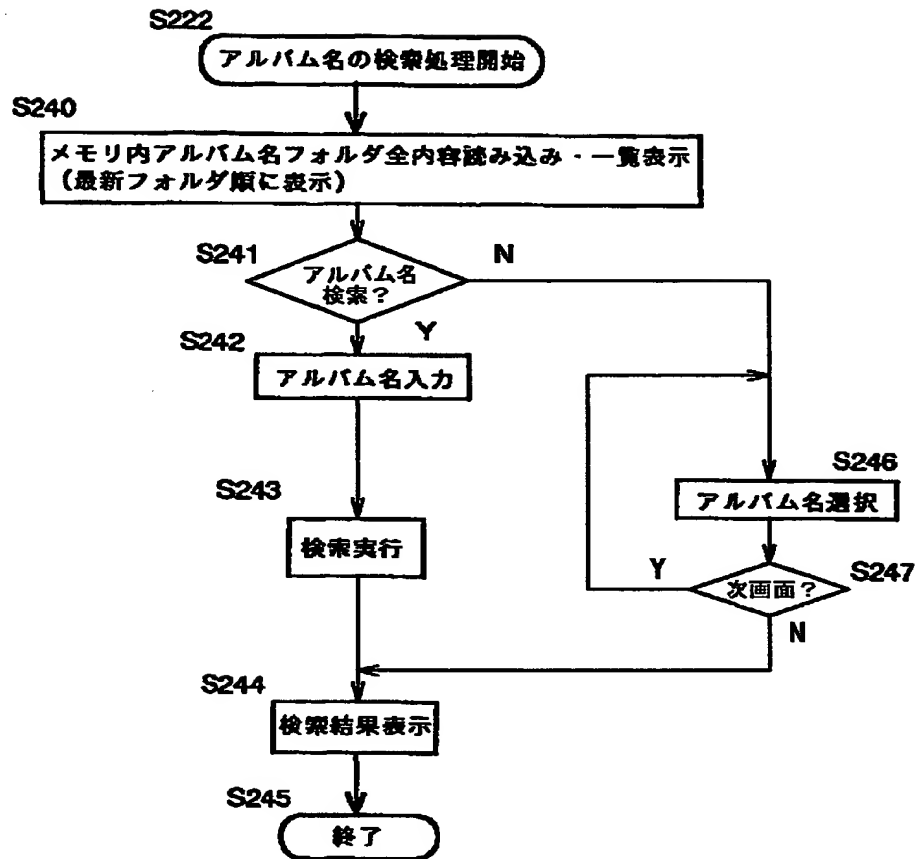
ソート優先度
1 撮影年月日 2 撮影者名 3 タイトル

☐ アルバム
0 : 読み出し 1 : 保存 2 : 検索条件項目/選択項目の削除追加登録

☐ 文字作成用コード表表示

プリントモード
テレビモードに戻る

【図 39】

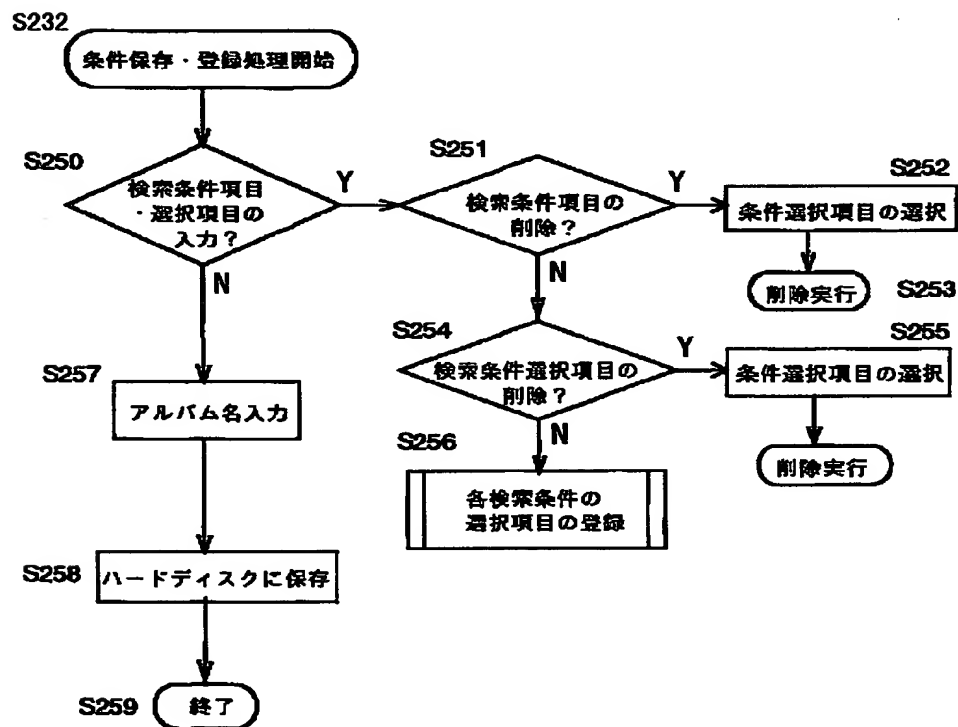


【図 4 0】

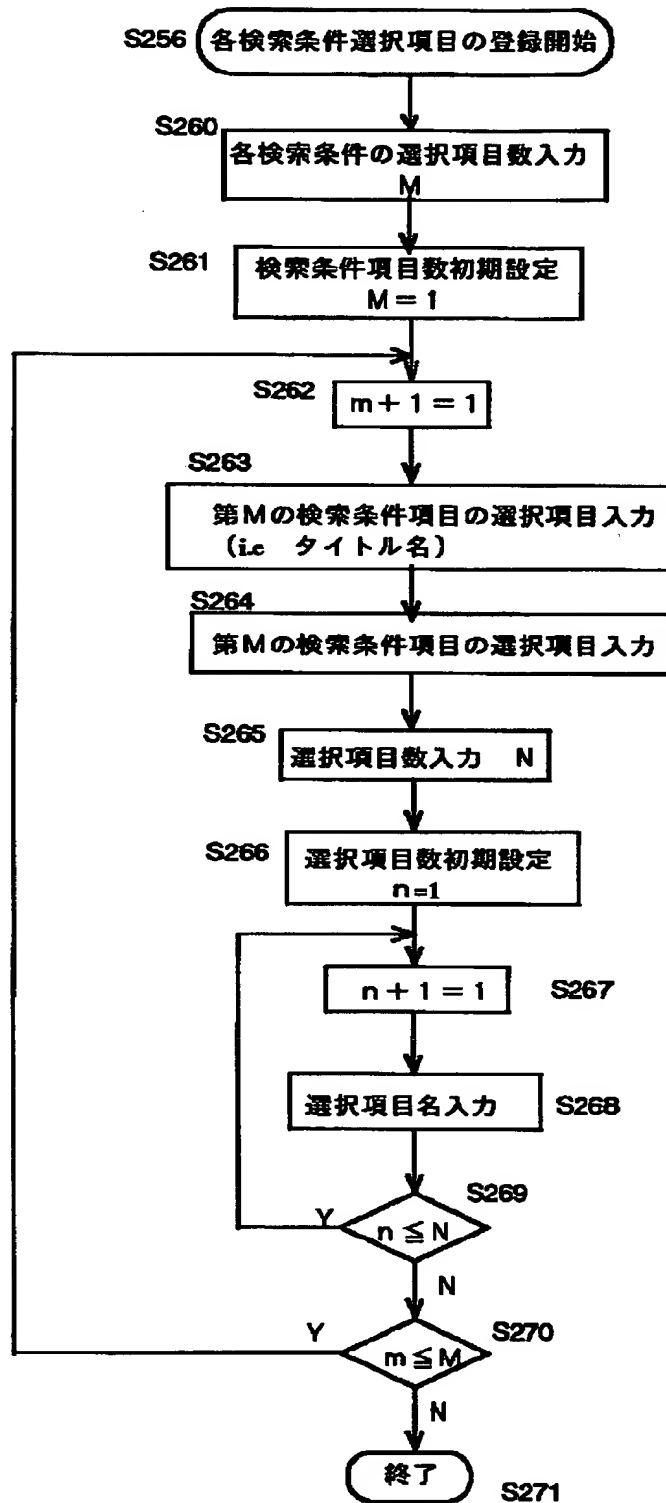
フォルダ No.	アルバム名	作成年月日	作成者	メモリ容量 KB
1	料理教室	1999.01.20	HANAKO	6
2	北海道旅行	1998.10.18	HANAKO	8
3	釣り	1998.07.20	HANAKO	3
4	次郎中学 1 年入学式	1998.04.05	TARO	5
.....				
.....				
.....				

プリントモード テレビモードに戻る

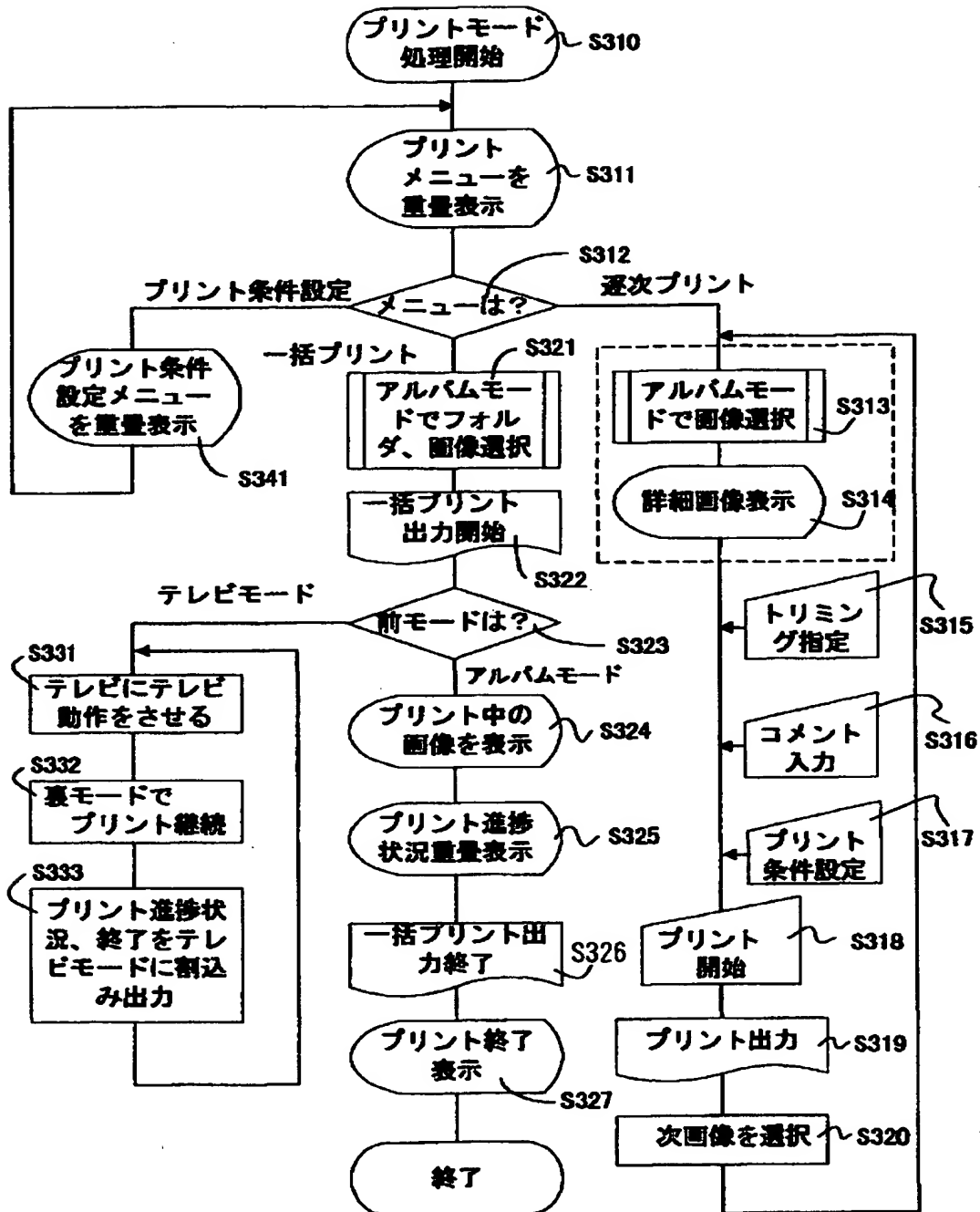
【図 4 1】







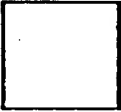



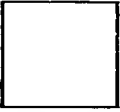
【図 4 2】



【図 4 3】












【図 4 4】

 1999.04.05 pm12:15 花子 入学	 1999.04.05 am11:50 花子	 1999.04.05 am11:08 花子 入学	検索条件 1: HANAJO 2: 1999.04.04 ~1999.04.05 全入学式
 1999.04.05 am09:55 花子 入学	 1999.04.05 am09:48 花子 入学	 1999.04.05 am09:40 花子 入学	
 1999.04.05 am09:22 花子 入学	 1999.04.05 am09:17 花子 入学	 1999.04.04 pm20:15 花子 入学	

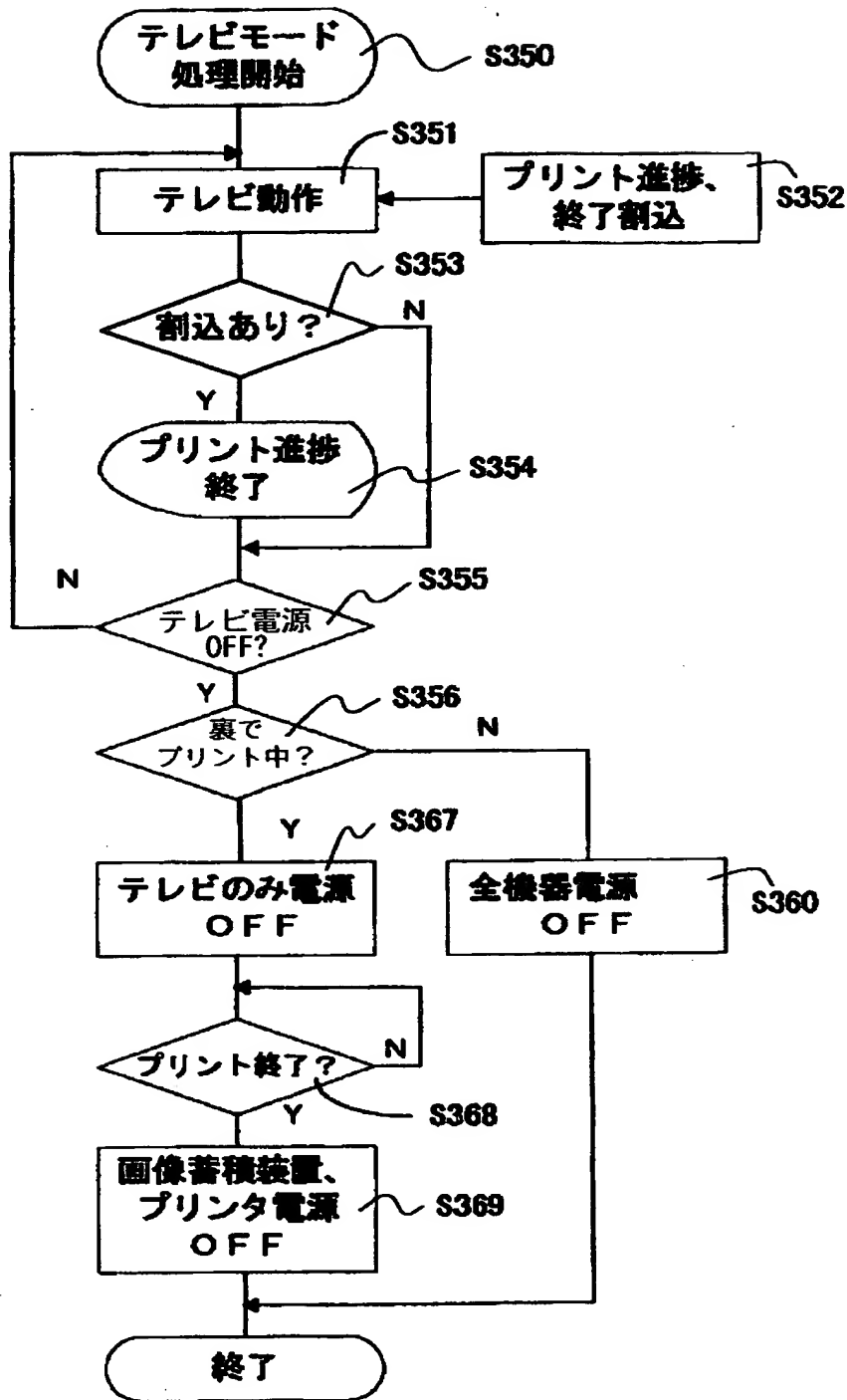
プリントモード設定
 1: 一括プリント
 2: 逐次プリント
 3: プリント条件設定
 4: 前画面に戻る

【図 4 5】

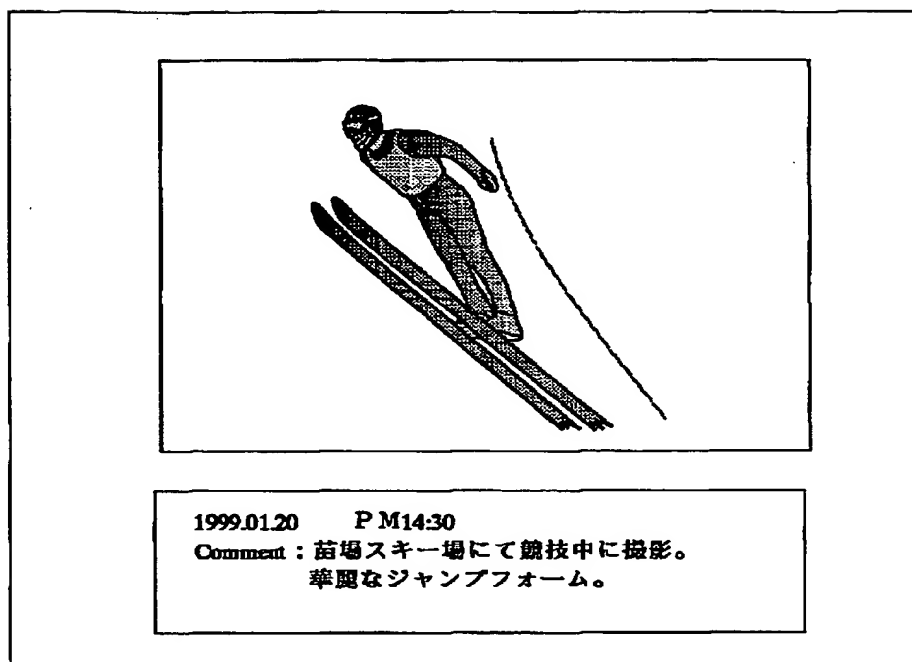
 1999.04.05 pm12:15 花子 入学	 1999.04.05 am11:30 花子	 1999.04.05 am11:08 花子 入学	検索条件 1: HANAJO 2: 1999.04.04 ~1999.04.05 全入学式
 1999.04.05 am09:55 花子 入学	 1999.04.05 am09:48 花子 入学	 1999.04.05 am09:40 花子 入学	
 1999.04.05 am09:22 花子 入学	 1999.04.05 am09:17 花子 入学	 1999.04.04 pm20:15 花子 入学	

プリント条件設定
 1: 画質
 2: 用紙サイズ
 3: プリント枚数
 4: コメント出力
 5: 前画面に戻る

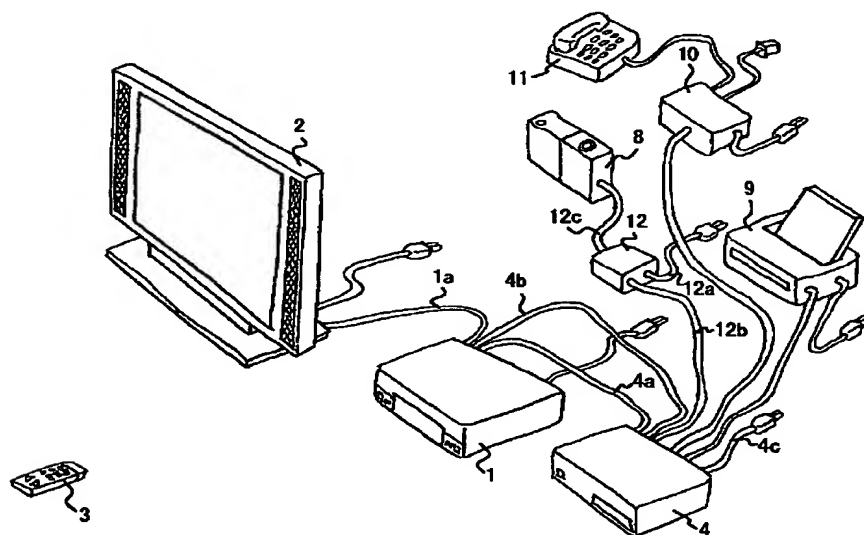
【図 4 6】



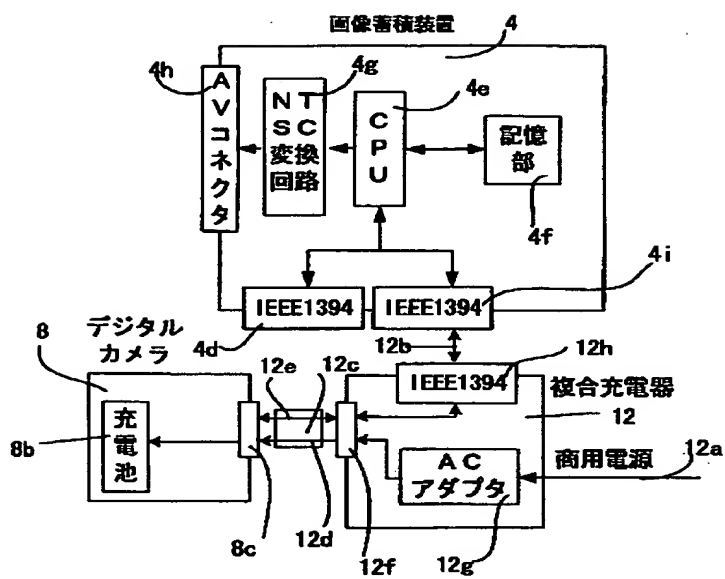
【図 4 7】



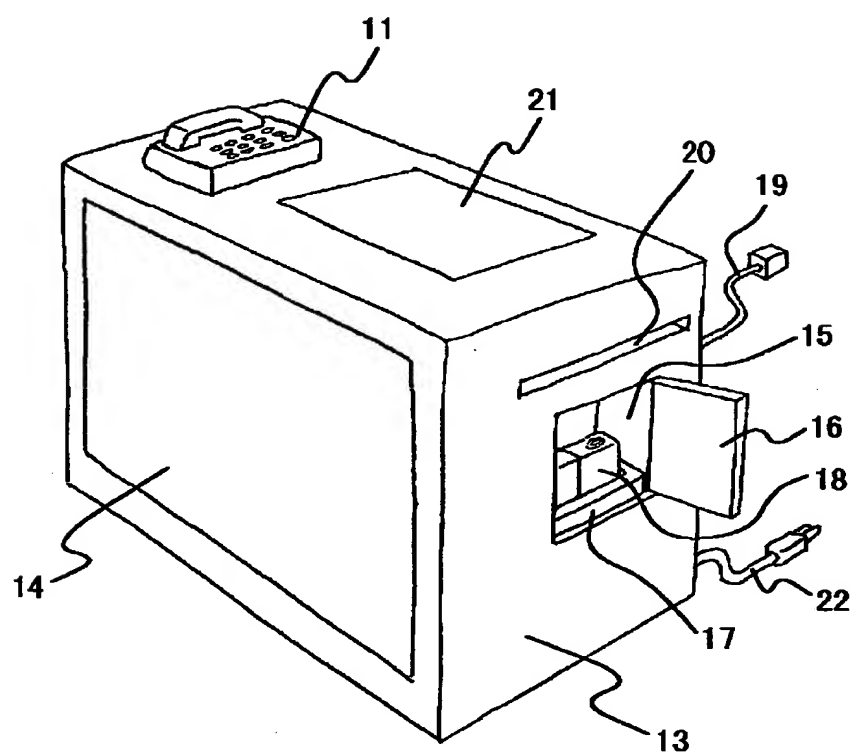
【図 4 8】



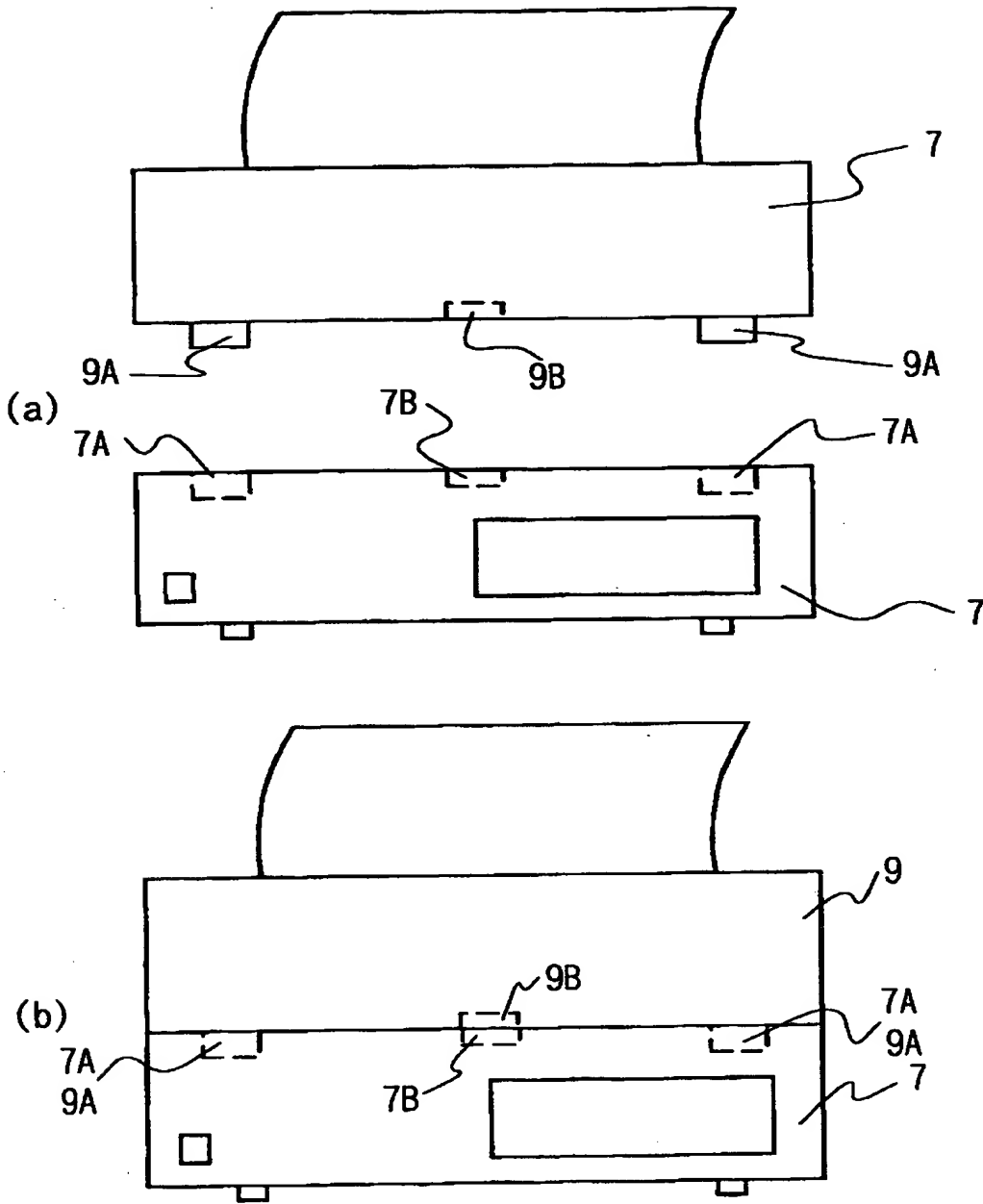
【図 4 9】



【図 5 0】



【図 51】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 デジタルカメラの中の静止画像データを蓄積するために複数の操作を必要とせず、使用者に負担をかけることのない画像蓄積装置を提供する。

【解決手段】 上記課題を解決するため、本発明では、画像蓄積装置において、複数の画像データを記憶可能な内蔵型の大容量メモリと、前記大容量メモリに記憶された画像データを再生する再生手段と、デジタルカメラと信号の授受を行うため、該デジタルカメラと電氣的に接続可能な接続端子と、前記接続端子に前記デジタルカメラが電氣的に接続されていることを検出する検出手段と、前記検出手段による前記デジタルカメラとの接続検出に応答して、前記デジタルカメラ内のデータを受信し前記大容量メモリに記憶するよう制御する制御手段とを備えた構成にした。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [596075462]

1. 変更年月日 1997年 6月18日

[変更理由] 住所変更

住 所 東京都品川区二葉一丁目3番25号

氏 名 株式会社ニコン技術工房

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000004112]

1. 変更年月日	1990年 8月29日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都千代田区丸の内3丁目2番3号
氏 名	株式会社ニコン